

# 事業報告書(案)

2023（令和5）年度

社会福祉法人 愛 光



## 2023（令和5）年度 法人事業報告書

### 「法人の進化と地域の回復」

第Ⅳ期中期経営計画の最終年度となる当年度は、新型コロナウイルス感染症が5月に5類へ移行することでコロナ前の日常に戻ることに期待と緊張、そしてスローガンに掲げた「地域の回復」に向けた取組みがどこまで進むのか。また、エネルギー高や物価高騰により計画策定時点よりも不確実性が高まっていくなかでの法人経営の安定化に向けた取組みをどう軌道修正していくのか。次期計画へのステップとなる年度であった。そのなかで注目すべきは、福祉医療機構の速報値である。社会福祉法人の35.7%、3分の1が赤字であること。一つの産業で3分の1の事業体が赤字であることは異常事態であり、かつての構造不況業種のようなとも言える。介護保険事業を主とする法人の46%が赤字でほぼ半数に迫る勢いである。障害福祉事業を主とする法人でも36.1%が赤字で3分の1を占め、非常に厳しい状況である。さらに年次推移でも赤字法人の割合が年々増加の傾向にあり、収支差率をみても、年々低下している。福祉事業は経営基盤の安定が重要であるということを改めて痛感する年度でもあった。しかし、25年から40年までの間に、日本の生産年齢人口は約17%減少。介護需要の増加以上に担い手不足が深刻化している。経営基盤の弱さは、人員確保の難しさにもつながってくる。実際、「人手不足倒産」と呼ばれる、人手が確保できないことを理由とした事業廃止も目立ってきた。22年4月にスタートした「社会福祉連携推進法人制度」は法人の連携・協働することで、規模の大きさを生かした法人運営を可能にする制度である。物品の一括購入や人材確保策の共通化、人員配置の柔軟化など、意識的にシナジーを生み出すことができれば経営基盤は安定し、地域にとっても持続可能なサービスとなる可能性はあると言われている。当法人でも各事業部間の連携・協働を本部機能を中心とした経営効果を検証する必要があるだろう。

当年度は、第Ⅳ期中期経営計画最終年度であった。「事業部体制の強化」「地域福祉の推進」「人材育成」の3点からなる重点取組み事項については、ほぼ達成した。特に自立経営の観点から各事業部が事業計画と予算・実績の管理を毎月の実績会議において実施したことにより法人内における事業の可視化と情報共有が実践できた。そのなかで、佐倉圏域事業部は、愛光独自の地域生活支援拠点を目指し、障害相談事業「かけはし」をよもぎの園内に開設。グループホーム用土地の取得も行い、障害福祉サービス居宅系事業の整備導入が計画的に進んでいることは評価できる。同時に、よもぎの園を佐倉市との協定福祉避難所から指定福祉避難所へ変更し、今後は、災害時の実態に即した対応ができる態勢を整えていくこととなる。相談体制については、総合相談として地域福祉事業部所属であったが、南部包括支援センターを高年齢福祉事業部へ、アシストを佐倉圏域事業部へと所属事業部を変更し各種別による相談から一貫したサービス提供を目指すこととした。各事業部間の連携と協働、役割の明確化を図るうえで、次年度から業務執行会議やプロジェクト、ワーキングチームを中心とする執行本部を設置し、事業部間連携の円滑化を図っていく。

「地域の回復」は、ともいき事業を中心に現実となった。自治会と法人で組成する地域協議体として山王地区における地域福祉の推進に関する協定書を締結した。地域と法人一体となつての活動と自治会との連携の持続性が期待できる。「人材育成」については、チームワークの形成を学ぶコ・ヒューマントレーニングの第一期(11名)が終了した。次期計画では、テクニカルスキル研修との連動を目指す。

(2024年5月 理事長:西原弘明)

# 2023（令和5）年度 事業報告

---

## 目 次

---

### I. 法人本部

I-1 法人本部	1
----------	---

### II. 健康管理部

II-1 健康管理部	15
------------	----

### III. 障害者支援事業部

III-1 ルミエール	27
(障害者支援施設)	

III-2 めいわ	35
(障害者支援施設)	

III-3 リホープ	47
(障害者支援施設)	

III-4 山王の家	57
(共同生活援助)	

### IV. 佐倉圏域事業部

IV-1 佐倉市よもぎの園	63
(就労継続支援B型)	

IV-2 障害者相談支援事業所かけはし	70
(障害者相談支援事業所)	

IV-3 ワークショップかぶらぎ	74
(就労継続支援B型/自立訓練)	

IV-4 ジョーの家	81
(共同生活援助)	

V. 高齢者福祉事業部

V-1	はちす苑	87
-----	------	----

VI. 地域福祉事業部

VI-1	南部児童センター／学童保育所	99
------	----------------	----

VI-2	総合相談センター	106
------	----------	-----

(佐倉市南部地域包括支援センター/アシスト)

VI-3	南部地域福祉センター	115
------	------------	-----



# I . 法 人 本 部



## 本部

5月に新型コロナウイルス感染症が5類となる。それに伴い、手洗いやうがいなど、基本的な感染予防対策は続けながら、日常の生活も徐々に以前と同じ状況に戻ってきている。利用者や職員に罹患がみられと、施設等では、周囲へ感染の広がりがみられるのは変わらない。電気代、物価の高騰等、厳しい状況が続いている。そのような中でも、4年ぶりに法人秋まつりが開催することができた。久しぶりに地域の方々と交流する一日となった。

### ○地域との連携・協働

- ・福祉学習は、コロナ前と同様に実施できるようになった。それぞれの学校のカリキュラムで総合学習として福祉教育の分野があり、福祉をより身近に考えてもらえる機会を提供できた。
- ・さくら山王自治会と共同で設立された山王みらいプロジェクトでは、今年度も、「ゼロ円バザー」を実施した。

### ○採算性の検証

支出について、以下の経費削減等が見込まれると判断し、実施した。

- ・施設賠償責任保険の保険会社変更（△635,219円）  
さらに新型コロナ関連経費対策として感染症対応費用特約（保険料56,200円）に加入し、保険請求額は法人全体で1,200,000円となった。
- ・火災保険法人内建物一括契約（△1,456,920円）  
以前は建物ごとに火災保険契約をしていたが一括で契約することで削減
- ・電気料金（法人全体で△14,115,950円）  
暖冬の影響もあるが、以前電気供給事業者を変更したことと、佐倉事業所・はちす苑は室外機出力制御機能があり、出力を80%に制限した成果がでている。

### ○人材確保・人材育成

- ・インターンシップは22名、計25回開催。就職説明会参加者は18名。その半数はインターンシップ参加者や実習生などで、現場体験をしたうえでの参加であった。
- ・実習生は90名の受入れを行った。実習を行った学生の中から、法人に就職を希望してくれる学生も多くみられ新卒採用につながった。
- ・新卒採用に向け新たなリクルートとして行った学生アルバイト採用が実を結び2名の学生から応募があり採用となった。令和6年4月より正職員として働いている。
- ・地域雇用促進として、山王エリアへの求人ポスティングを実施するなどし、非常勤3名、常勤1名を採用。また新卒者も2名採用した。地域に近隣住民が活躍する場として認識していただけるよう進めていきたい。

### ○広報活動体制強化

法人の事業について、より身近に知ってもらえるよう法人の年報の簡易版として「i TERRACE（アイテラス）」を発行した。近隣他法人、地域関係者、学校関係や学生など約150箇所へ配付を行った。法人理解を深めてもらうため増刷し職員への配布を予定している。

### ○業務効率化推進・ICT活用による業務省力化促進

- ・業務の属人化（業務の進め方・内容が特定の職員しか把握していない）を解消するためマニュアル整備が急務であった。特に介護保険・障害サービス請求業務については1人の職員で担当しているため、当年度は担当者と同職員2名で月1回の会議を開催し、介護保険請求業務マニュアルを完成させた。次年度は、障害福祉サービス請求業務のマニュアルを整備し、総務課業務の標準化を実現していく。
- ・物品購入フローについて、以前は紙ベースで発注書を作成・上司決裁を受けて、さらに購買サイトで発注していた流れであった。それらの作業を一括して行える、購買システムを全事業所に導入し、業務効率化が実現し、さらに副産物として、各事業所の年間購入データが管理できるため、予算管理強化や業者への値引き交渉などに活かしている。

（本部長 池田 浩一）

## 1 2023（令和5）年度実績

### （1）財務（単位：百万円）

	令和5年度	前年	増減	法人本部	障害者支援事業部	佐倉圏域事業	高齢者福祉事業	地域福祉事業	視覚障害者無償貸与
サービス活動収益	2,110	2,048	62	1	1175	156	484	296	0
経常増減差額	16	△28	44	△108	121	4	△11	20	△10
経常増減差額比率（%）	0.8	△1.4	2.2		10.3	2.8	△2.3	6.6	

※内部取引相殺および、単位未満の端数を四捨五入して表示しているため、表中の総額と内訳の合計及び比率が一致しない場合がある。

### （2）個別運営実績

経営改革	・ 第Ⅳ期中期経営計画の実行
新規事業	・ 佐倉市障害者生活支援センターかけはし開設 ・ 第二寺崎学童保育所受託開始
事業運営	・ 内部統制構築推進（本部・各事業所 巡回指導監査実施）
地域貢献活動	<p>《まちづくりへの協力》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域環境美化（「愛の灯台花壇」の設置）</li> <li>・ 地域福祉活動への参加（地区社協・まちづくり協議会）</li> </ul> <p>《その他の地域貢献・交流活動》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域食堂ともいき</li> <li>・ 佐倉市南部地域福祉センター愛光たすけあい移送サービス</li> <li>・ 城の辺地区社協買い物支援協力</li> <li>・ 小学生書き初め展</li> <li>・ ボランティアの育成</li> <li>・ 地域防災～「福祉避難所」</li> </ul>
設備管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ルミエールトイレ改修工事</li> <li>・ めいわ浴室給水給湯配管修繕工事</li> <li>・ リホープ身体障害者用トイレ改修工事</li> <li>・ はちす苑防水工事</li> <li>・ はちす苑厨房床塗装工事</li> </ul>
後援会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ギャラリーあいこう</li> <li>・ 地域お祭りへの支援</li> <li>・ 子ども食堂の支援</li> <li>・ 小学生サッカー大会支援（根郷ガーデンカップサッカー大会）</li> <li>・ バリアフリー映画上映会</li> <li>・ Aikoh フォーラム助成支援</li> <li>・ 愛光・千視協ボランティア保険料への助成</li> </ul>

(3) プロジェクト

プロジェクト名称	活動内容	活動実績
内部統制構築	巡回指導監査検証 外部監査導入準備	巡回指導監査実施(本部・各事業所)
ともいきPT	山王自治会との共同プロジェクト 「山王みらいプロジェクト」発足	地域食堂の継続 2回目のゼロ円バザー実施 山王自治会と地域福祉に関する協定締結
人事制度検討PT	人事制度検討	人事制度一部改正
佐倉圏域GH創設PT	佐倉圏域内でのGH創設検討	よもぎ周辺で土地探し、取得を進める。 定員10名での建物・間取り等検討
財務PT	財務分析予算管理 各事業健全経営の提案 資金運用計画策定	四半期計算書で全国平均と比較検討 保険契約等見直しによる経費削減 事業債、ファンドラップ資金運用実施
人材育成PT	評価制度課題抽出・改善 次世代リーダー育成	新人事制度導入・評価ソフト運用 コ・ヒューマントレーニング第1期開始 人材育成トレーニング開始
はちす苑経営改善PT	事業検証・中計の進捗管理	機能別採算制度3期目、主任以上へ浸透 デイ・ケアプラン経営状況改善 特養は労務管理・収支に課題残る

2 事業の現況 (2024年3月31日現在)

(1) 佐倉事業所 (所在地/千葉県佐倉市山王2-37-9)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
ルミエール	第一種事業	【種別】 障害者支援施設 【定員】 生活介護・施設入所支援 60名 【認可】 2007(平成19)年11月1日	大里英巳
	第二種事業	【種別】 障害福祉サービス事業(短期入所) 【定員】 併設型3名 【認可】 2006(平成18)年10月1日	
	公益事業	【種別】 地域生活支援事業(日中一時支援事業) 【認可】 2006(平成18)年10月1日	
めいわ	第一種事業	【種別】 障害者支援施設 【定員】 生活介護80名(めいわ56名・根郷通所24名) 施設入所支援56名(めいわ) 【認可】 2008(平成20)年8月1日	片野明美
	第二種事業	【種別】 障害福祉サービス事業(短期入所) 【定員】 併設型4名(+空床利用) 【認可】 2006(平成18)年10月1日	
	公益事業	【種別】 地域生活支援事業(日中一時支援事業) 【認可】 2006(平成18)年10月1日	

リホープ	第一種事業	【種別】 障害者支援施設 【定員】 生活介護・施設入所支援 50 名 【認可】 2008（平成 20）年 4 月 1 日	中川光男
	第二種事業	【種別】 障害福祉サービス事業（短期入所） 【定員】 併設型 2 名（＋空床利用） 【認可】 2006（平成 18）年 10 月 1 日	
	公益事業	【種別】 地域生活支援事業（日中一時支援事業） 【認可】 2006（平成 18）年 10 月 1 日	

(2) 佐倉太田事業所（所在地／千葉県佐倉市太田 1145-1）

施設等の名称	事業区分	事業内容	管理者
はちす苑	第一種事業	【種別】 特別養護老人ホーム 【定員】 54 名 【認可】 1999（平成 11）年 10 月 1 日	麻生知明
ショートステイ はちす苑	第二種事業	【種別】 老人短期入所事業 【定員】 併設型 20 名（及び空床型） 【認可】 2000（平成 12）年 1 月 1 日	
		【種別】 共生型短期入所事業 【定員】 6 名 ※老人短期入所事業定員に含む 【認可】 2018（平成 30）年 9 月 1 日	
デイサービス はちす苑		【種別】 老人デイサービス事業 【定員】 35 名 【認可】 1999（平成 11）年 10 月 1 日	
		【種別】 共生型生活介護事業 【定員】 35 名 ※老人デイサービス事業定員に含む 【認可】 2018（平成 30）年 7 月 1 日	
ホームヘルプサービス はちす苑		【種別】 老人居宅介護等事業 【認可】 2000（平成 12）年 4 月 1 日	
ケアプラン はちす苑		【種別】 居宅介護支援事業 【認可】 2000（平成 12）年 4 月 1 日	

(3) 佐倉宮前事業所（所在地／千葉県佐倉市宮前 2-13-1）

※佐倉市指定管理事業

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
佐倉市 よもぎの園	第二種事業	【種別】 障害福祉サービス事業（就労継続支援 B 型） 【定員】 40 名 【認可】 2008（平成 20）年 4 月 1 日	戸室輝大
佐倉市障害者生活支援センター かけはし	第二種事業	【種別】 障害者相談支援事業（特定相談）（業務委託） 【受託】 2024（令和 6）年 1 月 1 日	

## (4) 佐倉鎚木町事業所 (所在地/千葉県佐倉市鎚木町 352-2)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
ワークショップ かぶらぎ	第二種 事業	【種別】 障害福祉サービス事業 (就労継続支援B型) 【定員】 18名 【認可】 2015 (平成27) 年6月1日	近藤美貴
		【種別】 障害福祉サービス事業 (自立訓練〈生活訓練〉) 【定員】 6名 【認可】 2015 (平成27) 年6月1日	

## (5) 佐倉城事業所 (所在地/千葉県佐倉市城 399-3)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
ジョーの家	第二種 事業	【種別】 障害福祉サービス事業 (介護サービス包括型指定共同生活援助) 【定員】 4名 【認可】 2009 (平成21) 年4月1日	安部一義

## (6) 佐倉大篠塚事業所 (所在地/千葉県佐倉市大篠塚 1587 南部保健福祉センター内)

※佐倉市指定管理事業

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
佐倉市立南部 児童センター	第二種 事業	【種別】 児童センター 【受託】 2014 (平成26) 年4月1日	長岡陽子
佐倉市立 根郷学童保育所 第二根郷学童保育所 山王学童保育所 大崎台学童保育所 寺崎学童保育所 第二寺崎学童保育所 弥富学童保育所 和田学童保育所	第二種 事業	【種別】 学童保育所 【受託】 2014 (平成26) 年4月1日	
佐倉市南部 地域福祉センター	公益 事業	【種別】 地域福祉センター 【受託】 2016 (平成28) 年4月1日	横川民夫
総合相談 センター	公益 事業	【種別】 地域包括支援センター (業務委託) 【認可】 2009 (平成21) 年4月1日	森由美子
	第二種 事業	【種別】 障害者相談支援事業 (一般・特 定相談) (業務委託) 【受託】 2002 (平成14) 年4月1日	

## (7) 佐倉山王・太田事業所 (所在地/千葉県佐倉市太田 1879-1)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
山王の家	第二種 事業	【種別】 障害福祉サービス事業 (介護サービス包括型指定共同生活援助) 【定員】 10名 【認可】 2017 (平成29) 年11月1日	岡本綾子

### 3 理事会・評議員会

#### (1) 理事会の開催状況

	開催日	場所	出席	欠席	主な議題
第1回 (313回)	6月10日 (土)	愛光本館 第1会議室	理事8名 監事2名	0名	業務報告 2022(令和4)年度事業報告について 2022(令和4)年度決算報告について 監事監査報告 役員改選について 管理職員人事について 理事会議決事項契約について 法人表彰について 2023年度第1回(通算第74回)評議員会招集について
第2回 (314回)	6月25日 (日)	愛光本館 役員室	理事8名 監事2名	0名	理事長選定について 業務執行理事選定について 副理事長及び総括施設長選定について 理事等の担当区分について 佐倉圏域事業部相談支援事業の申請について
第3回 (315回)	9月23日 (土)	愛光本館 第1会議室	理事8名 監事2名	0名	業務報告 諸規程の改正
第4回 (316回)	11月25日 (土)	愛光本館 第1会議室	理事7名 監事1名	2名	業務報告 2023(令和5)年度第1次補正予算について 法人資産の資金運用について 諸規程の改正について 2023(令和5)年度第2回(通算75回)評議員会招集について
第5回 (317回)	1月20日 (土)	愛光本館 第1会議室	理事7名 監事2名	1名	業務報告 佐倉圏域グループホーム建築予定土地購入について ワークショップかぶらぎ定員変更について
第6回 (318回)	3月16日 (土)	愛光本館 第1会議室	理事7名 監事2名	1名	業務報告 2023(令和5)年度第2次補正予算案について 2024(令和6)年度事業計画案、予算案について ワークショップかぶらぎ運営規程の改正について 2023(令和5)年度第3回(通算第76回)評議員会招集について

#### (2) 評議員会の開催状況

	開催日	場所	出席	欠席	主な議題
第1回 (74回)	6月25日 (日)	愛光本館 第1会議室	8名	4名	2022(令和4)年度事業報告について 2022(令和4)年度決算報告について 監事監査報告 役員改選について
第2回 (75回)	12月9日 (土)	愛光本館 第1会議室	11名	1名	業務報告
第3回 (76回)	3月24日 (日)	愛光本館 第1会議室	12名	0名	2023(令和5)年度第2次補正予算案について 2024(令和6)年度事業計画案、予算案について 佐倉圏域グループホーム建築予定土地購入について

※( )内は通算回数

## (3) 理事・監事・顧問

任期/2023年6月25日～2025年6月定時評議員会終結時

役職名	氏名	現職等	選任領域区分
理事長	西原 弘明	総括施設長	法人職員
副理事長	酒井綱一郎	愛光 元会社取締役	地域の福祉関係者
副理事長	中川 光男	愛光 障害者支援事業部長	法人職員
業務執行理事	池田 浩一	愛光 本部長	法人職員
"	安部 一義	愛光 高齢者福祉事業部長	法人職員
"	横川 民夫	愛光 地域福祉事業部長	法人職員
理事	吉野 智	弁護士事務所 所長	法律家
"	松山 毅	大学 前任准教授	社会福祉事業の学識経験者
監事	滑川 里美	一般社団法人理事	社会福祉有識者
	井上 郷	税理士事務所 所長	財務有識者
会長	法澤 奉典	愛光 元理事長	
顧問	荒木 直躬	社会福祉法人 理事長	
	岡田 正平	愛光後援会 元会長	
	島本 賢一	元愛光家族協議会 会長	
	長谷川匡俊	学校法人 理事長	
	望月 清義	元市議会議員	
	田邊 正雄	元社会福祉協議会 理事	

## (4) 評議員

任期/2021年6月20日～2025年6月定時評議員会終結時

役職名	氏名	現職等	選任領域区分
評議員	青木 隆一	行政関係者	行政経験者
"	足立 元秀	元地区社会福祉協議会会長	地域の福祉関係者
"	石毛 滋之	会社役員(利用者家族)	利用者の家族の代表
"	小川 雅夫	千葉県教育相談員	社会福祉事業の学識経験者
"	長田 研自	会社役員	地域の後援者
"	黒田 聡	福祉関係団体役員	地域の福祉関係者
"	今野 正隆	福祉関係団体職員	地域の福祉関係者
"	内藤 寛子	根郷地区社会福祉協議会会長	地域の福祉関係者
"	中澤 昌子	元特別支援学校 PTA 会長	地域の福祉関係者
"	布施 千草	元短期大学学科長	社会福祉事業の学識経験者
"	星 初枝	薬物乱用防止対策協議会事務局長	地域の福祉関係者
"	山崎 昭造	福祉関係団体役員	地域の福祉関係者

## (5) 評議員選任・解任委員

任期/2021. 6. 20～2025. 6

職名	氏名	任期	備考
監事	滑川 里美	2021. 6. 20～2025. 6	一般社団法人 理事
監事	井上 郷	2021. 6. 20～2025. 6	税理士事務所 所長
外部委員	稲村 多恵子	2021. 6. 20～2025. 6	元地区社会福祉協議会 会長
外部委員	小林 眞智子	2021. 6. 20～2025. 6	地区民生委員児童委員協議会長
事務局	宮本 典昭	2021. 6. 20～2025. 6	愛光職員

#### 4 職員の状況

(1) 採用・退職・異動 (2023年4月1日～2024年3月31日)

事業所名	2023. 4. 1 現員数	2023. 4. 1～2024. 3. 31				2024. 3. 31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
法人本部	16 (6)		3 (1)	3 (1)		16 (6)
健康管理部	21 (10)	2	4 (1)	4 (2)	2 (1)	21 (8)
ルミエール	43 (5)	4 (1)	8	4 (1)	7	40 (5)
めいわ	43 (9)	3	4	8	1	42 (10)
根郷通所センター	16 (6)		2	3	1 (1)	16 (6)
リホープ	32 (5)	6 (3)	4 (1)	7	5 (3)	33 (8)
山王の家	7 (6)		1	1	1 (1)	6 (5)
よもぎの園	14 (8)	1				14 (8)
かけはし			1			1
ワークショップかぶらぎ	11 (5)	1 (1)	1	3 (2)		11 (6)
ジョーの家	2 (2)	1 (1)				3 (3)
はちす苑	84 (43)	7 (4)	8 (1)	6 (3)	12 (5)	83 (44)
佐倉市南部児童センター 学童保育所	54 (40)	20 (19)	7 (1)	3 (2)	26 (22)	55 (40)
アシスト	5 (1)	1 (1)	2	2 (1)	2	6 (2)
佐倉市南部地域包括 支援センター	9		2	1	2	8
佐倉市南部地域福祉 センター	10 (8)	3 (3)	1	1		12 (10)
<b>総 数</b>	<b>367 (154)</b>	<b>49 (33)</b>	<b>48 (5)</b>	<b>46 (12)</b>	<b>59 (33)</b>	<b>367 (161)</b>

★育休・休職は現員から除く

★雇用形態変更・育休、休職の出入は、異動入・出にてカウントする

★年度末日退職者及び異動退職者は年度末日現員に含む

★年度当初採用者及び異動入職員は年度当初現員に含む

★事業所内での異動はカウントしない

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数( )内に表示

## (2) 採用形態別 (2023年4月1日現在)

事業所名	総 数			正 職 員			サポ-ト職員			パート職員		
	総数	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女
総 数	367	114	253	178	83	95	35	8	27	154	23	131
法人本部	16	9	7	6	5	1	4	1	3	6	3	3
健康管理部	21		21	10		10	1		1	10		10
ルミエール	43	20	23	37	20	17	1		1	5		5
めいわ	43	16	27	33	16	17	1		1	9		9
根郷通所センター	16	6	10	9	5	4	1	1		6		6
リホ-プ	32	13	19	24	10	14	3	3		5		5
山王の家	7	1	6	1	1					6		6
よもぎの園	14	5	9	4	3	1	2		2	8	2	6
ワークショップかぶらぎ	11	6	5	6	4	2				5	2	3
ジョ-の家	2		2							2		2
はちす苑	84	21	63	31	14	17	10	1	9	43	6	37
佐倉市南部児童センター・学童保育所	54	8	46	5	1	4	9	1	8	40	6	34
アシスト	5	1	4	4	1	3				1		1
佐倉市南部地域包括支援センター	9	3	6	7	3	4	2		2			
佐倉市南部地域福祉センター	10	5	5	1		1	1	1		8	4	4

★常勤嘱託はサポ-ト職員に含む

## (3) 役割等級別 (2023年4月1日現在)

事業所名	等級 総数	正 職 員					契約職員				パート職員	
		2	3	4	5	6	サポ-ト職	嘱託技能・管理職			1	2
	290	140	29	7	4		23	3	6	1	72	5
法人本部	15	1	2	1	2		2	2	1		4	
健康管理部	19	7	3					1			3	5
ルミエール	42	33	3	1							5	
めいわ	40	29	4		1						6	
根郷通所センター	15	7	1	1							6	
リホ-プ	29	20	3	1			1			1	3	
山王の家	7		1								6	
よもぎの園	14	2	1	1			2				8	
ワークショップかぶらぎ	8	3	2	1							2	
ジョ-の家	2										2	
はちす苑	68	25	4	1	1		10		1		26	
佐倉市南部児童センター・学童保育所	12	2	3				7					
アシスト	5	4									1	
佐倉市南部地域包括支援センター	9	7	1				1					
佐倉市南部地域福祉センター	5		1						4			

★嘱託サポ-ト、特別雇用、管理宿直、配食サービス、児童センター・学童保育所、地域福祉センターパート、登録ヘルパーは役割等級なし

## (4) 年齢構成 (2023年4月1日現在)

総数	年齢	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
	367	1	66	65	65	76	94
法人本部	16			2	4	4	6
健康管理部	21		1	4	5	7	4
ルミエール	43		15	11	8	6	3
めいわ	43		14	12	3	10	4
根郷通所センター	16		4	2	2	2	6
リホープ	32		11	8	5	4	4
山王の家	7			1	1	1	4
よもぎの園	14			4	3	4	3
ワークショップかぶらぎ	11		2	2	4	2	1
ジョーの家	2						2
はちす苑	84	1	11	14	14	21	23
佐倉市南部児童センター・学童保育所	54		8	3	7	13	23
アシスト	5			1	3		1
佐倉市南部地域包括支援センター	9			1	6	1	1
佐倉市南部地域福祉センター	10					1	9

## (5) 免許・資格 (2023年4月1日現在)

総数	資格所持 延べ人数	社会 福祉士	精神 保健 福祉士	介護支援 専門員	介護 福祉士	社会福祉 主事	歩行 訓練士	保育士	幼稚園 教諭	小中高 教員
	377	37	11	28	132	106	3	27	8	18
法人本部	13	1		2	3	7				
健康管理部										
ルミエール	64	3		3	27	22		6	3	
めいわ	63	8	3		24	15	1	8	4	
根郷通所センター	20				6	11		1	1	1
リホープ	38	7	3	3	6	17	1	1		
山王の家	1					1				
よもぎの園	11	1			5	5				
ワークショップかぶらぎ	18	5	1	1	4	7				
ジョーの家	1									1
はちす苑	82	3	1	13	50	14				1
佐倉市南部児童センター・学童保育所	37				2	2		10	8	15
アシスト	8	2	1	1	1	3				
佐倉市南部地域包括支援センター	19	7	2	5	2	1	1	1		
佐倉市南部地域福祉センター	2				1	1				

## 5 諸規程整備状況

改正日	施行日	規程	区分	整備内容
2023. 9. 23	2023. 10. 1	給与規程・サポート職員給与規程・パート職員給与規程・特別雇用職員給与規程・嘱託職員給与規程・	改正	・最低賃金改正に伴う変更 ・手当の変更
2023. 11. 25	2024. 1. 1	定款細則・組織管理規程・文書取扱規程・経理規程・就業規則	改正	・障害者生活支援事業所かけはし開設のための変更

## 6 リスクマネジメント（福祉サービスにかかる事故と苦情の状況）

### （1）事故の状況

	総数	本部	ルミール	めいわ	リホープ	はちす苑	よもぎの園	MS かふらぎシニョー	根郷通所・山王の家	アリスト・包括	児童学童	地域福祉センター
(総数)	58		4	14	2	20	1	2	2	2	11	
死亡に至った事例												
骨折等重症に至った事例	9			3		2					4	
裂傷・打撲等通院治療事例	24		1	5		11					7	
無届外出	3			2		1						
車輛事故（物損）	8		1		2	1		1	1	2		
誤投薬	10			4		3	1	1	1			
その他(放置)	4		2			2						

### （2）苦情

	総数	本部	ルミール	めいわ	リホープ	はちす苑	よもぎの園	かふらぎシニョー	根郷・山王の家	アリスト・包括	児童学童	地域福祉センター
(総数)	5			1		1					3	
食事等サービス内容に関すること												
職員の対応、行動に関すること	5			1		1					3	
介護、支援方針に関すること												
設備、職員配置に関すること												
他の利用者に関すること												
その他												

(3) 第三者委員の活動状況

施設	担当委員	日付	活動内容
ルミエール	四方田委員	2024. 1. 13	家族と懇談方式
リホープ	四方田委員	2024. 1. 13	利用者と個別面談
ワークショップかぶらぎ	四方田委員	2024. 2. 2	利用者と個別面談 家族と懇談方式
ジョーの家	四方田委員	2024. 2. 2	利用者と個別面談
南部地域福祉センター	葛西委員	2024. 2. 10	定期利用団体と懇談方式
根郷通所センター	加藤委員	2024. 2. 27	利用者と懇談会
佐倉市よもぎの園	加藤委員	2024. 3. 5	家族と懇談方式・個別面談 利用者と懇談会

7 事業経過 (本部関係/2023. 4. 1~2024. 3. 31)

月	行事(会議 研修会 行事等)	業務執行会議
4月	辞令交付式・新任職員研修・AIKOH フォーラム (成年後見制度後援会)・灯台基金バリアフリー映画会・地域食堂ともいき (弁当販売)	4日
5月	管理者評価面接・監事監査・地域食堂ともいき (弁当販売)・第11回実践発表会	2・9・30日
6月	理事会・評議員会・地域食堂ともいき (弁当販売)	6日
7月	辞令交付式・声の花束コンサート・地域食堂ともいき (弁当販売)・山王夏祭り	4日
8月	地域食堂ともいき (弁当販売)・メンター情報交換会	1日
9月	理事会・メンティー交流会・0円バザー・総合防災訓練・介護ケア研修・4年目職員交流会・地域食堂ともいきお弁当販売	5・12日
10月	根郷福祉まつり・愛光秋まつり・3年目交流会・地域食堂ともいき (弁当販売)	3日
11月	理事会・地域食堂ともいき (弁当販売)・法人権利擁護研修	7日
12月	嚙下研修・BCP研修・評議員会・2年目交流会・メンター交流会・地域食堂ともいきお弁当販売	5日
1月	新入職員懇親会・嚙下研修・理事会・地域食堂ともいき (弁当販売)・ほっとタイム「桂文雀独演会」	9日
2月	内部登用試験・嚙下研修・人材育成研修・メンティー交流会・AIKOH フォーラム「認知症と生きる」・地域食堂ともいき (弁当販売)・褥瘡ケア研修	6・27日
3月	理事会・ボランティア交流会・嚙下研修・メンティー交流会・総合防災訓練・地域食堂ともいき (弁当販売)・評議員会	5日・19日

## 8 ボランティアの育成と受け入れ

### 8-1 ボランティア受け入れ状況 (障害支援事業部) (583件/873人)

活 動 内 容	件数	延べ 人数	活 動 内 容	件数	延べ 人数
理髪	88	150	作業補助	6	6
歩行介助	0	0	行事協力	49	222
外出介助	0	0	ダンス・舞踊	1	13
伴走	49	12	傾聴・朗読等	28	51
清掃	1	1	音楽	20	52
施設・備品整備	33	33	茶道・花道	3	8
裁縫	1	1	公演	0	0
洗濯・たたみ	1	2	手工芸	0	0
生活介助	0	0	その他	303	322

### 8-2 ボランティア登録状況 (障害支援事業部) (1団体 9名・個人48名)

団 体 名	会員数	所在地域	団 体 名	会員数	所在地域
松籟会	9	佐倉市 千葉市	個人	48	佐倉市 八街市 千葉市 東金市 船橋市 八千代市

※個人の活動内容：ともいき事業関係、後援会運営委員、イベント手伝い、ふれあいサロン、犬の散歩、おはなし会、マラソン、オレンジカフェ、朗読、作業補助、ウエス切り、洗濯たたみ など

### 8-3 ボランティア育成事業 (全事業所)

月 日	内 容
3月2日(土)	ボランティア交流会(特別養護老人ホーム はちす苑 千田ホール)
8月20日(日)	ボランティア講座「災害ボランティアについて」(南部地域福祉センター)
3月23日(土)	ボランティア講座「今後の佐倉市の地域福祉を考える」(南部地域福祉センター)

## 9 福祉教育

### 9-1 福祉教育

月 日	機関名	対象者	学習内容
6月29日	根郷中学校	1年生	福祉講和
11月13日	根郷中学校	3年生	点字学習
11月20日	根郷中学校	2年生	アイマスク体験・ガイドヘルプ講座
1月23日	山王小学校	4年生	アイマスク体験・ガイドヘルプ講座
2月13日	山王小学校	4年生	愛光利用者交流体験

## 10 地域食堂「ともいき」

### 10-1 地域食堂「ともいき」開催状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の終息に伴い、地域食堂ともいきの開催はお弁当販売から一部飲食を7月より再開する。開催はさくら山王集会所を使用し、毎月第三水曜日に実施。法人職員とボラン

ティアの方々と一緒に、お弁当販売(100円)と飲食(100円)のハイブリット方式を行う。飲食では参加者同士の交流の場として再開を楽しんでいた。お弁当申し込みには根強い人気もある。もともと飲食でスタートしたが、お弁当販売では100食を越える注文になり、一時的にお弁当作成のキャパシティーを越える勢いがあり、年度いっぱいでお弁当販売を終了し、次年度(4月)より飲食に戻す方向で周知を図る。参加者の中には、移行期間中に飲食に移行される方もいれば、終了される方もいてさまざまであった。

開催日	メニュー	地域住民	学生	ボランティア	延人数	弁当数
4月19日	鶏肉のトマト弁当	112	3	11	125	120
5月17日	お稲荷さん弁当	131	0	11	141	141
6月21日	サバ弁当	128	5	11	143	138
3月20日	とりつくね弁当	150	3	11	164	150

(飲食再開・弁当販売のハイブリット方式)

開催日	弁当/飲食	弁	飲	学生	ボランティア	延人数	販売数
7月19日	夏野菜カレー/冷やし中華	121	14	2	9	146	135
7月29日	山王夏祭り屋台(やきそば)	500	0	1	2		500
8月16日	夏野菜カレー/そうめん	65	18	5	8	88	83
9月20日	キーマカレー/スタミナ丼	100	25	10	8	135	125
10月18日	ハヤシライス/お子様ランチ	125	27	6	9	158	152
11月15日	チキンカレー/豚汁定食	120	23	6	8	149	143
12月20日	五目御飯弁当/クリスマス定食	131	30	2	9	163	161
1月18日	カレー/おでん定食	108	27	0	8	135	135
2月21日	カレー/鮭のムニエル定食	96	18	5	9	119	114

○開催場所：山王集会所

○開催日：第三水曜日 16:30～ ○飲食代、お弁当販売代：100円

※3月の開催に関しては、当日他団体の施設使用の兼ねいで、弁当販売を実施。

## II. 健康管理部



## 健康管理部

## 概況

当年度のスローガンは、「すべての利用者、職員に健康と福祉を」であった。新型コロナウイルス感染症については、ご利用者、職員共にその発生が確認された。

## ○利用者の健康管理

## ・入院数の減少（高齢者福祉事業部・健康管理室）

当年度の入院件数は293件。昨年度の半数以下となった。また、目標の420件も下回った。

原因疾病としては、新型コロナウイルス感染症が原因の方が4名いたが、重篤が予見されるので病院に入院の依頼をしたところ入院可能となった。傾向として入院し易くなったことが考えられる。また、誤嚥性肺炎3名、尿路感染症2名の方が入院となったが、昨年よりは少なくすることができた。

## ・健康問題軽減（障害者支援事業部・健康管理センター）

看護職員の増員により、通院付き添いについて全く付き添えなかったところから、必要数の2割程度は付き添えるようになった。また、看護師を施設毎の担当制にした結果、各施設との連携は少しずつではあるが、取れるようになった。

## 理学療法士導入

はちす苑：利用者の身体機能評価を行い、必要な福祉用具の選定やベッド周りの環境設定を行った。退院後の評価や廃用症候群にならないよう個別機能訓練、ポジショニングなどを行いQOLの向上、維持を図った。

障害支援：個人の自立した生活の支援を行うためにADLに利用者や介助者が問題となっていることに対して現状評価を行い、必要に応じてベッド周りの環境設定や福祉用具の提案、個別リハビリを行った。

## ○職員の健康管理

## ・メンタル不調職員の相談を数件受けた。

・健康診断に於いて重篤な健康障害とみられる職員に対しては、産業医と連携して強い改善指導を行ったが、指導が届かない職員もいる。

## ○利用者・職員の健康管理

## ・今年度も「日本健康倶楽部」で利用者・職員の定期健康診断を行った。

・健康管理部通信は年1回の発行となった。その中で西田佐倉市市長がマッサージを受けている写真を紹介した。また、愛光秋まつりの市長挨拶で健康堂の宣伝を行っていただいた。

## ○法人内で感染症対策継続

・はちす苑では、6月に4名、12月に6名の疥癬感染者が発生した。何れも終息までに1か月程度掛かった。

・当年度も新型コロナウイルス感染症のクラスターが各事業所で発生した。

ルミエールでは、7月、9月、1月。めいわでは、2月。リホープでは、1月。はちす苑では、1月に発生した。

はちす苑のショートステイご利用者1名が入院先で亡くなった。この方は元々体調的に看取りに近い方であったが、コロナウイルス関連死ということとなった。

感染後の対策が進んだ結果によるものか、クラスターでも職員の感染数が抑えられるようになってきた。

年2回の感染症対応認定看護師の指導研修は継続しており、その中に食中毒の対応内容も取り入れている。

## ○給食の安定的提供について

・現給食委託業者の富士産業株より食材費高騰のため、安価な材料の利用を打診され対応した。提供した食事の接種カロリーが少なくなることはなかった。

## ○愛光健康堂の顧客拡大

・はちす苑では、デイサービスに加えて特養利用者のマッサージを行った。また、障害者施設の利用者のマッサージの行い好評を得ている。

・健康堂の顧客は、前年度は新型コロナウイルスの影響で10月から1月の開所のみで24件であったが、当年度は、ほぼ年間を通して開所できたため113件の利用があった。

## ○その他

・6回目と7回目の新型コロナウイルスワクチン接種を嘱託医の協力のもと希望者に行った。

・「新型コロナウイルス情報」「ウイルス等による感染症情報」を発行した。

（健康管理部 部長 安部 一義）

# 1 障害者支援事業部(健康管理センター)

## 1-1 保健関係行事の実施状況

月	保健関係行事
4月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、法人新任研修 医務全体会議
5月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、法人健康診断(職員・利用者)、医務内会議、健康管理部会議
6月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、医務内会議
7月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、内科健診(利用者)、医務内会議、
8月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、コロナワクチン接種、健康管理部会議
9月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、感染講習会(リホープ)
10月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、法人健康診断(職員・利用者) 摂食嚥下研修 医務内会議
11月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、インフルエンザワクチン接種、医務内会議
12月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、医務内会議、コロナワクチン接種
1月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、医務内会議
2月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、医務内会議
3月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、総合防災訓練

## 1-2 施設内診療

診療科		総数	ルミエール	めいわ	リホープ
【内科】					
診療日数	延人数	1492	513	453	526
95					
【歯科】					
診療日数	延人数	305	131	85	89
47					
【医務室】					
処置日数	延人数	7777	2037	594	5146
366					
【精神科】					
診療日数	延人数	623	276	255	92
12					
【泌尿器科】					
診療日数	延人数	375	51	255	69
13					
【他科】					
診療日数	延人数	12	0	12	0
0					

1-3 施設外医療機関での受診状況

診療科		総数	ルミエール	めいわ	リホープ
内科	延人数	235	71	58	106
歯科	延人数	36	9	18	9
眼科	延人数	62	6	45	11
外科	延人数	167	6	140	21
精神科	延人数	207	140	30	37
その他	延人数	274	52	79	143

1-4 入院の状況

入院		総数	ルミエール	めいわ	リホープ
件数		27	13	5	9
総日数		654	353	87	214
実人数		18	8	4	6
内訳	男	11	5	2	4
	女	7	3	2	2
医療機関別人数 (延人数)	佐倉中央病院	10	4	2	4
	聖隷佐倉市民病院	5	3		2
	東邦大学医療C佐倉病院	3	1	2	
	成田病院	1	1		
	日本医科大学千葉北総病院	2	1	1	
	成田富里徳洲会病院	4	1		3
	国際医療福祉大学成田病院	1	1		
	成田赤十字病院	1	1		

1-5 疾患別入院理由

疾患別入院理由 (延人数) 重複発症含む	肺炎	8
	誤嚥性肺炎	4
	胃がん	1
	尿路感染症	1
	腸閉塞	1
	蜂窩織炎	1
	直腸癌オペ	1
	胃腸炎	2
	心不全	2
	コロナ感染後機能低下	2
	異食	1
	右眼結膜下異物除去	1
	胆嚢炎	1
	発熱・蕁麻疹	1
呼吸不全	1	

1-6 緊急搬送の状況

搬送件数	総数	ルミエール	めいわ	リホープ
	8	7	0	1
(内訳)	男:4 女:6	男:7 女:0	男:0 女:0	男:1 女:0

2 高齢者福祉事業部（健康管理室）

2-1 健康診断・施設内診療の実施状況

月	健康診断の実施状況		施設内診療日数				
	入居者	職員	内	泌	眼	皮	歯
4月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	4
5月	血圧測定・体重測定・健康診断(血検・検尿・胸部レントゲン・骨密度)	健康診断(胸部レントゲン・血検・検尿・心電図・身長・体重・聴力・視力・腹囲・診察) 腰椎問診・診察	5	2	0	0	4
6月	血圧測定・体重測定・内科検診 ｺﾓﾝｲﾝﾌﾙｴﾝزا 予防接種 6 回目	ｺﾓﾝｲﾝﾌﾙｴﾝزا 予防接種 6 回目	4	2	0	0	4
7月	血圧測定・体重測定		4	3	0	0	4
8月	血圧測定・体重測定		5	2	0	0	4
9月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	4
10月	血圧測定・体重測定・健康診断(血検・検尿) ｲﾝﾌﾙｴﾝزا 予防接種	夜勤従事者健康診断(血検・検尿・心電図・身長・体重・聴力・視力・腹囲・診察) 腰椎問診・診察 ｲﾝﾌﾙｴﾝزا 予防接種	5	2	0	0	4
11月	血圧測定・体重測定 ｺﾓﾝｲﾝﾌﾙｴﾝزا 予防接種 7 回目	ｺﾓﾝｲﾝﾌﾙｴﾝزا 予防接種 7 回目	4	2	0	0	4
12月	血圧測定・体重測定 内科検診		4	2	0	0	4
1月	血圧測定・体重測定		3	2	0	0	4
2月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	3
3月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	4

2-2 施設(内)診療月別内 ※「実人数」は受診した個人単位の人数

診療科		総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	延人数	716	54	78	40	57	87	75	56	65	53	62	51	38
	実人数	454	33	44	56	37	43	42	27	40	33	42	36	21
眼科	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科	延人数	1041	104	105	99	105	80	86	91	94	79	80	36	82
	実人数	412	39	37	38	36	37	33	34	35	33	33	25	32
泌尿器科	延人数	210	16	17	18	26	18	17	16	16	16	16	16	18
	実人数	104	8	9	9	9	9	9	8	8	8	8	9	10

2-3 施設(外) 医療機関受診状況

診療科		総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	延人数	96	9	4	6	15	14	13	8	2	3	10	10	2
	実人数	91	9	3	6	11	10	11	7	2	3	13	14	2
整形外科	延人数	28	1	5	2	0	0	3	2	4	4	5	0	2
	実人数	30	1	1	2	0	0	3	2	6	7	5	0	3
泌尿器科	延人数	18	0	6	0	2	0	2	0	1	1	3	1	2
	実人数	14	0	2	0	2	0	2	0	1	1	3	1	2
眼科	延人数	18	1	2	0	3	2	1	1	3	1	3	1	0
	実人数	22	1	2	0	3	1	1	1	8	1	3	1	0
耳鼻科	延人数	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳外科	延人数	14	2	0	4	1	0	2	0	0	1	2	0	2
	実人数	14	3	0	3	1	0	2	0	0	1	2	0	2
精神科	延人数	13	0	2	1	1	2	2	1	1	0	1	0	2
	実人数	12	0	2	1	1	2	1	1	1	0	1	0	2
循環器科	延人数	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	実人数	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
救急外来	延人数	36	3	2	5	3	6	4	2	1	1	6	3	0
	実人数	36	3	2	4	3	5	4	2	1	1	8	3	0
消化器科	延人数	9	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	4	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0
神経内科	延人数	16	0	2	0	3	1	2	0	3	0	2	1	2
	実人数	15	0	2	0	2	1	2	0	3	0	2	1	2
皮膚科	延人数	41	0	4	21	2	0	0	0	1	0	9	1	3
	実人数	32	0	3	9	1	0	0	0	1	0	13	2	3
形成外科	延人数	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	実人数	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
ペ-スメカ-	延人数	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

2-4 入院の状況（特養在所契約期間中）

件数	入院 総日数	平均 入院日数	実人数	性別		年齢別内訳			
				男	女	50～	70～	80～	90～
25	293	11.7	17	4	13	1	3	6	7

2-5 入院理由

肺炎	1	帯状疱疹疑い	1
誤嚥性肺炎	3	虚血性腸炎	1
吐血	1	尿路感染症	2
心不全	2	重症肺炎	1
コロナウイルス感染症	4	イレウス	1
脱水	1	経口摂取困難	1
蜂窩織炎（左下肢）	1	左大腿部頸部骨折	1
うっ血性心不全	2	右大腿骨頸部骨折	1
脳梗塞急性期	1		
気管支肺炎	1		

2-6 機能回復訓練の実施状況

	特別養護老人ホーム			ショートステイ			デイサービス		
	日数	延人数	実人数	日数	延人数	実人数	日数	延人数	実人数
合計	681	918	216	173	174	26	119	277	143

2-7 あん摩・指圧

	デイサービス	特別養護老人ホーム
人数	2037	757

日数：197

### 3 障害者支援事業部（栄養管理室）

#### 3-1 概況

○地域活動
・ 児童センターに通う母親向けの離乳食講座の実施（年1回実施45名参加）
・ 大学、専門学校からの実習生を対象に食生活講座の実施（年6回実施19名参加）
○災害対応
・ 防災食の入れ替え及び補充
○利用者の健康向上に向けて
・ 栄養ケア会議の実施
・ 摂食嚥下障害への対応
○給食提供サービスの向上
・ 栄養改善委員会の実施
・ ホーム会議への参加
・ 厨房什器の衛生管理及び機器の故障及び不具合への対応
・ リクエスト食への対応

#### 3-2 標準献立

	朝食 8:00～	昼食 12:00～	夕食 18:00～
献立名	ごはん にしんの甘露煮 ほうれん草の和え物 ふりかけ みそ汁（豆腐、みつば）	菜飯 大根と豚バラ肉のみそ煮 込み 南瓜の煮物 たぬき汁 フルーツ（りんご）	ごはん 厚揚げの酢豚風 モロヘイヤのおひたし 漬物（沢庵） みそ汁（春菊、わかめ）

#### 3-3 食種構成表

	常食	特別食		
		刻み	粥	ミキサー・ペースト食
総数	148	38	2	4
ルミエール	40	15	2	1
めいわ	40	13	0	3
通所	32	2	0	0
リホープ	36	7	6	0

	療 養 食			
	減塩食	脂質コントロール食	糖尿病食	貧血食
総 数	0	12	21	0
ルミエール	0	5	2	0
めいわ	0	6	8	0
通所	0	0	0	0
リホープ	0	1	11	0

### 3-4 基準摂取栄養量

エネルギー	1900kcal	たんぱく質	74g	脂質	50g
糖質	285g	カルシウム	550mg	鉄分	10.0mg
ビタミンA	770 $\mu$ g	ビタミンB1	1.15mg	ビタミンB2	1.27mg
ビタミンC	100mg	食塩相当量	9.0g		

### 3-5 栄養改善委員会開催状況（隔月開催）

委員の構成・・・施設職員 4 名、利用者代表 1 名、施設栄養士 3 名、健康管理部長 1 名、委託給食会社社員 1 名、委託給食会社（責任者）1 名

月 日	内 容（例）
6月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士から連絡（食中毒について、三角巾の着用等）</li> <li>・給食委託業者から</li> <li>・検食簿からの意見</li> <li>・施設からの意見</li> </ul>

### 3-6 行事食献立

月・日	区 分	行 事 名	献 立
4月8日	昼	花まつり	桜ちらし寿司、ふきの信田煮、そうめん汁、フルーツ（オレンジ）
5月5日	昼	端午の節句	五目ちらし、ごぼうと牛肉の炒め煮、すまし汁（はんぺん）、柏もち
7月7日	昼	七夕	枝豆ごはん、鯖の塩こうじ焼き、里芋のそぼろ煮、おくらのすまし汁、梅ゼリー
7月30日	昼	土用丑の日	穴子ちらし寿司、切り干し大根のオイスター

			ソース炒め、バンサンスー、おくらのすまし汁
9月18日	昼	敬老の日	赤飯、ぶりの塩焼き、六角里芋と木の葉南瓜の煮物、すまし汁（卵豆腐）、水ようかん
9月23日	昼	秋分の日	ごはん、かき揚げ、高野豆腐の煮物、みぞれ汁、おはぎ
10月7日	昼	愛光秋まつり	炊き込みごはん、鶏肉のから揚げ、卵焼き、豚汁
10月20日	昼	秋の土用	さつま芋ごはん、さんまの塩焼き、キャベツと竹輪の辛子和え、すまし汁（豆腐、菜の花）、水ようかん
10月27日	昼	十三夜	栗ごはん、鯖の塩こうじ焼き、切り干し大根の和え物、けんちん汁、みたらし団子
12月22日	昼	冬至	ちらし寿司、南瓜の煮物、すまし汁（はんぺん、みつば）、抹茶ようかん
12月25日	昼	クリスマス	ごはん、フライドチキン、スパゲティーサラダ、ミネストローネ、チョコレートケーキ
12月31日	昼	大みそか	年越しそば、えびとそら豆のかき揚げ、いなり寿司、ほうれん草と油揚げの和え物、水ようかん
1月1日	昼	お正月	赤飯、お雑煮、紅白なます、紅白かまぼこ、ローストポーク、黒豆、ゆずゼリー
1月7日	昼	七草	七草粥、鶏肉の塩こうじ焼き、白菜の甘酢和え、のっぺい汁、抹茶ようかん
1月11日	昼	鏡開き	ごはん、太刀魚の塩焼き、玉ねぎのドレッシング和え、雷汁、おしるこ
2月3日	昼	節分	ちらし寿司、切り干し大根の煮物、ささみともやしのごま和え、すまし汁（はんぺん、みつば）、水ようかん
3月3日	昼	ひな祭り	ちらし寿司、蒸し鶏とキャベツの和え物、かぶのそぼろ煮、紅白そうめん汁、桜もち
3月18日	昼	創立記念日	赤飯、鶏肉のハーブ焼き、ねぎとろ、六角里芋と木の葉南瓜の煮物、すまし汁（菜の花）
3月20日	昼	春分の日	ごはん、ローストポーク、えびと玉ねぎの酢の物、沢煮椀、おはぎ

#### 4 高齢者福祉事業部（栄養管理室）

##### 4-1 標準献立（平均所要量エネルギー1488kcal//蛋白 55.4g//脂質 40.1g/炭水化物 283g）

	朝食（8:00～）	昼食（12:00～）	夕食（18:00～）
献立名	ごはん 刻み昆布とさつま芋の煮物 アスパラの塩コブ和え 梅干し みそ汁（きぬさや） 牛乳	ごはん やわらか煮豚 きゅうりと糸寒天の酢の物 お漬物 みそ汁（かぶ、葉） パン缶	ゆかりごはん 千草焼き（魚すり身入り） いんげんの辛子和え お漬物 エリンギのスープ

##### 4-2 食種構成表

総数	主食				副食					胃ろう
	白米	軟飯	粥	粥ミキサー	常菜	一口	きざみ	極きざみ	ソフト	
55	22	15	12	6	13	14	20	0	8	0

##### 4-3 行事食献立

月	行事名	献立名
4月	新年度 花まつり	たけのごはん 桜のちらしすし、肉団子煮、小松菜すまし汁、やわらか大福
5月	八十八夜 端午の節句 リクエスト 献立 旬の野菜	ごはん、豚肉生姜焼き、さつま芋煮、お茶の佃煮、白水ようかん、キャベツのみそ汁 えびのちらし寿司、ハムカツ、かみなり汁、季節の和菓子 スパゲティナポリタン 牛肉とふきの煮物
6月	千葉県民の日 麦とろの日 夏至	ごはん、揚げ鶏のピナツだれ、冷ややっこ、しそ昆布、みそ汁、トマトゼリー 麦ごはん、豚肉と大根の煮物、とろろ芋、里芋のみそ汁、豆乳寒天小豆がけ ごはん、白身魚のジェノベーゼソース、冬瓜煮、漬物、さつま芋のみそ汁、ラムゼリー
7月	七夕 はちすフェスティバル 海の日 土用うしの日	五目そうめん、えびと野菜の天ぷら、大根おろし、ハニーミルクぶどうジュレ にぎり寿司（まぐろ、サーモン、ねぎとろ、ほたて貝柱等）いなり寿司、トマトゼリー、豚汁 冷やし山菜とろろそば、信田の煮物、セロリの和え物、季節の和菓子 やわらかうな丼、ゆで野菜のピナツ和え、奈良漬、すまし汁、マスカットゼリー
8月	山の日 お盆	オムライス、ごぼうサラダ、ニラのスープ、ももの缶詰 いなり寿司、豆腐の田楽、甘酢生姜、豚汁、ラムネゼリー
9月	重陽の節句 敬老会 敬老の日 十五夜	ゆかりごはん、鶏肉のしおこうじ焼き、菊花入りもずく、ぬか漬、えびしんじょのすまし汁、すりおろしりんご 赤飯、マグロとほたて盛合わせ、炊き合わせ、アボガトと海老の和え物、茶わん蒸し、アスパラのみそ汁、梨、巨峰 ごはん、天ぷら盛り合わせ（えび、ピーマン、南瓜）、ほうれん草お浸し、佃煮、うしお汁、ココナッツミルクゼリー 麦ごはん、鶏肉と栗の照り煮、とろろ芋、ぬか漬、すまし汁、みたらし団子
10月	はちす苑開設記念日 秋の土用	赤飯、肉団子の旨煮、小松菜辛子和え、漬物、豆腐の味噌汁、おしるこ 香りごはん、さんまの塩焼き、炊き合わせ、漬物、はんぺんすまし汁、ココナッツミルクゼリー

	十三夜 ハロウィン	きのこごはん、鮭のしおこうじ焼き、ほうれん草柚香和え、ぬか漬け、かきたま汁、 みたらしおもちムース 南瓜プディング
11月	文化の日 寿司パーティー 勤労感謝の日	季節の和菓子 寿司職人が来苑し、マグロ、サーモン、ほたて等握りたてを味わった。 五穀ごはん、揚豆腐と茄子の田楽、かぶのはんぺん煮、漬物、のっぺい汁、 さつま芋プリン
12月	大雪 忘年会 冬至 クリスマス 大みそか	ごはん、白身魚の南部焼き、わかめの煮びたし、漬物、蓮根すりおろし汁、みかん にぎり寿司とおでんを味わった。 オムライス、南瓜のサラダ、野菜スープ、ゆず寒天 ごはん、ミートローフ、サラダ、蓮根すりおろし汁、季節のねりきり 年越しそば、海老天ぷらとかき揚げ、いなり寿司、なめたけおろし
1月	お正月 七草 鏡開き	元旦の昼：お雑煮、赤飯、お刺身盛り合わせ、六角里芋炊き合わせ、かまぼこ、栗き んとん、紅白なます、和菓子 →松花堂弁当での提供 2日の昼：みそ仕立てのお雑煮、かにちらし寿司、茶わん蒸し、大根田楽、マロンバ バロア、三平しる 七草粥、信田の含め煮、キャベツとササ和え、漬物、みそ汁、芋ようかん ごはん、鶏肉のレモン焼き、春菊のお浸し、漬物、豆腐のスープ、おしるこ
2月	節分 バレンタインデー お楽しみ	卵の太巻きすしといなりすし、里芋田楽、すまし汁、抹茶水ようかん スパゲティミートソース、ブロッコリーごまあえ、スープ、チョコプリン ミートソースドリア、ほうれん草和え物、まいたけのみそ汁、ぶどうゼリー
3月	ひなまつり ホワイトデー 愛光創立記念日 春分の日	菜の花のちらし寿司、いか団子の煮物、お吸い物、豆乳プリン桜ソース ごはん、マッシュポテトの重ね焼き、酢味噌、漬物、中華スープ、バニラバロア 赤飯、マグロの山かけ、里芋のくるみ和え、漬物、具だくさん汁、きなこヨーグルト ごはん、白身魚のハーブ焼き、柚香和え、漬物、中華スープ、芋ようかん

#### 4-4 配食サービス実績

月	食数	実利用者数	新規	終了
4月	266	19	0	3
5月	308	20	1	0
6月	287	19	0	3
7月	260	19	2	1
8月	301	19	1	1
9月	273	19	0	1
10月	285	19	1	1
11月	283	20	1	0
12月	254	20	0	1
1月	227	20	1	2
2月	244	18	0	2
3月	273	20	3	0

5 新型コロナウイルス感染症

5-1 新型コロナウイルス感染状況 (2023年4月1日~2024年3月31日)

事業所名		月												
		総数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
総数		171	1	4	2	47	25	15	6	1	1	38	30	1
本部		10		1		2	2	2	1	1		1		
アシスト 地域包括支援センター		0												
南部地域福祉センター 児童センター・学童	児	0												
	職	0												
ルミエール	利	36				19		6	2			9		
	職	19				9	5	1	1			3		
めいわ	利	13				1			1			2	8	1
	職	12		1	1	5	3	1					1	
根郷通所センター 山王の家	利	4					3					1		
	職	4			1	1	2							
リホープ	利	12					1	1				10		
	職	12				6	3		1			1	1	
よもぎの園	利	1						1						
	職	4	1			1	1	1						
WS かぶらぎ ジョーの家	利	4		1		1	2							
	職	2						2						
高齢者福祉事業部	利	25		1			1					7	16	
	職	13				2	2	1			1	4	4	

## Ⅲ. 障害者支援事業部



## 概況

「利用者の声や思いが聞こえますか」をスローガンとし、利用者の意思決定支援等を念頭におきながらアセスメントを行った。特に担当者会議では全利用者の原則立ち合いを実施した。当年度は新型コロナウイルス感染症対策が5類へ移行したが、コロナ自体が減少した訳はなく3度のクラスターを経験した。空床については早期の面接、短期入所利用者のトライアルを続けており、近日中の入所を目指している。

## ○数値目標

施設入所（稼働率）：目標 98% ⇒ 実績 94.1%  
 生活介護（稼働率）：目標 97% ⇒ 実績 91.2%  
 短期入所（稼働率）：目標 70% ⇒ 実績 60.2%

## ○次世代リーダーの人材育成

フロアリーダー制2年目ということもあり、細かな点でバージョンアップできた。特に排泄、入浴、食事の三大介護の担当にしたことでそれぞれが担当分野業務を見直すことができた。

## ○新規利用者の確保 及び収入の確保

## 入退所調整制度の確立

めいわより女性利用者1名ではあるが施設移動することができた。丁寧な下準備を行ったこともあり大きな混乱なく順調に移行できた。

## ○質の高いサービスの提供

## ・グループ特性に応じた活動提供

コロナや人員配置の問題もあり活動の提供にはばらつきが出てしまった。しかし、本年度より日中活動時間を作ることにより個別の散歩等に行く回数は飛躍的に上がった。

## ・令和5年度強度行動障害のある方の支援者に対する研修

昨年に引き続き県の16人研修にエントリーした。学びながら実践し発表への取り組むことにより、チームとしてケースをより深く学ぶことができた。

## ○家族との連携強化

## ・家族会再開

4年ぶりに家族会を再開した。参加率は下がってしまったが、休止期間に入所した家族の方の参加もあり来年度以降も継続し家族との信頼関係を築いていきたい

## ・担当者と家族の関係強化

家族会同様に担当者会議も対面形式で行い28家族が参加して行うことができた。

## ・担当者と家族の関係強化

電話や面会時のアセスメント実施の他、メールでの家族との連絡手段確保を行った。

## ・成年後見人擁立支援

新たに3人の利用者の成年後見申請を行った。

## ○生命・身体機能につながる重大な事故の防止

昨年度は通院を伴う事故は1件であった。事故件数が減った事については毎月のフロアリーダーによるリスク点検等が大きく貢献している。

## ○人材確保

## ・職場環境悪化による離職者ゼロ

離職者は一名出たものの職場環境の悪化の理由ではない

## ○第三者委員による懇談会

・令和6年1月13日（土）13:00～14:00 家族との懇談会 参加者7名

（施設長 大里英巳）

1 施設利用状況（2023.4.1～2024.3.31）

1-1 利用状況

【定員 60 名】

	施設利用者			1日平均		空所				異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
年間	21960	21158	20673	56.5	94.1	1287	814	404	69	5	5

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	5			3	2			
退所者数と退所事由						2	3	

1-3 短期入所（ショートステイ）利用状況 【定員 3 名】

	利用者			
	延定員数	延総数	1日平均	稼働率
年間	1098	661	1.8	60.2

1-4 地域生活支援事業（日中一時支援事業）利用状況

	利用者	
	総数	1日平均
年間	0	0

1-5 出身地別利用状況

【千葉県】	男	女	【千葉市】	男	女	【東京都】	男	女
佐倉市	1	2	中央区		2	足立区	1	
船橋市	1		美浜区	1		板橋区	2	
印西市	1		若葉区		1	江戸川区	3	
大網白里市		1	稲毛区	1		大田区	2	
君津市	3		花見川区		1	葛飾区	2	
松戸市	1	2	計	2	4	港区	1	
習志野市	1		合計	6		江東区	2	
成田市		3				渋谷区		1
館山市	1		【埼玉県】			品川区	2	
市川市	1					品川区	2	1
八千代市		1	春日部市		1	千代田区	1	
銚子市	1		草加市	1		練馬区	1	
南房総市	1		計	1	1	目黒区	1	
九十九里町	1		合計	2		昭島市	1	
鎌ヶ谷市	1	1	【神奈川県】			町田市	1	
四街道市		1				横浜市	1	1
計	14	11	横浜市	1	1	計	23	2
合計	25		相模原市	1		合計	25	
			藤沢市	1				
			計	3	1			
			合計	4				

		【新潟県】		
		魚沼市	1	
		計	1	
		合計	1	

※佐倉市住所所持者 29名

2 利用者の状況（2023年度中在所した全利用者）

2-1 年齢構成（年齢は2023. 4. 1現在）

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	60～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	63	0	12	2	17	20	12	50.6	72	21
%		0	19.0	3.2	27.0	31.8	19.0	100		
男	43	0	8	2	11	13	9	47.2	72	21
女	20	0	4	0	6	7	3	57.9	70	26

2-2 障害区分

	総数	1	2	3	4	5	6	重度障害者 支援加算
総数	63	0	0	0	0	6	57	5
%	100	0	0	0	0	9.5	90.5	100
男	43	0	0	0	0	1	42	4
女	20	0	0	0	0	5	15	1

2-3 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	63	46	2	0	0	1	0	14
%	100	73.0	3.2	0	0	1.6	0	22.2
男	43	35	1	0	0	1	0	6
女	20	11	1	0	0	0	0	8

2-4 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	63	23	27	2	0	11
%	100	36.5	42.8	3.2	0	17.5
男	43	15	24	0	0	4
女	20	8	3	2	0	7

### 3 利用者の障害の状況

#### 3-1 視覚障害

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	60	47	8	55	8
%	100	74.6	12.7	87.3	12.7
男	43	34	7	41	2
女	20	13	1	14	6

#### 3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	63	26	33	3	0	62	1
%	100	41.2	52.4	4.8	0	98.4	1.6
男	43	16	26	1	0	43	0
女	20	10	7	2	0	19	1

#### 3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	63	54	25	4	39	1	62	1	46
%	100	85.7	39.7	6.3	61.9	1.6	98.4	1.6	73.0
男	43	41	17	2	28	1	43	0	35
女	20	13	8	2	11	0	19	1	11

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

#### 3-4 日常生活動作（ADL）介護の状況

総数	排泄	食事	入浴	着脱衣	ベッドメイキング	移動（内）	移動（外）
常時全面で介助	23	14	34	18	63	32	63
%	36.5	22.2	54.0	28.6	100	50.8	100
常時多面で介助	20	22	25	22	0	10	0
%	31.7	34.9	39.7	34.9	0	15.9	0
時々部分的に介助	19	17	4	16	0	11	0
%	30.2	27.0	6.3	25.4	0	17.5	0
点検・配慮程度	1	10	0	7	0	4	0
%	1.6	15.9	0	11.1	0	6.3	0
自立	0	0	0	0	0	6	0
%	0	0	0	0	0	9.5	0

### 3-5 コミュニケーションの状況

	言語(会話)	意思表示	一般文字	点字
不可	37	6	62	63
%	58.7	9.5	98.4	100
一部で可能	20	48	1	0
%	31.8	76.2	1.6	0
だいたい可能	6	9	0	0
%	9.5	14.3	0	0
支障なし	0	0	0	0
%	0	0	0	0

## 4 援助サービス

### 4-1 援助サービスの実施状況

項目	援助サービスの実施状況
【住居】	<p>援助サービスの実施にあたっては、居住ブロック単位で、日常生活の基本となるケアを中心としたサービスを行っている。</p> <p>居住スペースにおいては、情緒の安定・プライバシーに配慮している。</p> <p>当年度はコロナウイルスについて感染症の位置づけが2類から5類に変更になったが、感染症対策に大きな変更はなく衛生保持・感染症予防のためプラズマクラスター機能付き空気清浄機を各共用スペースに設置し、日常の管理として多目的除菌洗剤、電解次亜水（100ppm）を使用し居室や食堂、トイレのほか、手すりやドアノブ等手に触れる場所の除菌・消毒を1日2回以上行っている。また年間を通し手指のアルコール消毒および換気による空気の入替えを実施するなど感染症対策を徹底した。</p> <p>環境整備として、ルミエール開設から約30年使用していた各ホームにある共用トイレの改修工事を実施した。昨年度からの課題であった、共用部の床柵撤去工事を行い利用者の転倒から負傷するリスクが減少した。年度末に天井の排煙窓のワイヤー交換工事を行い、すべての排煙窓が不具合なく開閉するようになった。不定期であるが環境美化デイ、営繕活動デイを設定し、日頃手の回らない箇所の清掃や環境改善のための修繕等を行い、環境美化向上に努めた。</p>
【食事】	<p>ブロック単位での食事の提供を行っている。食事時に人が集中することによる騒がしさの緩和、嚥下機能低下に伴う誤嚥予防等に配慮し、食事支援を行った。食事提供中の支援体制についても、食事介助しながら周囲の利用者の食事摂取状況が観察できるよう配慮している。</p> <p>また、体調不良等身体状況の変化、栄養管理や摂食状況に配慮した食事形態や提供の工夫を行った。今年度利用者が誤嚥性肺炎を起こしたこともあり、本年度も全利用者に対し栄養ケア計画を実施し定期的にモニタリングすることにより利用者の個別の栄養管理を実施している。</p>
【排泄】	<p>全介助の方が多く、支援においては排泄傾向の把握と本人に対応した定時排泄に努めている。特に排便に関しては、便秘傾向の方も多く、主治医への相談と内服、便秘改善目的で補助食品を提供している。健康管理面で、排尿量と摂取水分量（IN・OUT）の把握が必要な方数名については、身体状況に変化がないか計量を行い内服等もすすめている。支援者側として利用者に対して適切なオムツを提供しているかをモニタリングして、排泄の質を高めている。</p>
【入浴】	<p>サマータイム（6～9月）は週3回、それ以外は週2回の入浴を基本として実施。その他、活動状況、皮膚疾患等個々の方の状況に応じて適宜シャワー浴を行っている。利用者の高齢化・重介護化に伴い、特殊浴槽（座位型入浴装置、ミスト浴）と普通浴槽（大・小浴）を活用し、高齢者はもとより、さまざまな身体状況の方へ安全に配慮し入浴サービスを提供した。</p>

<p>【ホーム活動】</p>	<p>ホーム活動は従来どおりの居住ブロック単位で、午前の余暇活動は居住ブロックに関係なく当日の担当職員が実施している。</p> <p>全体的な傾向として、高齢化・重度化に伴い集団での活動よりも、個々の嗜好・ペースにあわせた個別活動に重点をおいた活動が主体となっている。特に日中活動の担当職員が利用者に声をかけ個別に散歩に行くことで利用者の情緒安定につながっている。</p> <p>各ホーム活動においては、誕生会等ミニイベントを実施するほか、朝の会、造形、外出等行った。</p> <p>《朝の会》 1日の予定、勤務スタッフの紹介、食事メニューの紹介、連絡、ラジオ体操等。利用者への情報提供を行う。また、当番職員とご利用者により、誕生者や献立、一日の流れ等、毎日放送を行った。</p> <p>《音楽》 CDや有線放送のラジオなどで音楽を流し音楽鑑賞等を通じ、音楽に親しむとともに、情緒の安定を図った。</p> <p>《造形》 今年度は佐倉市障害者作品展に利用者の作品を展示してもらい創作意欲が高まった年でもあった。書初め等季節にそった工夫も見られた。</p> <p>《食事会》 外で食事をする機会が少ない利用者が多い状況でもデリバリー等注文し、個々の嗜好に合わせたメニューを提供。季節感や流行も取り入れ、食を楽しむ機会を提供した。コロナの影響があるにも関わらずテイクアウトの選択肢が増え、バラエティに富んだメニューからの選択、地域の店舗とのささやかな交流の機会が増えた。</p>
<p>【余暇活動】</p>	<p>《クラブ活動／行事》 今まで全体で集まって行事を行うのが難しかったが、今年度は感染対策を行いながら、なのはな広場で集まる行事を再開した。行事の前半をなのはな広場で集まって、後半は各ホームに戻って飲食する等過度な密を避けつつも利用者全員で楽しめる余暇活動を目指した。今まで開催していた行事でも職員の工夫で利用者が楽しく参加できるように考えられた行事が多かった。</p> <p>クラブ活動については、夏季には暑中見舞いを作成し離れて暮らすご家族等への送付、今年度は愛光秋まつりが4年ぶりに開催され、ご家族と会場をまわり、なのはな広場で一緒に食事をするなど利用者家族共に笑顔が見られた。</p> <p>《歩行・散歩》 歩行能力と体力維持をはかり、楽しく歩くことを目的に、敷地内遊歩道の歩行、近隣公園への散歩を行った。十分な時間とはいえませんが、高齢化による利用者の体力・筋力低下が見られる中、天候のよい時など日光浴も行った。</p> <p>《外出》 グループ外出、ニーズ別旅行は中止。感染症のレベルが5類に変化し新しい生活様式と言われているが外出時のマスク着用が一般的な約束事になり、マスク着用の難しい方々については外出の機会を提供するのは難しかった。法人警戒レベルに応じ外出可能な時期についても、数名でのドライブを行うにとどまった。来年度はグループ外出が再開できるように検討していきたい。</p>
<p>【とつぜん音楽会】</p>	<p>少し時間を短縮して開催した。来年度光和会のご自慢再開の準備も考慮し光和会の皆様に演奏会の機会を提供し音楽会を行った。</p> <p>ボランティア交流は当年度中止。ニーズ別旅行についても、集団でのバス移動にともなう感染リスクの観点から中止。</p>

5 運営管理

5-1 職員状況

	2023.4.1 現員数	2023.4.1～2024.3.31				2024.3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総数	43(5)	3	3	1	3	40(5)
施設長	1					1
支援課長	1					1
主任	3		1	1		3
生活支援員	34(4)	4(1)	7	3	7	31(4)
クリーンスタッフ	1(1)					1(1)
機能訓練指導員	1(兼)					1(兼)
看護師	1(兼)					1(兼)
栄養士	1(兼)					1(兼)

★産休・育休・介護休・休職中職員も現員のままとする。

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数( )内に表示。

★網掛けについては、総数に表示していない。

5-2 職員研修の状況

施設内								
月 日	研修名	人数	月 日	研修名	人数			
4/1～4/4	新任職員研修	3	11/9	コンプライアンス研修	6			
4/23	施設内新任異動職員研修	6	12/7	BCP 研修	2			
4/30	施設内新任異動職員研修	6	12/7	口腔ケア研修	12			
8/2	メンター面談研修	5	12/10	コンプライアンス研修	7			
8/21	接遇講習会	1	1/12	感染症対策研修	1			
8/23	ハラスメント研修	1	1/16	入浴研修	10			
9/13	面談研修	5	2/14	面談研修	5			
9/20	介護技術研修	1	2/28	褥瘡ケア研修	1			
9/26	カスタマーハラスメント研修	1	3/28	身体拘束適正化研修	10			
施設外								
7/20～21	身障協全国大会(群馬)	3	11/27	苦情解決研修	1			
7/20～21	盲重研研修(宮崎)	2	12/13	身障協職員研修	1			
8/10	強度行動障害支援者研修	1	1/17	救急救命研修	1			
8/31	県身協職員研修	3	2/1～2/2	地域支援研修	1			
9/10	福祉避難所研修	1	2/17	県身協ポッチャ大会	2			
9/14	DWAT 研修	1	2/17	県身協ポッチャ大会	2			
11/15	県身協職員研修	2	2/29	虐待防止権利擁護研修	1			
複数研修								
研修内容		月 日				参加人数		
強度行動障害16人研修		5/25	6/8	6/15	6/22	6/29	7/6	1
		7/11	7/12	7/13	9/7	9/20	10/17	
		10/18	11/13	11/16	11/17	11/30		
		1/9	1/25	2/1				
介護福祉士実習指導者研修		5/20	5/27	6/3	6/20			1
高次脳機能障害研修		7/14	11/2	1/12				1
防火管理講習		8/8	8/9					1
強度行動障害基礎研修		8/29	9/1					2

介護職員初任者研修	11/7 11/9 11/14 11/16 11/21 11/28 11/30 12/5 12/7 12/12 12/14 12/19 12/21 1/11 1/16 1/18 1/23 1/25 1/29 2/6 2/8 2/13 2/21 2/27 2/29	1
強度行動障害実践研修	11/7 11/10	1
介護福祉士実習指導者研修	11/19 11/26 12/3 12/10	2
強度行動障害基礎研修	12/1 12/6	2
サービス管理責任者研修	1/9 1/10	1

### 5-3 実習受け入れ状況

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
6/19~6/30	東京福祉専門学校	保育士	1
8/4~9/2	淑徳大学	社会福祉士	2
8/18~8/29	東京福祉専門学校	社会福祉士	1
9/1~9/30	淑徳大学	社会福祉士	1
9/4~10/5	東京福祉専門学校	社会福祉士	1
11/7~11/29	大原医療保育福祉専門学校	介護福祉士	2
1/25~2/6	東京福祉専門学校	介護福祉士	1
2/7~3/1	東京福祉専門学校	社会福祉士	2
2/8~2/21	東京福祉専門学校	介護福祉士	1

### 6 行事实施状況

月	行事内容
4月	ルミエール歓迎会(25)
5月	とつぜん音楽会(28)
9月	日中活動夏行事(10)
10月	愛光秋まつり(7) とつぜん音楽会(29)
11月	ルミエール運動会(12)
12月	クリスマス会(22)
1月	ルミエール新年会
2月	光和会演奏会(25)
3月	日中活動行事(10) ルミエール送別会(26)

## 概況

「利用者の想いを傾聴しサービスの深化につなげよう！」をスローガンとし進めてきた。コロナウィルス感染症が5類に移行したとはいえ、ひとたび感染者が出ると濃厚接触者を特定し検査を行い、健康観察期間は活動を停止しなければならず、社会情勢との不整合に歯がゆい思いを感じる場面もあった。殊に2月は利用者11名、職員2名の感染が確認され1ヶ月余りの自粛生活を行った。ただ、そうした状況においても年間を通し楽しむ機会を模索し、帰省の再開、面会の時間制約も外した。グループ外出も3回企画しディズニーランドや東京ドイツ村等で思い思いの体験をしていただいた。帰省についてはこの4年の間にご家族の状況にも変化が見られ、免許返納に伴う帰省の中止をご本人に伝えるため仲良し4姉妹で最後の家族旅行を行ったご家族もいた。

○本年度数値目標（稼働率目標⇒実績）

- ・施設入所；98% ⇒99.6%   ・生活介護；104% ⇒102.7%   ・短期入所；85% ⇒ 79.0%
- ・入所定員56名⇒現員56名（入所・退所 各1名）

○入退所調整制度の確立

- ・昨年度末 骨折後後遺症で歩行不全になったご利用者1名について、入浴設備や介護用ベッド等設備の充足しているルミエールに移行した。30年余りをめいわで過ごされた方で新しい環境や情緒面での理解等危惧し1カ月余りお試し期間も設けたが、めいわから異動した顔なじみの職員も多く順調に拠点を変えることができた。今後高齢化・重度化が進む中で各施設の機能を検討し、ご利用者にとってより安心・安全な場所を考える必要のあることを再認識した。今後も、ご家族・ご利用者のニーズ、意向を尊重し丁寧に進めていきたいと考える。

○地域ニーズに即した利用促進

- ・居室修繕工事や感染症対応にともない短期入所利用を制限した時期はあったが、可能な限り受入れを実施。12～3月末、介護者が終末期のため児童施設に移るまでの期間、小学生1名の緊急受入れを行った。親権者の異動が進まず、1月末で四街道市の支援が終了。児相の一時保護委託に変更となる複雑な状況が生じた。緊急対応であるからこそ、各所の役割を認識、連携するため行政を交えた担当者会議の重要性を痛感した。当該児についてはご家族、特別支援学校、相談支援事業所と連携し児童施設に無事送り出すことができた。

○自ら考え、行動できる職員の育成

- ・内部にて視覚障害者支援向上に関する研修(2回)、自閉症スペクトラム障害に関する研修、虐待防止伝達研修、ケース紹介等実施。加盟団体主催の対面研修も開催され多くの職員を派遣した。コロナ禍で入職した職員も多く他法人の職員との会話から得た刺激も多かった様子。
- ・新人事制度；制度の主旨、法人からのメッセージを会議等で伝えた。当年度より一般職員の面談を主任に一任し幅広い意見、率直な思いを聞くことができた。今後の人材育成につなげていきたい。

○利用者の喜び・楽しみを増やす

- ・WEB面談；需要がなくほぼ実施なし。面会、帰省の制約を減らしたことでご家族との交流も増えた。家族会も不定期ではあるが3回実施。
- ・食事会・行事等；コロナ禍で継続してきた食事会は活動の合間の慌ただしさ、ルーティン化している背景もあり8月より中止。その分、外出行事、活動班やフロアごとの食事会やミニイベント等企画し楽しんでいただく機会を増やした。
- ・日常生活や面談、満足度調査等で利用者の想いを傾聴。当年度、個別支援計画作成会議にも4年ぶりにご家族に同席いただいた。ご本人のみならずご家族の思いに直接触れたことは職員にとっても利用者支援を考えるうえで大きな刺激になった様子。高齢のご兄弟との対面に涙ぐみ歓喜の声を上げるご利用者の姿も見られた。

○災害時の事業継続

- ・業務継続計画に基づき、事業部防災訓練および初期行動マニュアルに沿った訓練を実施。

【その他】○第三者委員による懇談会；感染症対応のため中止（施設長 片野 明美）

## 2023（令和5）年度 事業報告書 根郷通所センター

### 概況

当年度のスローガンは「安心と信頼の支援で利用者の地域生活を支える」とした。通所している際に垣間見える家庭内での利用者の問題行動（精神的な不安定さや収集癖の問題など）について情報交換を行いご家族が安心できる支援体制作りにも努めた。

表立ってこない問題やご家族によっては相談に至らないケースもあるため、更なる関係づくりが必要であると感じた。

#### ○本年度数値目標

- ・稼働率：目標 105% 実績 101%

コロナウィルスの影響が残っていることや年末に退所された方の影響により目標の数値には届かなかった。

#### ○稼働の維持、管理と職員意識の向上

- ・新規の受入れについて最大4名ほどの余力があるため利用希望者の積極的な受入れを行う方針を掲げた。今年度は特別支援学校生の進路先を前提とした実習として3名の受入れを実施。現場の意識も高く3名とも新規の利用を前提とした受入れの方向で話を進めている。この実習を通じて支援学校内で根郷通所の良い評判がたったとのことで視察の依頼があり見学会を実施することとなった。新規利用者の獲得へ向け、支援技術の向上とハードの両面を整え多様なニーズに応えられる事業所づくりを行うこととする。

#### ○サービス向上

- ・新たな送迎ルート（佐倉地区）を開始。これにより当該方面で生活介護の利用を希望される方の門戸が広がるに至った。
- ・満足度調査を実施。全職員の意見を反映させた6項目の設問を設定。項目としては①職員の基本姿勢について②個別支援計画について③連絡手段について④環境面について⑤作業内容について⑥クラブ・余暇活動についてである。大半は好意的な意見であったが「おざなりな対応をする職員がいる」との厳しくも貴重な意見も頂戴することができた。また今年度は入所施設で行っているショートステイの利用についての意見を設けることとした。ご家族からの貴重な意見は各施設に原文のままフィードバックしている。
- ・今年度は余暇活動に力を入れた。近隣のファミレスでお茶をすることや土曜日は調理やレクリエーションを楽しんだ。スーパーで各々が食べたい物を購入し海に出かけるなど盛りだくさんであった。
- ・酒々井サービスエリアにて自主生産品の販売を始めてから一年が経過した。商品の質も向上し法人内の職員からも直接販売して欲しいと多数の声を頂いている。ネット通販においても全国から依頼があり「目指せ日本一周」と題して白地図に発送した都道府県にマークを付け始めた。その他、ショップカードを作成しインスタを開設した。近隣の方よりダイレクトメッセージを通して暖かいメッセージを頂く一幕もあった。

#### ○職員育成

- ・個別性の高い支援体制を構築するため「東社協独自の強度行動障害支援の指導者養成研修」に月に一度半年をかけた連続研修に職員を派遣。それを基に毎月一回内部研修を実施し職員の意識を高める取り組みを行った。また、専用アプリを活用して利用者の行動を分析するなど新たな技術を獲得するに至った。
- ・行動評価の理解浸透のため評価時期に関わらず個別面談をこまめに実施した。これによりコミュニケーションの機会が増え方向性の確認や課題・対策等についてタイミングよくディスカッションを行うことができた。

#### ○災害時の事業継続

- ・新事業継続計画に基づく避難訓練を年3回実施

#### 【その他】

#### ○第三者委員による懇談会

- ・令和6年2月27日（火）13:30～13:45 利用者25名 職員10名 保護者0名  
加藤委員による懇談のテーマ「第三者活動ってなに」

（所長 菊地暁生）

## 1. 施設利用状況 (2023. 4. 1～2024. 3. 31)

### 1-1 利用状況

#### ①めいわ

【定員56名】

	施設利用者			1日平均		空所				異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
年間	20496	20496	20410	55.8	99.6	42	0	0	42	1	1

#### ②根郷通所センター

【定員24名】

	通所利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	6480	7463	6610	24.4	102	0	1

### 1-2 入・退所状況

#### ①めいわ

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	1			1				
退所者数と退所事由	1				1			

#### ②根郷通所センター

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	0		0					
退所者数と退所事由	0				0		1	

### 1-3 短期入所（ショートステイ）利用状況

#### ①めいわ

【定員4名】

	利用者			
	定員	総数	1日平均	稼働率
年間	1464	1156	3.1	79.0

### 1-4 地域生活支援事業（日中一時支援事業）利用状況

#### ①めいわ

	利用者	
	総数	1日平均
年間	110	0.3

#### ②根郷通所センター

	利用者	
	総数	1日平均
年間	0	0

1-5 出身地別利用状況

① めいわ

【千葉県】	男	女	【千葉市】	男	女	【東京都】	男	女
銚子市	1	1	緑区	1		練馬区		3
市川市	1		若葉区	1	1	台東区		1
松戸市	1					江東区	1	
香取市	1					渋谷区		1
茂原市			計	2	1	世田谷区	1	2
成田市	1	1	合計	3		足立区		1
佐倉市	5	4	【新潟県】			目黒区		1
匝瑳市	1					八王子市	1	
酒々井町			魚沼市		1	小金井市	1	
柏市	3	1				青梅市	1	
君津市		1				狛江市		1
我孫子市	1		計		1	西東京市		2
船橋市	2	2	合計	1				
大多喜町	1							
長生村		1						
八街市	1							
習志野市		1						
四街道市		4	計					
流山市		1	合計					
計	19	17						
合計	36							
						計	5	12
						合計	17	

②根郷通所センター

出身地	男	女	計			
佐倉市	7	4	11			
四街道市	5	7	12			
習志野市	1	0	1			
千葉市	2	1	3	男	女	合計
成田市	0	1	1	15	13	28

2 利用者の状況 (R3 年度中在所した全利用者)

2-1 年齢構成 (年齢は 2023. 4. 1 現在)

① めいわ

	総数	~19	20~	30~	40~	50~	60~	70~	平均年齢	最高齢	最年少
総数	56	0	2	1	6	26	16	5	57	88	25
総数 %	100	0	3.6	1.8	10.7	46.4	28.6	8.9			
男	26	0	1	1	5	12	6	1	53	76	28
女	30	0	1	0	1	14	10	4	59	88	25

②根郷通所センター

	総数	～19	20～		30～	40～	50～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	28	0	16	7	4	1	31	52	20	28
%	100	0	57.1	25.0	14.3	3.6				100
男	15	0	6	6	3	0	33	46	23	15
女	13	0	10	1	1	1	30	52	20	13

2-2 障害区分

① めいわ

	総数	1	2	3	4	5	6	重度障害者 支援加算
総数	58	0	0	0	2	11	45	33
%	100	0	0	0	3.4	19.0	77.6	58.9
男	26	0	0	0	0	7	19	14
女	32	0	0	0	2	4	26	19

② 根郷通所センター

	総数	1	2	3	4	5	6
総数	28	0	0	2	7	9	10
%	100	0	0	7.2	25.0	32.1	35.7
男	15	0	0	1	5	6	3
女	13	0	0	1	2	3	7

2-3 身体障害者手帳による障害程度

① めいわ

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	57	31	5	1	2	1		17
%	100	54.4	8.8	1.8	3.5	1.8		29.8
男	26	18	3	0	0	0		5
女	31	13	2	1	2	1		12

② 根郷通所センター

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	28	8	0	2	1	0	0	17
%	100	28.6	0	7.1	3.6	0	0	60.7
男	15	3	0	1	1	0	0	9
女	13	5	0	0	0	0	0	8

2-4 療育手帳による障害程度

① めいわ

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	57	7	26	6	6	12
%	100	12.3	45.6	10.5	10.5	21.1
男	26	4	10	1	2	9
女	31	3	16	5	4	3

② 根郷通所センター

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	28	17	10	1	0	0
%	100	60.7	35.7	3.6	0	0
男	15	8	6	1	0	0
女	13	9	4	0	0	0

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

① めいわ

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	57	24	15	39	18
%	100	42.1	26.3	68.4	31.6
男	26	14	7	21	5
女	31	10	8	18	13

② 根郷通所センター

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	28	8	1	9	10
%	100	28.6	3.6	32.1	35.7
男	15	3	1	4	7
女	13	5	0	5	3

3-2 知的障害

① めいわ

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	57	11	31	8	6	56	1
%	100	19.3	54.4	14.0	10.5	98.2	1.8
男	26	7	14	2	2	25	1
女	30	4	17	6	4	31	0

② 根郷通所センター

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	28	17	10	1	0	28	0
%	100	60.7	35.7	3.6	0	100	0
男	15	8	6	1	0	15	0
女	13	9	4	0	0	13	0

3-3 障害の状況（総括）

① めいわ

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	57	39	9	3	1	1	56	1	2
%	100	68.4	15.8	5.3	1.8	1.8	98.2	1.8	3.5
男	26	21	3	0	1	0	25	1	1
女	31	18	6	3	0	1	31	0	1

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

② 根郷通所センター

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	28	9	3	0	0	2	28	0	0
%	100	32.1	10.7	0	0	7.1	100	0	0
男	15	4	3	0	0	1	15	0	0
女	13	5	1	0	0	1	13	0	0

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

3-4 日常生活動作（ADL）介護の状況

めいわ

総数 57名	排泄	食事	入浴	着脱衣	ベッドメイキング	移動（内）	移動（外）
常時全面で介助	3	3	4	3	30	3	4
%	5.3	5.3	7.0	5.3	52.6	5.3	7.0
常時多面で介助	11	9	30	8	17	12	42
%	19.3	15.8	52.6	14.0	29.8	21.1	73.7
時々部分的に介助	33	34	22	29	5	32	6
%	57.9	59.6	38.6	50.9	8.8	56.1	10.5
点検・配慮程度	10	11	1	17	5	9	4
%	17.5	19.3	1.8	29.8	8.8	15.8	7.0
自立	0	0	0	0	0	1	1
%	0	0	0	0	0	1.8	1.8

3-5 コミュニケーションの状況  
めいわ

総数 57 名	言語(会話)	意思表示	一般文字	点字	盲人用ワープロ
不可 %	16 28.1	7 12.3	45 78.9	56 98.2	57 100
一部で可能 %	10 17.5	19 33.3	7 12.3	0 0	0 0
だいたい可能 %	31 54.4	31 54.4	5 8.8	1 1.8	0 0
支障なし %	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0

4 援助サービスの実施状況  
① めいわ

項目	援助サービスの実施状況
日中活動 (月～金)	午前・午後共に各作業班に分かれて活動を実施。 利用者の希望や特性に合わせ、所属の活動を決定している。
農耕班	生ごみ投入や袋詰めなどの堆肥生産。地域の方と交流するユニバーサル農業での野菜配達。一部の野菜栽培を再開した。(当年度はサツマイモのみ)
手工芸班	さをり織りと洗濯たたみを行った。 地域の販売会や秋まつりに出品し、多くの方に手に取って頂いた。R6.2より、創作班と統合をした。
創作班	地域新聞、アルミ缶資源回収、紙漉き製品の販売を行う。 紙漉き製品は今年度から販売を始め、多くの方に買っていただいた。他にもコンサートのチケット作成も行い、利用者にとって意味のある作業になった。 地域新聞は近隣トラブルにより R6 年 3 月末で終了している。
受注作業班	銀のさらやおしぼりの封入作業、フルーツキャップ作成を行なった。フルーツキャップ作成が軌道に乗ったことで、作業がない時間がほとんどなくなり、安定した仕事の提供が可能となった。
いろいろ班	高齢者を対象とし、特浴、運動機能訓練、散歩、ストレッチのほか、レクリエーションとしてカラオケやボーリング、簡単調理実習など行った。また季節ごとの装飾品の作成や行事を実施し、より一層季節を感じることが出来た。特浴は支援方法や介護負担軽減のために見直しを行い、着脱時用の介護ベッドを導入した。
	<b>余暇活動</b>
音楽	利用者自由参加；カラオケ、のど自慢大会等
太鼓	利用者めいわ 6 名 月 1 回の太鼓練習(参観は自由)、めいわ内行事での演奏の他に、今年度は外部に 6 か所演奏に行くことができた。 利用者もやりがいを感じながら活動していた。
その他	新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したが、ボランティアの受入れ、活動再開までには至らず、後期ようやく月 1 回の傾聴ボランティア受入を新規にスタートした。 夏季・年末年始等活動休み期間 ・年末のど自慢大会、獅子舞、映画観賞会、鉄板焼き、風呂開放(自由入浴)等
あおばの会	利用者自治会活動(1回/月) 総会(役員選出、行事の利用者代表者、朝の放送等の係り決め) 翌月の予定発表・・・等

② 根郷通所センター

項目	援助サービスの実施状況
日中活動 (月～金)	午前・午後共に各作業班に分かれて活動を実施。 利用者本人の希望を聞き取り、所属の活動を決定している。 酒々井パーキングエリアへの出店及び自主生産品の販売。
木工班	スウェーデントーチ、一輪挿しの制作。 近隣のキャンプ場と提携し商品の販売。 佐倉市のふるさとの納税の商品として出品。 佐倉市内の間伐材の再生利用を実施。
陶芸班	多肉植物を植える器の作成。 パン皿・おにぎり皿・富士山の箸置きなどを作成
受注作業班	パンフレット・ビニール袋の封入、寿司の宅配の割りばしセット作り
余暇活動	
ウォーキング	日中活動終了後に外周路を中心にウォーキングを実施。
菜園	事業所前の小さな菜園で作物を育て収穫し調理などを実施。
土曜登所日	調理・ものづくり・音楽などを実施。
各種行事・クラブ	歓送迎会、お花見、お楽しみ会などを実施。音楽・茶道・調理クラブを実施

5 運営管理

5-1 職員状況

① めいわ

	2023.4.1 現員数	2023.4.1～2024.3.31				2024.3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総数	43(9)	3(1)	4(0)	8(0)	1(0)	42(10)
施設長	1			1		1
支援課長	1					1
主任	2		1(0)	2(0)		2
生活支援員	36(6)	3(1)	3(0)	5(0)	1	35(7)
クリーンスタッフ	3(3)					3(3)
機能訓練指導員	1(兼)					1(兼)
看護師	1(兼)					1(兼)
栄養士	1(兼)					1(兼)

② 根郷通所センター

	2023.4.1 現員数	2023.4.1～2024.3.31				2024.3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総数	16(6)		2	3		16(6)
施設長	1					1
所長	1					1
生活支援員	15(6)		2	3	1(1)	15(6)
機能訓練指導員	1(兼)					1(兼)
看護師	1(1)(兼)					2(2)(兼)
栄養士	1(兼)					1(兼)

- ★育休・休暇中職員は現員から除く
- ★雇用形態変更・育休、休職の入出は、異動入・出にてカウントする
- ★年度末日退職者及び異動退職者は年度末日現員に含む
- ★年度当初採用者及び異動入職員は年度当初現員に含む
- ★数字は総数で表示し、うちパート職員の数は（ ）内に表示。
- ★網掛は兼務のためカウントしない

5-2 職員研修の状況

① めいわ

施設内					
月 日	研修名	人数	月 日	研修名	人数
6/12	新年度メンター研修	2	11/8	リーダー研修	3
7/6	リーダー研修	3	11/9	権利擁護研修	5
7/12	感染症対策研修	2	11/15	リスクマネジメント研修	2
7/19	メンティー交流会	4	11/22	メンター情報交換会	4
8/2	面談研修	2	12/11	2年目職員対象交流会	1
8/9	リーダー研修	3	12/13	リーダー研修	3
8/16	メンター情報交換会	5	1/10	感染症対策研修	1
9/13	人材育成トレーニング	5	2/14	人材育成トレーニング	5
9/20	介護技術研修	2	2/28	褥瘡ケア研修	1
9/22	ガウンテクニック研修	1	2/29	労務管理研修	4
10/11	リーダー研修	3	3/6	リーダー研修	3
10/24	3年目職員対象交流会	2	3/7	メンティー交流会	3
施設外					
4/8	成年後見制度講演会	2	11/3	視覚障害者イベント サイトワールド	1
6/13~14	全国盲重研施設長セミナー	2	11/16~17	全国知的障害関係職員研究大会	1
6/11	防災セミナー	1	11/16~17	全国盲重複障害者施設研究大会	4
7/17~18	知的協新任職員研修会	2	11/19	千葉県 TEACCH プログラム実践セミナー	1
7/20~21	盲重研職員研修会	2	11/27	苦情解決研修会	1
8/24	虐待防止権利擁護研修	1	12/15	他施設見学（しおさいホーム）	5
9/9	介護職のための研修	1	1/18~19	障害者支援施設部会全国大会	3
9/13	サビ管研修	1	3/8	未来協施設合同研修会	1
10/4	経営管理研修	1	3/9	強度行動障害実践報告会	4
10/15	介護職のための研修	1			
10/16~17	障害者支援施設部会一泊研修会	2			
複数研修					
研修内容		月 日		参加人数	
千葉県 TEACCH プログラム研究会		5/14, 7/1, 9/2, 10/8, 12/2, 2/17		2	
実習指導者講習会		5/20, 27		1	
介護福祉士実習指導者講習会		6/3, 10		1	

自閉症連続基礎講座	6/13, 20, 27	1
千葉県強度行動障害者支援者養成研修 基礎研修	8/29, 9/1,	2
甲種防火管理講習	8/29, 30	1
てんかん基礎講座	8月(7講座)	1
自閉症連続基礎講座	9/6, 13, 20	1
嚙下研修	10月～4月	1
千葉県強度行動障害者支援者養成研修 実践研修	11/7, 10	1
千葉県強度行動障害者支援者養成研修 基礎研修	12/1, 6	2
サビ管研修	10/18, 19, 20 12/7, 8	1
自閉症連続基礎講座	2/8, 15, 22	1

## ② 根郷通所センター

施設内		
月 日	研修名	人数
9/20	介護マイスター研修	1
11/9	権利擁護研修	1
11/15	リスクマネジメント研修	1
12/7	BCP 研修	1
施設外		
5/20	介護福祉士実習指導者講習	1
5/27	介護福祉士実習指導者講習	1
6/3	介護福祉士実習指導者講習	1
6/3	アーチクジラサーカス 2023	1
6/10	介護福祉士実習指導者講習	1
6/22	令和5年度強度行動障害支援公開基礎講座	1
10/3	サービス管理責任者更新研修	1
11/16	第59回全国知的研修	1
11/17	第42回全国盲重複研究大会 (zoom)	1
11/18	ハンドメイドフェスタ視察	1
3/9	千葉県高度行動障害実践報告会	2
複数研修		
研修内容	月 日	参加人数
令和5年度強度行動障害支援アドバンス研修	7月～1月(毎月)	1

## 5-3 実習受け入れ状況

### ①めいわ

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
5/1～5/31	江戸川学園おおたかの森	社会福祉士	1
5/22～6/6	聖徳大学	保育士	1
5/24～6/30	中央介護福祉専門学校	介護福祉士	2
6/19～6/30	東京福祉専門学校	保育士	1
7/3～8/14	新国際福祉カレッジ	介護福祉士	1
8/16～9/15	江戸川学園おおたかの森	社会福祉士	2
8/18～30・2/7～28	東京福祉専門学校	社会福祉士	2

9/4～10/4	東京福祉専門学校	社会福祉士	2
10/2～11/1	城西国際大学	社会福祉士	3
11/7～30・12/11～22	大原医療秘書福祉保育専門学校	社会福祉士	1
11/7～12/6	中央介護福祉専門学校	介護福祉士	1
3/4～3/15	千葉経済短期大学	保育士	2
3/4～4/6	国際医療福祉大学	介護士	1

② 根郷通所センター

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
6/12～6/15	中央介護	介護福祉士	2
6/19～6/22	中央介護	介護福祉士	2
8/28～9/7	新国際福祉カレッジ	介護福祉士	1
10/31～11/2	双葉看護	看護師	2
11/7～11/29	大原学園	介護福祉士	4
1/22～2/3	千葉明德短期大学	保育士	4
2/5～2/20	目白大学	保育士	2
2/8～2/26	千葉敬愛短期大学	保育士	1
2/21～3/7	目白大学	保育士	2

6 行事実施状況

① めいわ

月	行事内容
7月	歓迎会(25)
8月	納涼祭(25)
9月	手をつなぐスポーツのつどい(28) 敬老会(18)
10月	日帰り旅行:房総(26)
11月	おひさま祭(23) 日帰り旅行:東京ドイツ村(30)
12月	日帰り旅行:ディズニーランド(6) 忘年会(28) のど自慢大会(31)
1月	新年会(20)
3月	やよい会(29)

② 根郷通所センター

月	行事内容
4月	お花見
12月	忘年会
3月	やよい会
随時:お楽しみ会	

## 障害者支援施設

## リポープ

## 概況

「高齢化対応・成年後見制度活用の強化」をスローガンとして、業務に取り組んできた。高齢化が進み多くの利用者に認知機能や身体機能等のADLの低下が見られる。更に重度化も進み入院が増えた結果、生活介護の稼働率が低下した。また、高齢者施設へ1名の利用者が移動しており、金銭管理についても自己管理から施設管理へ移行する利用者が増えている。このような状況の下、必要性が増してきた成年後見人の選任を弁護士中心に積極的に実施した結果、4名の利用者に対し成年後見人の選任を行うことができた。株式会社日本ビジネスシステムの第三者評価を受審し、「地域に根差した福祉事業の展開」、「利用者主体の事業運営」、「組織力を活用した質の高いサービス提供」の3点が特に高い評価を受けた。

## ○本年度数値目標

- ・稼働率 施設入所：98%→95.9% 短期入所：95%→77.9% 生活介護：101%→99.4%
- ・入所満床確保 50床→49床

## ○入退所・生活介護利用調整制度の確立

- ・経営企画室相談員との連携強化により、事業部内の「めいわ」から「ルミエール」に利用者を移動することができた。このことにより「めいわ」でロングショートを利用の入所待機利用者が入所することができた。今後も、施設単体で考えるのではなく事業部として入所待機利用者がスムーズに入所出来るように、事業部内移行を確立していきたい。

## ○収支改善

- ・前年度と比較し、コロナ発生時に短期入所の受入れや生活介護の受入れを中止したため、目標は達成できなかったが短期入所、生活介護共に稼働率が改善され収入が大幅に増額した。また、効率化による事務費の減額、保健衛生費「オムツや清拭等」の商品選定の見直し在庫管理の徹底による事業費の減額により、サービス活動増減差額が前年度比で3月末時点約1,900万円の増額となった。

## ○職員のスキルアップ

- ・毎月の職員会議で、高齢支援プロジェクト・自立支援プロジェクト主催の研修を行った。高齢者支援では、基本的なことは座学で、実際の利用者対応については都度、必要な介護技術を学んでいる。自立支援プロジェクトでは訓練に必要な知識、技術を学ぶとともに、新規入所の利用者で実践しながらスキルアップを図った。その他、法人研修、外部研修を含め介護研修17回、精神障害研修4回、その他67回の研修に参加した。

## ○リハビリ・自立訓練可能な体制の構築

- ・日中活動の時間内にリハビリ・自立訓練を実施し、個別支援計画に則った支援を行った。職員人数の変化により充分に行えない時期もあったが、リハビリ161回、自立訓練165回実施した。ADLに変化があった時には理学療法士の評価を基に支援方法の見直しなどを行った。

## ○災害時の事業継続

- ・新規作成した「非常事態発生時の初期行動マニュアル」に沿った地震・火災等の訓練を6月19日、9月19日、3月4日と3回実施する事が出来た。しかし、疑問が多く残る内容であったため、令和6年度はマニュアル作成業者立会いの下、訓練を実施し指導を受けることとなった。

## 【その他】

○第三者委員による懇談会

・令和6年1月13日（土）10：00～12：00 利用者6名 個別面談

（施設長 中川 光男）

1 施設利用状況（2023.4.1～2024.3.31）

1-1 利用状況

【定員50名】

	延べ年間施設利用者			1日平均		延べ年間空所				異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働数	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
年間	18300	17995	17553	48.0	95.9	747	396	194	157	3	3

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	3			2	1			
退所者数と退所事由	3				1		2	

1-3 短期入所（ショートステイ）利用状況 【定員2名】

	利用者			
	延べ定員	延べ総数	1日平均	稼働率
年間	732	569	1.6	77.9

1-4 地域生活支援事業（日中一時支援事業）利用状況

	利用者	
	延べ総数	1日平均
年間	0	0

1-5 出身地別利用状況

【千葉県】	男	女	四街道市	2	1	【東京都】	男	女
市川市	3		成田市	1	1	板橋区志村		1
市原市	2		計	20	11	板橋区		1
柏市		1	合計	31		足立区	1	
香取市	1					練馬区石神井		
鴨川市	1		【千葉市】	男	女	練馬区大泉	2	
袖ヶ浦市		1	稲毛区		2	大田区	1	
館山市	1		中央区	1		江戸川区	3	
東金市		1	若葉区	1		葛飾区		1
流山市	1		美浜区		1	計	7	3
野田市	1		緑区	1		合計		10
旭市	1		計	3	3			
船橋市	2		合計	6		【茨城県】		
茂原市	1		【埼玉県】	男	女	鹿嶋市	1	

八街市		1	春日部市	1	1			
八千代市	1		白岡市	1				
佐倉市	2	4	計	2	1		計	1
長南町		1	合計	3			合計	1

## 2 利用者の状況（2023年度中在所した全利用者）

### 2-1 年齢構成（年齢は2023.4.1現在）

	総数	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	51	1	3	7	3	11	10	13	4	58.4	84	19
%	100	1.9	5.7	13.4	5.9	21.6	19.3	26.9	7.8			
男	33	1	3	4	2	5	6	8	4	58.5	84	19
女	18			2	1	6	4	5		61.4	79	35

### 2-2 障害区分

	総数	1	2	3	4	5	6
総数	51	0	0	2	19	18	12
%	100	0	0	3.8	36.5	36.5	19.2
男	33	0	0	1	14	11	9
女	18	0	0	1	5	7	3

### 2-3 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	51	38	6	0	0	0	0	6
%	100	76.4	11.8	0	0	0	0	11.8
男	33	27	4	0	0	0	0	2
女	18	10	2	0	0	0	0	6

### 2-4 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	51	0	8	3	7	22
%	100	0	15.7	5.9	13.7	64.7
男	33	0	5	2	5	22
女	18	0	3	1	2	10

### 2-5 就学状況（最終学歴）

	総数	普通学校 義務	特別支援 義務	普通高等 学校	特別支援 高等部	千葉盲 (再掲)	その他	不就学
総数	51	15	5	4	25	16	1	1
%	100	29.4	9.8	7.8	49.0	31.4	2.0	2.0
男	33	9	3	3	17	11	0	1
女	18	6	2	1	8	5	1	0

## 2-6 就労経験

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	51	16	35
%	100	31.4	68.6
男	33	11	22
女	18	5	13

## 3 利用者の障害の状況

### 3-1 視覚障害

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	51	29	12	41	10
%	100	56.9	23.5	80.4	19.6
男	33	19	10	29	4
女	18	10	2	12	6

### 3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	51	0	8	3	22	33	18
%	100	0	15.7	5.9	43.1	64.7	35.3
男	33	0	6	5	10	21	12
女	18	0	3	2	8	13	5

### 3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	51	38	6	5	0	2	33	13	8
%	100	74.5	15.7	9.8	0	3.9	64.7	25.5	19.6
男	33	26	3	4	0	1	21	9	5
女	18	12	3	1	0	1	12	4	3

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

### 3-4 日常生活動作（ADL）介護の状況

	排泄	食事	入浴	着脱衣	ベッド メイク	移動 (内)	移動 (外)
常時全面で介助	13	1	14	0	22	7	35
%	25.5	2.0	27.5	0	43.1	13.7	68.6
常時多面で多介助	6	1	4	4	8	3	8
%	11.8	2.0	7.8	7.8	15.7	5.9	15.7
時々部分的に介助	8	4	10	10	13	6	4
%	15.7	7.8	19.6	19.6	25.5	11.8	7.8
点検・配慮程度	5	38	8	17	5	10	3
%	9.8	74.5	15.7	33.4	9.8	19.6	5.9

自立 %	19 37.2	7 13.7	15 29.4	20 39.2	3 5.9	25 49.0	1 2.0
---------	------------	-----------	------------	------------	----------	------------	----------

### 3-5 コミュニケーションの状況

	言語（会話）	意思表示	一般文字	点字	盲人用 ワープロ
不可 %	0 0	0 0	38 74.5	33 64.7	47 92.2
一部で可能 %	3 5.9	3 5.9	3 5.9	3 5.9	2 3.9
だいたい可能 %	0 0	0 0	8 15.7	0 0	2 3.9
支障なし %	48 94.1	48 94.1	2 3.9	15 29.4	0 0

### 4 援助サービスの実施状況

区 分	援助サービスの実施状況
住居・食事 日用品等の提供	2階職員トイレの2つの個室を1つの車いす用トイレに改修し、いづれど班の利用者が使いやすい環境を作った。また、広い空間でも視覚障害の利用者が移動しやすいよう誘導ラインを敷設した。短期入所用の居室の壁紙や戸棚を明るくきれいなものにリフォームした。日中活動での収入で利用者の食事会、お楽しみ会を実施し、普段より少し豪華なお弁当やコーヒー、ケーキ、和菓子などを楽しんだ。
各種専門的訓練 及び 日中活動	<p>【受注】 おしぼりの袋詰め、マグネット組立、フルーツキャップの折りたたみ、紙スプーンの袋詰め、ピックの箱詰め、点字名刺、箸の袋詰め、マドラーの箱詰めを行った。（利用者 18名参加）</p> <p>【園芸】 花苗の栽培と販売を行った。法人内よもぎの園の花壇、物井駅ロータリー、ヤックス前、南図書館の横、法人内花壇の整備を行なった。（利用者 7名参加）</p> <p>【いづれど】 高齢者や視覚障害者を対象とし、日替わりレクリエーションや創作活動（食物・バスボム・装飾作り）などを行った。（利用者 11名参加）</p> <p>【手芸】 さをり織り、さき織り、フェルト人形作りを行っている。（利用者 7名参加）</p>
ケアマネジメント	個別支援計画を毎月の高齢支援プロジェクト、自立支援プロジェクト、フロア会議で進捗状況や課題を共有し、利用者支援を行った。外部講師を招いてのケース検討を2回行ない、生活歴や対象利用者の強みも考えながら支援方法について検討した。地元に戻りたいとの希望があった利用者が生まれ故郷の特別養護老人ホームに移行した。ご家族のいない利用者の成年後見人の手続きを進め4名に後見人がついた。

保健・医療	1月25日から2月7日にかけて、新型コロナウイルスのクラスターが発生し、入所利用者10名、通所利用者1名が罹患した。高齢の利用者2名が亡くなった。お二人とも啓明園時代からの入所者で40年以上、愛光で過ごされた方だった。直腸がんの再発で1名の利用者が摘出手術を行った。術後、腸穿孔の為、再手術を行うなど一時は命の危険も告げられたが、その後回復し、施設で元気に過ごしている。
余暇活動	秋まつりが4年ぶりに復活し、ご家族の参加やボランティアも多く受け入れ、楽しい活気にあふれた一日を過ごすことができた。余暇行事はコロナ前に行なっていた、年4回の外出行事に戻し、今年度はバーベキュー（アンデルセン公園・成田ゆめ牧場）、舞浜イクスピアリ、東京ドイツ村、八天堂カフェリアの内、希望する1か所に参加する形で行った。定例のバリアフリー映画、カラオケクラブ、草笛クラブは継続して行った。エレクトーンクラブはオレンジカフェでの演奏、山王小学校での福祉学習での演奏などを行い、点字の読める利用者は根郷中学校の福祉学習にも参加した。個別外出も可能な限り実施した。
自治会活動	4年ぶりの秋まつりで飲み物販売を行った。自治会主催の夏を楽しもう会、もみの木会、弥生会の他、利用者から希望のあったバーベキューを開催。あいにくのお天気以外での実施は出来なかったが、玄関や食堂で調理し、十分楽しむことができた。

## 5 運営管理

### 5-1 職員状況

職名	2023.4.1 現員数	2023.4.1~2024.3.31				2024.3.31 現員数
		採用	異動入	異動出	退職	
総数	35 (6)	6 (3)	4 (1)	7	6 (4)	36 (8)
施設長	1					1
課長	1					1
主任	2		2	2		2
生活支援員	27 (4)	5 (2)	2 (1)	5	5 (3)	28 (7)
清掃	1 (1)	1 (1)				1 (1)
機能訓練士	1 (兼)					1 (兼)
看護師	1 (1)	1			1 (1)	1
栄養士	1 (兼)					1 (兼)

★育休・休暇中職員は現員から除く

★雇用形態変更・育休、休職の入出は、異動入・出にてカウントする

★年度末日退職者及び移動出職員は年度末日現員に含む

★年度当初採用者及び異動入職員は年度当初現員に含む

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示

5-2 職員研修の状況

施設内					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
4/24	血圧について	21	10/20	高齢者の体の特性について 視覚障害者の日常生活訓練	20
5/29	高齢者の衣類を選ぶポイント 館内ファミリーリゼーション	20	11/9	法人権利擁護研修	8
6/12	新年度メンター研修	2	11/15	リスクマネジメント研修	5
6/16	リスクP研修（薬関係）	3	11/22	メンター情報交換会	3
6/21	後見人研修（高梨憲司先生）	13	11/24	「圧抜き」を体験しよう 視覚障害者の日常生活訓練	20
6/23	ガイドヘルプ（エスカレーター の利用）	15	12/22	もし誤嚥していたら 視覚障害者の日常生活訓練	21
7/12	感染症対策研修	2	1/10	感染症対策研修	1
7/21	ケース検討（田中桂子先生） 高齢者疑似体験	15	1/16	ケース検討（田中桂子先生） 点字・指点字について 食事介助の方法について	15
8/2	面談研修	2	2/18	「認知症と共に生きる」とは	3
8/16	メンター情報交換会	3	2/19	認知症について	17
8/25	フレイルについて	18	2/28	ガイドヘルプ（物井駅）	2
9/15	メンティー交流会	3	3/15	褥瘡ケア研修 1年間の取り組みグループ発表 点字・点字プリンターについて	17
9/20	介護マイスター研修	4			
9/21	4年目職員交流会	1			
9/22	ガウンテクニック 視覚障害者の日常生活訓練 咀嚼・嚥下の基本を理解しよう	21			
施設外					
5/18	面談の基本と心得	1	10/11	統合失調症	1
6/7	障害者差別解消法研修	2	10/16 ~17	障害者支援部会施設長県外1泊 研修	2
6/12	障害者虐待防止の理解と対応	1	10/27	障がい者虐待防止研修	1
6/12	障がい者福祉とは	1	10/27	感染症予防	1
6/12	高齢化に伴う変化と身体介護	1	11/1	新任職員（転職）研修	1
6/13~ 14	全国盲重複障害者福祉施設研 究協議会・施設長セミナー	2	11/7	社会福祉施設における防災対策 講座（福祉避難所の理解）	1
6/14	個人情報保護法の理解	1	11/9	個別支援計画とケース記録	1
6/14	障がい者支援の理念とは	1	11/10	サービス管理責任者更新研修	1
6/14	障がい者福祉とは	1	11/13	福祉施設の風水害対策	1
6/15	ハラスメントのチェック	1	11/16 ~17	全国知的障害者福祉関係職員研 修大会（山梨大会）	3
6/16	高齢化に伴う変化と身体介護	1	11/17	サービス管理責任者基礎研修	1
6/16	障がい者支援の理念とは	1	・20		
6/16	高齢知的障がい	1	11/24	福祉サービス苦情解決研修	1
6/16	新型コロナウイルスと障がい 者支援	1	11/27	福祉サービス苦情解決研修（応 用編）	1
6/26	中堅職員の為の基礎知識	1			

6/27	福祉施設の個人情報管理	1	12/7	日中活動支援部会全国大会近畿地区大阪大会	2
6/28	障がい者支援の理念とは	2	~8		
6/28	障がい者福祉とは	1	12/11	他施設研修（ルミエール）	1
7/3	中堅職員の為の基礎知識	1	1/10	保護者との連絡ノートの書き方	1
7/4	日中活動支援部会定例会	1	1/12	入所施設の役割を在り方	1
7/6	支援者と支援組織のリスクマネジメント	1	1/17	救急救命講習	1
7/6			1/18	障害者支援施設部会全国大会九州地区沖縄大会	3
7/7	高齢化に伴う変化と身体介護	2	~19		
7/7	統合失調症	1	1/27	自立支援セミナー	1
7/20~21	全国盲重複障害者福祉施設研究協議会	2	2/27	障害者虐待防止・権利擁護研修（管理者・虐待防止責任者対象）	1
7/31	全国知的障害関係施設長会議	1	3/7	事例研究発表会「私たちの目指す介護」	1
8/23~25	視覚障害者リハビリテーション基礎講習会	2	3/9	IT サポートボランティア養成研修	2
9/12~13	新任職員研修会	3	3/12	虐待につながる身体拘束の防止について	1
10/8~9	防災管理者講習会	1			
複数研修					
研修内容			月 日		参加人数
摂食嚥下コンサルタントナースプログラム			10/6~ (2024年) 4/22 4回/月		1

### 5-3 実習受け入れ状況

期 間	養 成 機 関 名	実習対象資格等	人 数
6/12~6/15	中央介護福祉専門学校	介護福祉士	2
6/19~6/22	中央介護福祉専門学校	介護福祉士	2
6/26~8/4	成田国際福祉専門学校	介護福祉士	2
8/1~8/31	淑徳大学	社会福祉士	1
8/1~10/19	淑徳大学	社会福祉士	1
8/18~8/30	東京福祉専門学校	社会福祉士	1
9/1~9/30	淑徳大学	社会福祉士	2
9/7~10/7	城西国際大学	社会福祉士	2
10/17~10/31	NHK 学園	社会福祉士	1
11/27~12/13	成田国際福祉専門学校	介護福祉士	2
2/5~3/1	成田国際福祉専門学校	介護福祉士	2
2/21~3/5	東京福祉専門学校	社会福祉士	1
3/4~3/15	千葉経済大学	保育士	2

## 6 行事実施状況

月	行 事 内 容
4 月	食事外出 (9) 食事外出 (16) 入所希望の老人ホームを見学しよう (21) 買い物・食事外出 (23)
5 月	誕生日のお祝いをしよう。(3) ヤマザキプラザとニッケコルトンプラザでお買い物 (3) 好物のお寿司を食べに行こう (5) 蒲田駅で楽しもう (14) お寿司屋でランチ (20) グループホームの勉強会と嶋田さんに会いに行こう (21) 外出に行こう (21) アートフレンズ展 (24)
6 月	好物のお寿司を食べに行こう (10) いざ東京 3 大祭りへ (築地獅子祭り) (11) 点字図書館へ行く (17) 普段出来ない体験をしよう (18) 千葉駅前にいいタバコ屋さんがあるらしいよ (24) スシローでお寿司を食べよう (24) マラソンを楽しもう! (マラソンクラブ) (24) お墓参り (24) 四街道ヨーカドーで買い物&外食 (25) 受注班食事会 (30)
7 月	手工芸班食事外出 (5) わっしょいわっしょいしに行きます。(8) 喫茶店に行こう。(9) 余暇行事バーベキュー大会 (12) バーベキューを楽しむ。(24) 手工芸班食事外出 (26) 成田ゆめ牧場でバーベキュー (28)
8 月	美容院と食事外出 (6) 久しぶりの外食と買い物で気分転換をしよう! (13) バーベキューを楽しむ。(18) 夏を楽しもう会 2023 (28) 成田ゆめ牧場でバーベキュー (29)
9 月	鎌倉周辺を観光しよう (3) 園芸班食事会 (7) 鉄道クラブ i n 成田空港第 1 ターミナル駅 (10) 【9 月余暇行事】舞浜イクスピアリに行こう! (14) 【9 月余暇行事】舞浜イクスピアリに行こう! (15) 好物のお寿司を食べに行こう (16) はちす苑敬老会 (17) 石井さんの誕生日を祝おう! i n スシロー (18) 好物のお寿司を食べに行こう (18) 四街道ヨーカドーで買い物&外食 (18) オレンジカフェ (24) 魚べいでお寿司を食べよう (24) いろどり班の食事会 (27) 【9 月余暇行事】舞浜イクスピアリに出掛けよう! (29)
10 月	おいしいものをたべよう (9) 新しい靴を買いに行こう (14) 安藤氏の誕生日祝い (15) 受注班お疲れ様会 (18) 焼肉を食べに行こう (21) イオン海浜幕張に行ってみよう (22) サッカー観戦 (28)
11 月	お誕生日のお祝いをしよう! (5) 散策クラブ (12) 余暇行事東京ドイツ村を散策しよう!! (13) 第 2 弾鉄道クラブ i n 新鎌ヶ谷駅 (19) 千葉鑑定団で買い物&イオンでパン食べ放題 (19) 好物のお寿司を食べに行こう (26) 映画を見よう (26) 羽田空港に行こう! (26) 余暇行事東京ドイツ村を散策しよう!! (28)
12 月	京成電車に乗りを上野に行こう。(2) 好物のお寿司を食べに行こう (3) マラソンに参加 しよう (3) 余暇行事東京ドイツ村を散策しよう!! (4) 鉄道旅~東京~ (9) 四街道ヨーカドーで買い物&外食 (9) サッカー観戦!!!!!! (9) 散策クラブアンデルセン公園に行こう!! (10) 余暇行事東京ドイツ村を散策しよう!! (15) はちす苑忘年会での演奏会 (17) 美容院と食事外出 (17) ポーリングに行きたい~第一章~ (17) もみの木会 (25)
1 月	2024 年新春余暇 (1~3) 「誕生日の外食を楽しもう」(8) 美味しい蕎麦を食べに行こう! (13)

<p>2月</p> <p>3月</p>	<p>好物のお寿司を食べに行こう (14) 鉄道クラブ第3弾千葉駅巡り (21)  レストランで好きな物を食べよう (21) 園芸班1月食事会 (25) 受注班食事会 (26)  遅めの新年祝い! 美味しい和食を食べよう! (29) いろどり班食事会 (29)  手工芸班食事会外出 (7) 品川駅に行って美味しいものを食べよう (12)  手工芸班食事会外出 (14) 園芸班2月食事会 (15)  【自治会行事】リホープでバーベキューをやろう! (25)  八天堂カフェテリアきさらづ (26)</p> <p>ボランティア交流会・エレクトーンクラブお疲れ様会 (2) 両親の墓参り (3)  一条貫太5周年記念コンサートに行ってみよう! (3) 八天堂カフェテリアきさらづ (6)  美味しい海鮮料理を食べに行こう。(9) 好物のお寿司を食べに行こう (10)  イオン成田店でショッピング (10) 食事。買い物外出 (17) 弥生会 (18)  ららぽーと TOKYOBAY で買い物&amp;外食 (20) 新横浜ラーメン博物館へ行こう! (20)  好物のお寿司を食べに行こう (24)  麻賀多神社でお参りとちばかでぬいぐるみを買おう (24) 買い物、外食を楽しもう (23)</p>
<p>毎月</p>	<p>カラオケクラブ、エレクトーンクラブ、草笛クラブ、マラソンクラブ  バリアフリー映画、対面朗読 (集団・個別)、千葉床屋、RI hope 会、</p>

グループホーム  
山王の家

## 概況

「地域の中で自分らしい生活」をスローガンとして業務、支援に取り組んできた。10名の利用者の半数は週末帰省する為、家族と情報交換を密にして連携に努めた。開設から6年経過し、ご家族の高齢化も進みつつあるところ。かかりつけ医等医療機関・健康面の情報把握も改めて行い、1名については受診対応をご家族より引き継いで行っている。当年度日中活動事業を変更した方もいたが、活動先との連携・情報共有を行い大きな混乱もなく進める事も出来た。日常生活では個々の希望に沿って地域行事への参加や外出等を楽しむことが出来た。共同生活ゆえすべてが思い通りとはいかないが、日々様々な事柄を体験し仲間と穏やかに過ごす事ができた。

## ○数値目標（稼働率）

- ・ 目標値 95% ⇒ 実績 92.4%
- ・ 8月、1月に感染症罹患による自宅待機が増え、稼働率の目標達成が出来なかった。

## ○人材育成

利用者支援に支障が出ない様に支援員や世話人と情報共有を密にとった。

## ○利用者の納得する生活

利用者とは相談し、コロナ禍で行えなかった地域行事や季節の催し等に参加する事が出来た

## ○利用者間のトラブル回避

世話人や宿直者から利用者の日々の情報収集に努めた。日常生活でのすれ違いなどは都度対応し、利用者間での大きなトラブルはなかった。ただ、個々の様子に目を向けると、長年一般就労していた方（次年度より就労継続支援B型事業所に変更）について、年間を通し療育手帳や財布等の紛失や通勤時の事故などトラブルが頻発し都度、保佐人・相談支援員と連携し対応した。また精神面での不調から生活面での支障が生じてきた方については精神科受診対応を家族から引き継ぎ、通所先（よもぎの園）とも連携を取り少しずつ状態の改善が進んでいる。

## ○地域で普通に暮らす事が出来る

個々の希望をうかがい、夏祭りや花火大会等地域行事に参加して楽しい時間を過ごし、近隣の施設を利用する事も出来た。また余暇は近隣のコンビニやスーパーに買い物に出掛けたりテレビを見たり、休日残っているメンバーで外食や初詣なども計画し行った。

## ○入居待機者の確保

現在、満床の為、積極的な待機者確保は行ってこなかったが、見学者の問い合わせは2件あった（うち1名は法人内利用者）

## ○災害時の事業計画

・ 業務（事業）継続計画に基づいて年に3回、「地震発生後に火災発生」の設定で避難訓練を行った。同じ設定で反復する事で、利用者自身がどうすればいいのか覚え行動出来る所も多かった。3回目は消防署立会いの下訓練を実施し、消火器を使う際の軍手の使用、防災頭巾やヘルメットの着用、初期消火失敗後の対応等具体的な内容で講評を伺った。

災害が夜間に起こった場合、通報から避難まで職員は1人で行わなければならない。焦らずに行動出来る様に訓練や検討を繰り返し行う事、本部・協力施設との連携も大事になってくる。会議等で共通理解をしていきたい。

（管理者 岡本綾子）

1 利用状況（2023. 4. 1～2024. 3. 31）

1-1 利用状況

【定員 10 名】

	延べ年間利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	3,660	3,660	3,380	9.2	92.4	0	0

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	0	0	0	0	0	0	0	0
退所者と退所事由	0	0	0	0	0	0	0	0

1-3 出身地別利用状況

出身地	男	女	合計
佐倉市	6	1	7
四街道市	1	1	2
柏市		1	1

2 利用者の状況

2-1 年齢構成（2023. 4. 1 現在）

	総数	18～	20～	30～	40～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	10	0	1	3	6	42	59	24
%	100	0	10	30	60			
男	7	0	0	1	6	47	59	34
女	3	0	1	2	0	32	39	24

2-2 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	10	1	0	0	9
%	100	10	0	0	90
男	7	1	0	0	6
女	3	0	0	0	3

2-3 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	10	4	4	1	1	0
%	100	40	40	10	10	0
男	7	4	1	1	1	0
女	3	0	3	0	0	0

2-4 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	10	0	0	0	0	0	0	10
%	100	0	0	0	0	0	0	100
男	7	0	0	0	0	0	0	7
女	3	0	0	0	0	0	0	3

2-5 就学状況（最終学歴）

	総数	普通学 校義務	特別支 援義務	普通高 等学校	特別支援 高等部	千葉盲 (再掲)	その他	不就学
総数	10	0	0	1	8	0	0	1
%	100	0	0	10	80	0	0	10
男	7	0	0	1	5	0	0	1
女	3	0	0	0	3	0	0	0

2-6 就労経験

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	10	3	7
%	100	30	70
男	7	3	4
女	3	0	3

### 3 利用者の障害の状況

#### 3-1 視覚障害

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	10	0	0	0	10
%	100	0	0	0	100
男	7	0	0	0	7
女	3	0	0	0	3

#### 3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	非該当
総数	10	4	4	1	1	0
%	100	40	40	10	10	0
男	7	4	1	1	1	0
女	3	0	3	0	0	0

#### 3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複	その他
総数	10	0	0	0	0	0	10	1	0	0
%	100	0	0	0	0	0	100	10	0	0
男	7	0	0	0	0	0	7	1	0	0
女	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

### 4 援助サービスの実施状況

日常生活支援	食事、入浴、洗濯、掃除等の身の回りの支援 自分でおこなえる事は行ってもらい足りない所を職員が支援している
体調管理	健康状態の把握。薬の管理。定期的な通院付き添い。突発の際の通院付き添い。
住環境整備	世話人による館内の共有部分の掃除、各居室の掃除
余暇時間の充実	休日に希望が上がれば職員と一緒に地域行事に参加 買い物支援もしている
関係機関との連絡調整	利用者からの相談 家族、相談員等との連絡調整支援

5 運営管理

5-1 職員状況

職名	2023. 4. 1 現員数	2023. 4. 1~2024. 3. 31				2024. 3. 31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総数	7(6)		1	1	1(1)	6(5)
管理者	1兼					1兼
サービス管理責任者	1兼					1兼
生活支援員	7兼		1	1		8兼
世話人	6(6)				1(1)	5(5)

☆数字は総数で表示し、うちパート職員の数は（ ）内に表示。

☆網掛けは、職員数にカウントしない。

☆生活支援員(宿直等)については、バックアップ施設(めいわ通所部)兼務

5-2 職員研修の状況

施設内					
月日	研修名	人数	月日	研修名	人数
9/13	人材育成トレーニング	1	2/29	労務管理研修	1
2/14	人材育成トレーニング	1			
施設外					
8/31	第1回世話人の集い(zoom)	1	2/23	グループホーム職員の基礎知識(zoom)	1
複数研修					
研修内容			月日		参加人数

5-3 行事実施状況 (2023. 4. 1~2024. 3. 31)

月	行事内容
6/19	避難訓練
9/19	避難訓練
12/25	クリスマス会
1/1	初詣
3/12	避難訓練(消防署立ち合い)



## IV. 佐倉圏域事業部



## 就労継続支援B型

## 佐倉市よもぎの園

## 概況

当年度のスローガンは「仲間の良いところを見つけ 褒め合い 高め合っていこう」であった。

中期経営計画

(1) 数値目標

- ・稼働目標：85% ⇒ 86.2%
- ・工賃目標：平均工賃月額「1万5千円以上2万円未満」の維持 ⇒ 17,775円

(2) 戦略目標

○佐倉圏域における拠点構想イメージの具現化促進  
令和6年1月よりよもぎの園館内2階にて相談支援事業所「かけはし」運営開始。佐倉圏域では初となる相談支援事業所の開所となり、基幹相談であるアシストと連携を図りながら佐倉圏域の相談支援の取り組みを開始した。

圏域でのグループホーム設置に向けてグループホームプロジェクトでの活動を実施し、土地探しから行った。

○稼働率85%を目指し、対象利用者層を広げる  
コロナの5類引き下げで利用控えの方も再登所されたため、稼働率も回復し目標値を達成することができた。まだ感染症の影響がゼロではなく影響を受けた面もあったが、感染症対策をしっかりとし講じることでよもぎの園内での感染発生を防ぐことができた。

当年度も盲学校卒業の新規利用者1名を迎え入れ、ここ数年は新卒者の受け入れ継続が安定して行えている。生活介護寄りの利用者対応や視覚障害者対応など現場職員が実習期間から将来を見据えて積極的に関わりを持ち、知識や技術の習得に努めていることが大きな要因であり、進路の選択肢としてよもぎの園を選んでいただくことに繋がっていると思われる。

○平均工賃月額「月1万5千円以上2万円未満」を維持  
当年度は稼働率も上がり月の支払い人数が増える形となったが、収入の更なる向上の結果、目標としていたランクを維持することができた。取引業者も多く(10社)仕事の種類も多岐に渡っている中で、納期の対応や仕事の振り分けなどを円滑におこなってくれた成果である。

○地区社協、町内会の方々と交流を続ける  
地区社協の福祉委員に加わり活動を継続した。「研修事業部」に所属し地区歓談会の運営に携わることで地域の皆様との交流の機会を設けた(3回)。あんしん内郷(防災について協議する会)の活動では広報誌を4回発行し、防災情報等の発信を行った。

○コロナ感染に対する不安の緩和、解消を図る  
マスク着用、手洗い、消毒の遂行を継続し、コロナワクチン接種6回目と7回目をよもぎの園で実施した。感染症の影響が未だある状況の中でも1日も閉所することなく開所できたことに家族からも感謝の言葉をいただいている。

○施設内環境の整備  
修繕箇所の予算化について佐倉市との協議を進めている。

○高齢事業所との連携  
高齢事業所へ介護サービス中心で利用移行した方は安定した利用継続が行えている。今後、他ケースが発生した際も円滑に動ける体制作り構築を意識して取り組みたい。

○災害時の事業継続  
事業継続計画書に基づく年2回の訓練を実施。

○第三者委員による懇談会 3月5日実施

(所長 戸室 輝大)

## 1 施設利用状況

### 1-1 利用状況

(2023. 4. 1～2024. 3. 31)

【定員 40 名】

	延べ年間通所利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	10680	10991	9210	34.5	86.2	1	1

### 1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	1		1					
退所者と退所事由	1			1				

### 1-3 出身地別利用状況

出身地	男	女	合計
佐倉市	25	15	40
印西市	1		1
八千代市		1	1

## 2 利用者の状況

### 2-1 年齢構成 (2023. 4. 1 現在)

	総数	18～	20～	30～	40～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	42	3	4	7	28	43.0	71	18
%	100	7.1	9.5	16.6	66.6			
男	26	2	3	5	16	41.7	65	19
女	16	1	1	2	12	45.1	71	18

### 2-2 療育手帳による障害程度

(2023. 4. 1 現在)

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	42	8	2	18	10	4
%	100	19.0	4.7	42.8	23.8	9.5
男	26	5	2	10	7	2
女	16	3	0	8	3	2

2-3 身体障害者手帳による障害程度

(2023. 4. 1 現在)

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	42	4	1	0	1	0	0	36
%	100	9.5	2.3	0	2.3	0	0	85.7
男	26	2	0	0	1	0	0	23
女	16	2	1	0	0	0	0	13

2-4 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

(2023. 4. 1 現在)

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	42	1	1	0	40
%	100	2.3	2.3	0	95.2
男	26	0	1	0	25
女	16	1	0	0	15

2-5 就学状況（最終学歴）

(2023. 4. 1 現在)

	総数	普通学 校義務	特別支 援義務	普通高 等学校	特別支援 高等部	千葉盲	その他	不就学
総数	42	5	1	5	26	3	2	0
%	100	11.9	2.3	11.9	61.9	7.1	4.7	0
男	26	2	1	3	18	2	0	0
女	16	3	0	2	8	1	2	0

2-6 就労経験

(2023. 4. 1 現在)

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	42	16	26
%	100	38.0	61.9
男	26	9	17
女	16	7	9

### 3 利用者の障害の状況

#### 3-1 視覚障害

(2023. 4. 1 現在)

	総数	盲	弱視	晴眼
総数	42	2	1	39
%	100	4.7	2.3	92.8
男	26	1	1	24
女	16	1	0	15

#### 3-2 障害の状況（総括）

(2023. 4. 1 現在)

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	42	3	3	0	0	0	39	5	0
%	100	7.1	7.1	0	0	0	92.8	11.9	0
男	26	2	1	0	0	0	24	2	0
女	16	1	2	0	0	0	15	3	0

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

#### 4 援助サービスの実施状況

<p>作 業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○タオル縫製 (汚れ拭き上げ用品) <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用済みのバスタオルを二枚の拭き上げ用タオルに作り替える作業</li> </ul> </li> <li>○ウエス作製 <ul style="list-style-type: none"> <li>・シーツを指定された大きさにカット、袋詰めする作業</li> </ul> </li> <li>○腰壁材梱包 (家の壁紙の分かれ目を隠すもの) <ul style="list-style-type: none"> <li>・木目調の部材を短冊段ボールで梱包し型番のシールを貼る作業</li> </ul> </li> <li>○枠のフィルム剥がし (CD、DVDラベルを印刷した原版) <ul style="list-style-type: none"> <li>・シルク印刷の原版清掃する作業</li> </ul> </li> <li>○足場インサート (建築物の基礎に埋め込む資材) <ul style="list-style-type: none"> <li>・金属ネジにプラスチックの素材を入れ込みナットを機械で締めこむ作業</li> </ul> </li> <li>○検査キット封入 (健康診断で使用する検尿容器) <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断で使用する尿器のシール貼り及び封入する作業</li> </ul> </li> <li>○商品作成、封入、梱包、出荷作業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品の組立て等、商品・用紙の封入、梱包、出荷 (バーコード貼付)</li> </ul> </li> <li>○自主生産活動 (ミシン作業) <ul style="list-style-type: none"> <li>・布マスク作成、玄米カイロ作成</li> </ul> </li> <li>○ヘッドホン結束 (ヘッドホンリサイクル) <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際線航空機のヘッドホン清掃、結束する作業</li> </ul> </li> <li>○枕封入 <ul style="list-style-type: none"> <li>・枕カバーに枕を封入、セット作業</li> </ul> </li> </ul>
<p>自治会 活動</p>	<p>「利用者による利用者のための自治会」をキャッチフレーズに発足  会長…1名 副会長…1名 書記…1名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○給与規定について <ul style="list-style-type: none"> <li>・給与規定の内容確認および承認</li> </ul> </li> <li>○期末ボーナスについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボーナスの支給方法および承認</li> </ul> </li> <li>○環境整備について <ul style="list-style-type: none"> <li>・掃除分担の作成</li> </ul> </li> <li>○行事計画について <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事計画の内容確認および承認</li> </ul> </li> <li>○その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者間の決まり事の確認および周知の場</li> </ul> </li> </ul>

送 迎	○4 経路運行 ①よもぎの園～ユーカリが丘～染井野方面～よもぎの園 ②よもぎの園～法人本部～よもぎの園 ③よもぎの園～大蛇方面～よもぎの園 ④よもぎの園～京成佐倉～よもぎの園
宅配弁当 の 仲介	○昼食サービスの要望を受け、宅配弁当の仲介を実施（希望者のみ） ・出勤時に現金を徴収して、職員が宅配弁当業者に注文

## 5 運営管理

### 5-1 職員状況

職 名	2023. 4. 1 現員数	2023. 4. 1～2024. 3. 31				2024. 3. 31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総 数	14 (8)					14 (8)
管理者	1					1
主任 (サービス管理責任者)	1					1
生活支援員	6 (6)					6 (6)
作業指導員	3	1				3
目標達成指導員	1					1
運転手	2 (2)					2 (2)

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示。

### 5-2 職員研修の状況

施設内					
月 日	研修名	人数	月 日	研修名	人数
5/23	愛光実践発表会	1	11/15	リスクマネジメント研修	1
8/2	面談研修	1	1/10	感染症対策研修	1
9/13・2/14	人財育成トレーニング	2	2/29	労務管理研修	2
施設外					
1/15	第51回千葉県障害者グループホーム講座	2			
2/22	第15回千葉県障害者グループホーム大会	2			
※職員会議を利用し、サポーターズカレッジの動画研修を定期的実施した。					

5-3 行事实施状況

月 日	行 事 内 容
4/20	春陽会
6/30	暑気払い
10/13	秋楽会
11/27	おやつ会
12/28	忘年会
1/23	新年会
2/14	ボーリング大会（ライオンズクラブ主催）
3/21	会食会
備 考	*5月より個別外出を企画し各利用者概ね2回ずつ参加。

## 概況

当年度のスローガンは、「地域に根付く～始まり・種まき～」であった。

## 中期経営計画

## (1) 数値目標

相談支援事業（目標値 → 実績）

計画相談（児・者）・・・・・・・・・・18件 → 18件

モニタリング件数・・・・・・・・・・27件 → 39件

実施加算の給付件数・・・・・・・・・・9件 → 10件

集中支援加算の給付件数・・・・・・・・2件 → 1件

## (2) 戦略目標

## ○連携体制づくり

毎月よもぎの園職員会議、アシスト会議に参加し情報共有を実施し、個別ケースを通して常日頃より事業所連携を意識した対応を行った。相談支援連絡会や精神事例検討会、アシスト主催の合同事例検討会にも積極的に参加し、外部との連携についても意識した。

毎朝ZOOMを活用してアシストの申し送りに参加し、ケースの共有、把握を実施した。

## ○職員の精神的負担の軽減

相談支援専門員1名配置のため、孤立せず業務遂行が行える環境を整え、協力体制をとった。

スーパーバイザーを招いての合同事例検討会開催を検討していたが、スーパーバイザーとの調整がつかず未実施となった。

## ○計画的な引継ぎ及び業務分担

アシスト→かけはしへの移行リストを作成し、移行に必要な事項への対応漏れが発生しないよう職員間で情報共有を行った。

単に圏域だけでケースを分配せず、相談内容や家庭環境等にも配慮してアシストと連携しケース分配を行った。

## ○災害時の事業継続

建物のあるよもぎの園の訓練に参加した。

（管理者 戸室輝大）

## 1-1 業務内容

- 日常生活全般に関する相談
- サービス利用に関する情報提供等の福祉サービスの利用援助
- 情報提供、相談、アセスメント、サービス等利用計画の作成、サービス調整、モニタリング、個別ケース会議 等
- サービス事業者との連携調整、担当者会議の開催
- 社会資源を活用するための支援や各種支援施策に関する助言・指導等
- 社会生活力を高めるための支援や権利の擁護のために必要な援助
- 専門機関の紹介
- 佐倉市障害者総合支援協議会等への参加
- 他機関の相談員との連携に関すること

## 1-2 障害者相談支援事業（計画相談は含まない）

### (1) 相談者実人数

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
4月	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	11	0	0	1	2	1	0	7
2月	14	0	0	3	5	2	0	4
3月	12	0	0	1	7	0	0	4
計	37	0	0	5	14	3	0	15

### (2) 支援方法件数

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他
4月	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	4	4	1	13	0	0	4	0
2月	3	1	2	15	1	0	10	0
3月	4	1	0	9	0	0	10	0
計	11	6	3	37	1	0	24	0

(3) 支援内容数 (重複あり)

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や症状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	日程調整等軽易な相談	計
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	13	4	2	2	1	2	2	0	6	0	0	8	5	45
2月	24	0	1	1	0	0	0	0	3	0	0	9	8	46
3月	20	0	2	3	0	4	0	0	0	0	0	1	3	33
計	57	4	5	6	1	6	2	0	9	0	0	18	16	124

1-3 障害支援区分認定調査 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
認定調査										1	1	6	8

1-4 計画相談 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	合計
計画(者)										3	5	3	11	18
計画(児)										2	3	2	7	
モニタリング(者)										8	8	11	27	39
モニタリング(児)										3	5	4	12	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	21	20	57	57

## 2 運営管理

### 2-1 職員状況

	2024. 1. 1 現員数	2024. 1. 1~2024. 3. 31				2024. 3. 31 現員数
		退職	異動 出	異動 入	採用	
総 数	2			2		2
管理者（兼務）	1			1		1
相談支援専門員	1			1		1

※数字は総数で表示し、うちパート職員の数は（ ）内に表示。

### 2-2 職員研修の状況

施設内					
月 日	研修名	人数	月 日	研修名	人数
施設外					
2/6.7	令和5年度千葉県相談支援者 従事者現任研修	1	3/4	令和5年度千葉県相談支 援従事者専門コース別研 修(発達障害者支援)	1
3/1	令和5年度千葉県相談支援従 事者専門コース別研修 (精神障害者支援の障害特性 と支援技法を学ぶ研修)	1			

### 2-3 会議等（定例会議）

施設内		施設外	
会 議 名	開 催 数	会 議 名	開 催 数
アシスト会議	月 2 回	佐倉市委託相談支援事業所連絡会	月 1 回
アシスト内事例検討会	月 1 回	佐倉市相談支援事業所間事例検討会	月 1 回
アシスト主催合同事例検討会	隔 月		
よもぎの園会議	月 1 回		

### 2-4 実習生受け入れ状況

期 間	養 成 機 関 名	実 習 対 象 資 格 等	人 数

## ワークショップかぶらぎ

## フレックスワークコース／ライフステップコース

（就労継続支援B型）

（自立訓練（生活訓練））

## 概況

当年度のスローガンは「こうなりたい生活を、カタチにしよう」であった。

## 中期経営計画

## (1) 数値目標【稼働率】

フレックスワークコース（就労継続支援B型） 目標稼働率 平均稼働 101.9%⇒実績 90.5%  
平均工賃 月額 14,000円⇒21,553円

ライフステップコース（自立訓練（生活訓練）） 目標稼働率 平均稼働 104.1%⇒実績 110.6%

## (2) 戦略目標

## ○収益の増加

次年度の定員増に向け稼働の安定に取り組んだ。生活訓練の新規利用希望について、定期的問い合わせや見学・体験があり、生活訓練を終えて一定数の利用者はB型の利用へ繋がる形が作られた。目標数値について、B型は達成できなかったが、生活訓練は達成できた。

## ○職員配置の適正化

法人の定めた人員配置にて運営したが、年度途中で異動した職員がおり、年度末にパート職員を確保した。

## ○職員の対応力向上

高次脳機能障害や就労、報酬改定についての研修等に参加した。前年に引き続き、職員会議にて動画を活用した短時間の研修も実施した。高次脳機能障害についての研修をしてきたが、対象の利用者が減ったこと、代わりに軽度知的障害がある利用者が増えてきたため、次年度の取り組むテーマについては変更する予定である。総合相談センターとの合同事例検討会については、スーパーバイザーの都合で回数は予定より少なかったが、実施することができた。

## ○社会との繋がり

はちす苑内の清掃を継続し、今年度は週2回実施している。年度末に時間数増の依頼があり、受託する方向で調整している。これも利用者・職員の積み重ねた実績によるものであり、利用者・職員にミーティングを通して伝えた。また新規事業者と施設外就労の調整を図っており、双方で折り合いがつけば受託する予定である。

「あったかパントリー」については、利用者・家族の感触が良好である。佐倉市あったか食堂ネットワーク定例会へ利用者が参加し、取り組んだ感想を伝えた。次年度以降も定例会が事業所近くの佐倉中央公民館で開催する際は、是非参加してほしいと打診があった。緊張の中、メモにまとめたことを伝える利用者の姿は、ハラハラする部分と終えた後のすがすがしい表情は自信に満ちており、社会に貢献できることが与える影響の大きさを実感した。

## ○新規利用者確保、利用者満足度向上

昨年度試行で実施した健康プログラムは「ヘルスケア」という名前で継続することになった。当初近距離への歩行も精一杯だった利用者が、次第に姿勢も良くなり意識が変化する姿は、小さな積み重ねでも変化をもたらすことができると職員も驚いた。従来のプログラムを続けるのではなく、振り返り必要に応じて変化させることを意識して取り組んだ。

## ○地域とのつながり作り

城の辺地区社会福祉協議会の買い物支援からの依頼で、年度末に交流会の会場としてカフェスペースの貸し出しを行った。初めての「お客様」に利用者・職員共に戸惑いがありつつも、次につながる経験を積むことができた。

## ○災害時の事業継続

消防の立ち合いの下、避難訓練を実施。

## 【その他】

○第三者委員による懇談会 2月2日実施

（所長 近藤 美貴）

1 施設利用状況（2023. 4. 1～2024. 3. 31）

1-1 利用状況

① 就労継続支援B型

【定員18名】

	延べ年間通所（訪問）利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	4878	8212	4400	16.2	90.2%	7	6

② 自立訓練（生活訓練）

【定員6名】

	延べ年間通所（訪問）利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	1626	4522	1780	6.6	109.5%	18	12

1-2 入・退所状況

① 就労継続支援B型

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	5	0	0	1	4	0	0	0
退所者と退所事由	2	0	0	0	2	0	0	0

② 自立訓練（生活訓練）

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	11	4	1	2	4	0	0	0
退所者と退所事由	11	0	0	3	8	0	0	0

1-3 出身地別利用状況

① 就労継続支援B型

	佐倉市	四街道市	富里市	酒々井町	成田市	八街市	合計
男	10	0	0	2	0	0	12
女	14	0	0	1	2	0	17
計	24	0	0	3	2	0	29

② 自立訓練（生活訓練）

	佐倉市	四街道市	富里市	酒々井町	成田市	八街市	合計
男	7	0	0	0	0	0	7
女	11	1	0	0	0	0	12
計	18	1	0	0	0	0	19

## 2 利用者の状況

### 2-1 年齢構成 (2023. 4. 1 現在)

#### ①就労継続支援B型

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	60～	平均年齢	最高齢	最年少
総数		0	1	8	7	9	4	47.5	72	29
%	100	0	3.4	27.5	24.1	31.0	13.7			
男	13	0	1	2	4	3	3	49.6	72	29
女	16	0	0	6	3	6	1	45.4	63	30

#### ②自立訓練(生活訓練)

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	60～	平均年齢	最高齢	最年少
総数		1	2	6	8	1	1	39.8	62	18
%	100	5.2	10.5	31.5	42.1	5.2	5.2			
男	7	0	2	1	3	0	1	40.4	62	25
女	12	1	0	5	5	1	0	39.2	51	18

### 2-2 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

#### ①就労継続支援B型

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数		3	14	1	12
%	100	10.3	48.2	3.4	41.3
男	13	1	8	0	5
女	16	2	6	1	7

#### ②自立訓練(生活訓練)

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数		4	6	5	4
%	100	21.0	31.5	26.3	21.0
男	7	2	1	2	2
女	12	2	5	3	2

### 2-3 就労経験

#### ①就労継続支援B型

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数		25	4
%	100	86.2	13.7
男	13	10	3
女	16	15	1

②自立訓練(生活訓練)

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数		15	4
%	100	78.9	21.0
男	7	4	3
女	12	11	1

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

①就労継続支援B型

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数		0	0	0	29
%	100	0	0	0	100
男	13	0	0	0	13
女	16	0	0	0	16

②自立訓練(生活訓練)

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数		0	0	0	19
%	100	0	0	0	100
男	7	0	0	0	7
女	12	0	0	0	12

3-2 知的障害

①就労継続支援B型

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数		0	0	0	6	6	23
%	100	0	0	0	20.6	20.6	79.3
男	13	0	0	0	1	1	12
女	16	0	0	0	5	5	11

②自立訓練(生活訓練)

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数		0	0	0	4	4	15
%	100	0	0	0	21.0	21.0	78.9
男	7	0	0	0	2	2	5
女	12	0	0	0	2	2	10

#### 4 援助サービスの実施状況

<p><b>作業</b></p>	<p>○ミーティング（全体ミーティング月2回、部門ミーティング月1回）</p> <p>○セットアップ部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビニールシート折り</li> <li>・印刷物の丁合、封入</li> <li>・切手計数、貼付け</li> <li>・中古本の検品</li> </ul> <p>○クリーン&amp;メンテナンス部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・館内清掃</li> <li>・施設外就労</li> <li>・スタートクリーン</li> </ul> <p>○総務部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・納品請求書の発行</li> <li>・フェイスブック管理</li> </ul> <p>○プリント部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名刺作成</li> <li>・封筒作成</li> <li>・各種シール作成</li> <li>・各種チケット作成</li> <li>・イベントのぼり作成</li> </ul> <p>○カフェ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パントリー業務</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネジボルトの組み立て、計数</li> <li>・紙製箱等の検品、組み入れ</li> <li>・枕カバー検品、セット</li> <li>・値札剥がし、書き込み確認</li> <li>・館内環境の美化、整備</li> <li>・高齢者施設の清掃</li> <li>・清掃業務の入門</li> <li>・時給換算表の入力</li> <li>・共同受注サイトチェック</li> <li>・ポスターチラシ作成</li> <li>・イベントプログラム作成</li> <li>・冊子、報告書、議案書の作成</li> <li>・イベント横断幕作成</li> <li>・食材管理、受け渡し</li> </ul>
<p><b>プログラム</b></p>	<p>○疾病管理とりかばりー【IMR】（月2回）</p> <p>○ライフステップミーティング（月1回）</p> <p>○茶話会（月2回）</p> <p>○ピアネットワークプログラム【PNP】（随時開催）</p> <p>○調理会（月1回）</p> <p>○ヘルスケア（月2回）</p> <p>○パソコン</p> <p>○ビジネスマナー</p>
<p><b>カフェ活動</b></p>	<p>○ミーティング（月2回）</p> <p>○飲食メニューの提供、考案</p> <p>○カフェ環境整備、月末事務</p>
<p><b>送迎</b></p>	<p>○「JR佐倉駅、京成佐倉駅、京成酒々井駅、和田方面」、「京成志津駅、京成臼井駅」の2路線で送迎。</p> <p>○時間帯は朝と夕方のほか昼の時間帯に要望があった時に運行する「デマンド便」を実施。</p>

5 運営管理

5-1 職員状況

職名	2023. 4. 1			2023. 4. 2~2024. 3. 30				2024. 3. 31		
	継続	異動入	採用	退職	異動出	異動入	採用	退職	異動出	継続
総数	11 (5)									11 (6)
管理者	1 兼									1 兼
主任	1									1
生活支援員	3	1							1	2
職業指導員	5 (5)						1 (1)		2 (2)	6 (6)
目標工賃達成指導員	1									1

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数は（ ）内に表示。

5-2 職員研修の状況

施設内					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
5/23	愛光実践発表会（発表）	2	/		
施設外					
6/3、10	介護福祉士実習指導者養成研修	1	6/9	千葉県就労事業振興センター講演会	1
7/11	精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業研修会	1	7/5	精神障害者地域活動支援事業所等研修会	1
8/30	佐倉市内学習支援活動団体懇談会	1	10/13	高次脳機能障害の精神症状・行動障害への対応	1
11/8	千葉県子ども食堂ネットワーク会議	1	11/10	サービス管理責任者更新研修	1
11/29	オープンダイアログの可能性	1	11/27	福祉サービス苦情解決研修会応用編	1
1/17	A型・B型職員の基礎知識	1	11/7~2/26	千葉県相談支援従事者現任研修	1
1/28	退院促進セミナー	1			

5-3 実習受け入れ状況

期 間	養成機関名	実習対象資格等	人数
6/26~7/5	和洋女子大学	社会福祉士	1
7/6~18	〃	〃	1
8/16~9/20	おおたかの森専門学校	〃	1
9/19~10/9	十文字学園女子大学	〃	1
10/16~25	成田国際福祉専門学校	介護福祉士	2
10/31~11/2	二葉看護学院	看護師	1
1/15~2/21	順天堂大学	精神保健福祉士	1
2/1~21	おおたかの森専門学校	社会福祉士	1

5-4 行事実施状況 (2023. 4. 1~2024. 3. 31)

月 日	行 事 内 容
5月8日	皐月会
8月15日	納涼会
10月13日	避難訓練
12月28日	納会
2月2日	第三者委員相談会
3月25日	避難訓練
29日	慰労会

## 概況

当年度のスローガンは「地域に生きる、地域に暮らす」であった。

## 中期経営計画

## (1) 数値目標

稼働率 目標 99.5%⇒実績 98.3%

## (2) 戦略目標

## ○事業の展開

ワークショップかぶらぎの職員が支援に入る体制を継続し、生活面での気づきを世話人に伝え支援を検討することができた。障害特性について学ぶ機会を継続し、世話人の中で苦手としていた利用者への対応について、世話人が前向きにとらえることが出来るようになってきた。

「事業展開に向けた計画策定検討会」については、佐倉圏域で整備予定であるグループホームの入居希望者リストを作成した。また人数規模等を検討し、方向性を法人へ報告した。ジョーの家から移行を想定している方について、家賃等の目途が付き次第本人や家族に話をしていく予定である。

「地域の社会資源としての202号室の活用」については当年度の利用は無かった。

## ○高齢化に対応できる職員育成

「教育体制の確立 正職員の世話人会議への参加」については、ワークショップかぶらぎの職員が1名交代で参加した。今までは、世話人とかぶらぎ職員が合う機会が無く、連絡ノートでのやり取りのみであった。共にチームで支援するには、顔が見える関係になったことはプラスに働くと感じている。

「学習機会の創出 研修参加、勉強会」については、回数は少ないが実施できた。動画を活用し、自閉症について等の研修を実施した。実際の利用者の行動に当てはめ説明をすることで、わかりやすく伝わったように感じる。外部研修については、ZOOMではあったが世話人のつどいに参加することができた。

## ○つなぎ先の確保

「情報交換体制の確立」については、共生型連携委員会に参加し情報共有を行った。現在の入居者では、共生型の利用を予定している方は居ないが、年齢的には70歳近くになっている方も居るため、情報交換を継続していきたい。

「日中活動の場との連携」については、昨年から引き続き通所先であるよもぎの園、あらた佐倉（就労継続支援A型事業所）と情報交換を行った。

## ○災害時の事業継続

避難訓練について、定例の広域避難所までの訓練と、新たな取組として「通所途中（通勤途中）での発災時の対応」を実施した。電話でサービス管理責任者へ連絡し、帰宅困難者等一次滞在施設を伝えるという電話をメインとした訓練であった。入居者は電話連絡が苦手であることから実施した。

## 【その他】

○第三者委員による懇談会 2月2日実施

（所長 近藤 美貴）

1 利用状況（2023. 4. 1～2024. 3. 31）

1-1 利用状況

【定員4名】

	延べ年間利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	1464	1464	1439	3.93	98.0	0	0

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	0	0	0	0	0	0	0	0
退所者と退所事由	0	0	0	0	0	0	0	0

1-3 出身地別利用状況

出身地	男	女	合計
佐倉市	2	2	4

2 利用者の状況

2-1 年齢構成（2023. 4. 1現在）

	総数	30～	40～	50～	60～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	4	0	1	2	1	54.5	66	44
%	100	0	25.0	50.0	25.0			
男	2	0	0	1	1	60.0	66	54
女	2	0	1	1	0	48.5	53	44

2-2 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	4	0	1	0	3
%	100	0	25.0	0	75.0
男	2	0	0	0	2
女	2	0	1	0	1

2-3 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	4	0	0	1	1	2
%	100	0	0	25.0	25.0	50.0
男	2	0	0	0	1	1
女	2	0	0	1	0	1

2-4 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	4	0	0	0	0	0	0	4
%	100	0	0	0	0	0	0	100
男	2	0	0	0	0	0	0	2
女	2	0	0	0	0	0	0	2

2-5 就学状況（最終学歴）

	総数	普通学校 義務	特別支援 義務	普通高等 学校	特別支援 高等部	千葉盲 (再掲)	その他	不就学
総数	4	1	0	2	0	0	1	0
%	100	25.0	0	50.0	0	0	25.0	0
男	2	0	0	2	0	0	0	0
女	2	1	0	0	0	0	1	0

2-6 就労経験

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	4	3	1
%	100	75.0	25.0
男	2	2	0
女	2	1	1

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	4	0	0	0	4
%	100	0	0	0	100.0
男	2	0	0	0	2
女	2	0	0	0	2

### 3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	4	0	0	1	1	2	2
%	100	0	0	25.0	25.0	50.0	50.0
男	2	0	0	0	1	0	1
女	2	0	0	1	0	1	1

### 3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複	その他
総数	4	0	0	0	0	0	2	2	0	0
%	100	0	0	0	0	0	50.0	50.0	0	0
男	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0
女	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

## 4 援助サービスの実施状況

<b>食事提供</b>	朝・夕の食事を提供。業務用献立配達システムにより、栄養管理された献立に基づいて世話人が調理し食事を提供。 誕生日などはその利用者の希望するメニューに変更し提供。
<b>体調管理</b>	健康状態の把握、緊急時の通院、不調時の静養や通院の促しを行う。

## 5 運営管理

### 5-1 職員状況

職名	2023.4.1 現員数			2023.4.2~2024.3.30				2024.3.31 現員数		
	継続	異動入	採用	退職	異動入	異動出	採用	退職	異動出	継続
総数	4(2)	1(1)					1(1)		1(1)	5(3)
管理者	1兼									1兼
サービス管理 責任者	1兼									1兼
世話人	2(2)	1(1)					1(1)		1(1)	3(3)

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示。

5-2 職員研修の状況

施設内					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
5/18	自閉症の支援について	5	6/15	非常事態発生時の初期行動マニュアルについて	5
1/18	衛生管理について	5	2/22	虐待発見チェックリスト	5
施設外					
4/20	障害者グループホーム等従事職員研修	1	6/1	印旛圏域障害者グループホーム等連絡協議会設置者会	1
8/31	世話人の集い	3	11/22	印旛圏域グループホーム連絡会サービス管理責任者研修	1

5-3 行事实施状況（2023. 4. 1～2024. 3. 31）

月	行事内容
5月20日	調理会
7月8日	調理会
8月12日	調理会
10月13日	自衛消防訓練
12月24日	クリスマス会
2月2日	第三者委員懇談会
3月10日	調理会
25日	自衛消防訓練
誕生祝	入居者誕生月毎に実施（食事会）



## V. 高齡者福祉事業部



2023 (令和5) 年度 事業報告書  
 高齢者福祉事業部  
 はちす苑

## 概況

当年度は「人員不足」に悩まされた年となった。特に、特養・ショートにおける退職者数が、常勤職員5名、パート職員4名となり、近年においてここまでの人数の退職はなかった。個人的事情による退職はあったが、職員が減った後にすぐに充足できなかつたことによる労働環境の悪化は否めない。次年度は職員の充足とともに、仕事に対するモチベーションアップが必須となる。

しかし、新型コロナウイルスのクラスターが1回、疥癬のクラスターが年2回あったにもかかわらず、全体の総収入が4億8千万以上となり、施設設立以来最高の収入を得ることができた。各部署の職員が、サービスの質を保ちながら、収支に対して意識して取り組んだ結果である。

【数値目標】 参考 当年度の介護保険（障害含）収入 482,492,047円（昨年度 466,378,750円）

	目 標 値		実 績 値	
特養 ショートステイ	稼働率 98%	} 合算 97%	100.2%	} 合算 96.9%
	95%		88.3%	
	月平均 収入	2,700万円以上		2,809万円
配食サービス	月平均収入	23万円	28万円	
	食数換算	233食	270食	
デイサービス	稼働率	79.0%	82.8%	
	1日平均利用者数	28.0人	29.0人	
	月平均 収入	680万以上	787万円	
ホームヘルプ	月平均契約者数	60件	46.6件	
	月平均 収入	160万円	127万円	
ケアプラン	月平均実績件数 (予防プラン含む)	180件	174.5件	
	月平均 収入	250万円以上	268万円	

●特別養護老ホーム 短期入所生活介護（介護予防） 共生型短期入所

○安定した経営基盤の構築

平均介護度は4.2となっており重度化しているが、入院日数が260日となっており、前年度よりかなり減少している。丁寧なケアの実践はもちろんのこと、誤嚥性肺炎・尿路感染症の入院が少なかったことが大きい。

新型コロナウイルスや疥癬のクラスターでショートステイの稼働は目標を達成できなかったが、特養の稼働率が良かったため、合算稼働率は目標値に近い96.9%となっている。

○労働時間の改善

残業については、月の目標時間100時間以下と設定した。クラスターが発生した以外の月は、ほぼ達成できているが、職員の急な欠勤が続いた時は、目標を上回ることもあった。夜勤者の休憩時間確保の残業については、各街で工夫することで予定している残業時間を下回っていた。街によっては、残業の振替を行うことができており、人員不足であったにもかかわらず、残業は目標通りの数値となった。

○計画的な人材育成

当年度は、嚙下コンサルタントナースによる嚙下研修を受講した。対象となる高齢者の選定など苦労したこともあったが、どのようにしたら本人が最後まで（楽しんで）口から食べることができるのか、担当した職員による発表で「好きなお菓子を食べた時の笑顔が忘れられない」という言葉がすべてを物語っている。どうしても医療面が前面に出てしまうテーマであるが、「生活の質」にこだわった食事サービスを提供する、ということにおいては、意義のある研修であった。

数字力・マネジメント力強化に関しては、機能別採算制度導入により、経費への意識はさらに強化されている。当年度もコンチネンス（排泄）委員のおむつ形態の見直しなどの努力があり、値上げがあったにもかかわらず、介護用品費の総額が当初予算より20万円以上安く済んでいる。

## ○サービスの質の向上 理念の継承

はちす苑8つの誓い・基本ケアルールブックの実行と浸透については、人員が不足の関係で取り組むことができなかった。そのような中でも「にやりほっと」の取り組みは継続しており、「クスっと」笑えるようなエピソード、さりげない一言を集めることは、入居者へのかかわり方、入居者に対する心情面においても大きな意味を持つ。

入居者・利用者に対しての余暇・レクリエーションなどについては、オンライン音楽療法、手作りのおやつや軽食作り、出前注文、納涼祭・入居者忘年会などのイベントも業務省力の工夫をして行った。

面会については、予約制・面会時間30分程度・平日のみ（看取りの方の面会については制限なし）という条件付きであったが、クラスターなど特別な状況でなければ、可能な限り実施した。また、外泊や一時帰宅についても、希望があれば対応した。

当年度の看取りケアは、7名実施した。クラスター発生時に、約18年間利用されたご利用者が看取り対応となった時は、「どのような対応をすれば良いか」と職員は複雑な心境であったが、クラスター終息後に老衰でお亡くなりになられ、いつもの形でお別れ会を行うことができた。

## ●通所介護・通所介護相当サービス・共生型生活介護

### ○安定した経営基盤の構築

継続して「送迎の範囲内であれば断らない」ことを徹底し、対応が難しい方の受入れ、休まれた方の振替利用などを積極的に行い、目標稼働率を大幅に超え、収入も9,300万円以上となっている。

### ○人材育成 営業力強化

業務改善は、勤務表や役割分担表を精査し適正に業務分担をすることと、日々の工夫で、時間外労働はほぼ発生していない。広報誌も定期的に発行している。

職員の収支や数字への意識は、機能別採算制度を活用することでさらに強くなっており、特に経費だけでなく時間外への意識も強くなっている。

### ○高齢者・共生型サービスの共存と展開、サービスの質の向上

アンケート調査を行い、希望の多かったクラブ活動を発足しサービスに組み込んだ。発足当初は、業務の流れなどで職員からいろいろ意見が出ていたようであるが、業務改善や工夫することで、活動が継続できるようにしており、各クラブとも活気が出てきている。

○総合事業（通所型B 住民参加型デイサービス）への積極的なかかわりも継続しており、通っている人が新しい方を紹介してくれる、流れができつつある。

## ●訪問介護・訪問介護相当サービス

研修については、新型コロナウイルス感染症の関係で、オンライン中心であったが計画に基づき実施した。ヘルパーの高齢化に伴い、業務時間数は減少している。

## ●居宅介護支援事業所

5名体制となり（主任介護支援専門員2名）、ケアプランの件数も予定数持てるようになった。規模としても中核的な事業所となっており、当年度の収入が3200万円以上と大幅に目標を達成した。次年度から主任介護支援専門員が3名体制となる関係で、地域での優位性はさらに増す形となる。

### ○人材育成

地域関連事業が徐々に復活しており、感染状況に合わせて「介護者のつどい」「通所型B事業」「勉強会の開催 事例検討会への参加」などを行った。担当件数・実績・残業など、数値に対する意識は高くなっている。

### ○障害（共生型）サービスへの体協強化、障害関係の知識強化

引き続き障害関係の知識強化は継続しながら、多様な社会問題にも対応できるよう、個々のキャリアアップ・能力向上は継続して行う。

当年度、ケアプラン連携システムに申し込みはしたが、実際に利用している事業所が少なく、FAXでのやりとりは続いている。

## ●配食サービス（佐倉市委託事業）

7月から配達地域が変更になり（遠方の江原台を他法人が担当）、一時利用者数が減ったが、秋に入ると利用者が徐々に増えた。

救急要請した案件はなかったが、訪問時に転倒や怪我をしているケースは見られた。

食材費、燃料価格の高騰の関係で、調理の工夫や在庫の食材を使い切ることで、材料費が上がりすぎないための努力を重ねた。市には、材料費の価格高騰やガソリン価格の値上げの現状を伝え続け、次年度の単価は少し上がった。

夕ご飯のお弁当を届けるサービスであるが、顔見知りの職員がお弁当を持って来て何気ない会話をするのが生活のリズムになっている。誰かが訪問してくれる楽しみと住み慣れた街で暮らせる安心感をこれからも継続していきたい。  
(苑長 麻生 知明)

1 事業の実績(2023.4.1～2024.3.31)

1-1 特別養護老人ホームはちす苑(介護老人福祉施設)

【定員 54 名】

	延べ年間施設利用者			1 日平均		延べ年間空所				入 退 所	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
(当年)	19,764	19,764	19,818	54.1	100.2%		23	260	4	15	15
(前年)	19,710	19,710	19,213	52.9	96.4%	504		703		15	13

※ 定員とは入所定員に各月暦日数をかけたもの。

※ 入院日と退院日は含めていない。

1-2 ショートステイはちす苑(短期入所生活介護事業)

【定員 20 名】

	延べ年間施設利用者		1 日平均	
	定員	利用総数	利用数	稼働率
(当年)	7,320	6,467	17.6	88.3%
(前年)	7,300	6,758	18.5	92.5%

1-2-1 特養 ショートステイ合算

	延べ年間施設利用者		1 日平均	
	定員	利用総数	利用数	稼働率
(当年)	27,084	26,285	71.8	97.0%
(前年)	27,010	25,971	71.1	96.1%

1-3 デイサービスはちす苑(通所介護事業 基準該当生活介護事業)

【定員 35 名】

	延べ年間通所利用者			1 日平均		利 用 登 録 者 (共生含)	共 生 型 生 活 介 護
	営業日	定 員	総 数	利用数	稼働率		延べ利用人数 964
(当年)	309	10,815	8,965	29.0	82.8	1,078	
(前年)	292	10,220	8,158	27.9	79.8		

1-4 ホームヘルプサービスはちす苑（訪問介護事業）

	延べ年間 利用総件数	身体介護		生活援助		独自・緩和		自由		利用 契約者	合計援助 時間数
		延べ件数	延べ時間数	延べ件数	延べ時間数	延べ件数	延べ時間数	延べ件数	延べ時間数		
(当年)	4,248	1,367	913.5	1,175	947.5	(独自) 1,407	(独自) 1,407.5			610	3,587
(前年)	5,854	2,330	1,505.5	1,677	1,336	(緩和) 319	(緩和) 319			715	4,548
						(独自) 1,462	(独自) 1,459				
						(緩和) 369	(緩和) 369				

1-5 ケアプランはちす苑（居宅介護支援事業）

月	月末契約数	実績	
		要支援	要介護
4月	170	30	140
5月	165	28	137
6月	165	28	137
7月	162	30	132
8月	165	27	138
9月	167	28	139
10月	170	28	142
11月	180	30	150
12月	175	31	144
1月	180	33	147
2月	184	33	151
3月	184	37	147

2 入居者・利用者の状況（2023年度全契約者）

2-1 利用者総数

	全利用者			特養ホーム入居者			居宅サービス利用者※		
	人数	男	女	人数	男	女	人数	男	女
人数	426	151	275	69	20	49	357	131	226
%	100%	35.4%	64.6%	16.2%	4.7%	11.5%	83.8%	30.7%	53.1%

※ はちす苑が提供する居宅サービス[ケアプラン（居宅介護支援）・ショートステイ（短期入所）  
・デイサービス（通所介護）・ホームヘルプ（訪問介護）]を指す。

## 2-2 年齢構成

(年齢は2023.4.1現在)

		総数	65未満	65~69	70~79	80~89	90以上	最高齢
全利用者	総数	426	22	10	110	181	103	
	%	100%	5.1%	2.5%	25.9%	42.4%	24.1%	
	男女	151 275	9 13	4 6	55 55	57 124	26 77	98 104
特養ホーム 入居者	人数	69	1		15	25	28	
	%	16.2%	0.2%		3.6%	5.8%	6.6%	
	男女	20 49	1		8 7	6 19	5 23	94 104
居宅 サービス 利用者	人数	357	21	10	95	156	75	
	%	83.8%	4.9%	2.4%	22.3%	36.6%	17.6%	
	男女	131 226	8 13	4 6	47 48	51 105	21 54	98 102

## 2-3 居住地域

		総数	佐倉市	四街道市	成田市	富里市	その他
全利用者	総数	426	319	90	1		16
	%	100%	74.9%	21.1%	0.2%		3.8%
	男女	151 275	107 212	37 53		1	7 9
特養ホーム 入居者	人数	69	54	6	1		8
	%	16.2%	12.6%	1.4%	0.2%		2%
	男女	20 49	14 40	1 5		1	5 3
居宅 サービス 利用者	人数	357	265	84			8
	%	83.8%	62.2%	19.6%			2%
	男女	131 226	93 172	36 48			2 6

## 2-4 要介護認定の状況

		総数	自立	要支援	I	II	III	IV	V	障害
全利用者	総数	426		65	85	74	59	81	47	15
	%	100%		15.2%	20.1%	17.3%	13.8%	19.0%	11.1%	3.5%
	男女	151 275		20 45	29 56	27 47	22 37	29 52	21 26	3 12
特養ホーム 入居者	人数	69			1		12	35	21	
	%	16.2%			0.2%		2.8%	8.3%	4.9%	
	男女	20 49			1		4 8	9 26	6 15	
居宅 サービス 利用者	人数	357		65	84	74	47	46	26	15
	%	83.8%		15.2	19.8	17.4	11.0	10.8	6.1	3.5
	男女	131 226		20 45	28 56	27 47	18 29	20 26	15 11	3 12

2-5 面会・外泊状況（特養入居者）

面会回数 (年)	回数	50回以上	49~40回	39~30回	29~20回	19~10回	9~1回	なし
	人数						12	38
%						17.4%	55.1%	27.5%
男女						4	13	11
						8	25	8

  

外泊日数 (年)	回数	20日以上	19~15日	14~10日	9~5日	4~1日	なし
	人数					1	
%					1.4%		98.6%
男女							20
					1		48

2-6 特養新規入居者（2023年度中）

	総数	入居時年齢				入居時要介護度				
		65~	70~	80~	90~	1	2	3	4	5
人数	15		4	9	2	1		3	6	5
男女			2	3		1		2		2
			2	6	2			1	6	3

  

	総数	入居前状況			
		在宅	老健	病院	その他
数	15	2	1		12
男女		1	1		3
		1			9

2-7 特養退所者（2023年度中）

	総数	退所時年齢					退所時要介護度				
		~64	65~	70~	80~	90~	1	2	3	4	5
人数	15	1	1	2	5	6	1		1	5	8
男女		1	1	1	1	1	1		1	1	2
				1	4	5				4	6

  

	総数	退所時理由			
		在宅	施設	入院	死去
人数	15		2	1	12
男女			2	1	2
					10

3 特養入居希望者（2024. 3. 31現在）

	総数	年齢区分					介護認定による要介護度						
		~64	65~	70~	80~	90~	要支	1	2	3	4	5	不明
人数	184		4	33	69	78			3	47	76	49	9
%	100%		2.1%	17.9%	37.6%	42.4%			1.6%	25.5%	41.4%	26.6%	4.9%
男	61		2	13	27	19			2	18	25	13	3
女	123		2	20	42	59			1	29	51	36	6

4 運営管理

4-1 職員状況

職 名		2023. 4. 1	2023. 4. 1~2024. 3. 31				2024. 3. 31
		現員数	退職	異動出	異動入	採用	現員数
総 数		94 (47)	13 (5)	6 (2)	5 (1)	7 (2)	91 (48)
苑長 (施設長)		1					1
総務課	(法人所属) 事務員	1					1
	事務員	1 (1)					1 (1)
	運転手	1 (1)					1 (1)
	クリーンスタッフ	7 (7)	1 (1)				7 (7)
	管理宿直者	2 (2)				1 (1)	3 (3)
	配食サービス配達員	4 (4)				1 (1)	5 (5)
施設サービス課	課長	1					1
	主任ケアスタッフ	3					3
	ケアスタッフ	32 (11)	9 (4)	3 (1)	3 (1)	5 (2)	28 (10)
	生活相談員	1					1
	管理栄養士	1					1
居宅サービス課	【ケアプラン】						
	主任ケアマネジャー	2					2
	ケアマネジャー	3		1	1		3
	【デイサービス】						
	主任ケアスタッフ	1					1
	ケアスタッフ	14 (9)	2	2 (1)	1		14 (9)
	介護補助						
	生活相談員	1					1
	【ホームヘルプ】						
	居宅サービス課課長 (サ提)	1					1
	主任ケアスタッフ (サ提)	1					1
	サービス提供責任者	1					1
訪問介護員	2		1			1	
登録ヘルパー	8 (8)					8 (8)	
健康管理室	医師	1 (1)					1 (1)
	主任看護師	1					1
	看護師	7 (4)					7 (4)
	機能訓練職						

※ 網掛けについては、一部総数に計上していない。数字は総数で表示し、内パート職員の数( )内に再表示している。

#### 4-2 職員研修・訓練など実施状況

法人研修		
日付	研修内容	参加人数
7/12	感染症対策研修	11
8/2	面談研修	2
9/13	人材育成研修	7
9/20	介護マイスター 移乗トランスファー研修 青山先生	4
11/8	権利擁護研修	6
11/15	リスクマネジメント研修 山田先生	4
12/7	大規模災害 BCP 研修	7
1/10	感染症対策研修	17
1/26	労務管理者研修	6
2/14	人材育成研修	6

令和5年10月～令和6年4月 摂食嚥下研修 藤井 江口 水元

施設内研修		
日付	研修内容	参加人数
8/15	緊急時対応研修	10
10/2	虐待の関する事例検討 研修会	10
10/4	施設内研修「褥瘡予防研修」	11
11/8	認知症患者と歯科治療について 高輪会	11
12/14	24年度介護報酬改定を見据えたデイサービスの生き残り戦略	1
R6 2/28	褥瘡ケア研修	12

※令和6年2月に身体拘束廃止・虐待要望に関する研修を予定していたが、新型コロナウイルスクラスターにより実施できず。

外部研修		
日付	研修内容	参加人数
4/18	在宅医が考えるコミュニケーション術	居宅1
7/14	安全運転管理者講習	麻生
7/24	オンライン「デイサービスのリスクマネジメント」山田先生	2
10/18	印旛保健所主催「高齢者施設等における感染症対策研修会」	麻生
10/25・26	防火管理者講習会甲種	麻生
11/5	介護支援専門員等のための災害対応 BCP 研修	居宅2
11/8	高齢者の虐待について	居宅1
11/10	サービス管理責任者更新研修	麻生
11/16	病院の地域連携室等関係者との情報交換会	居宅1
1/24	佐倉・南部地域医療・介護連携 研修会	居宅1
2/7	介護保険改正セミナー 小濱先生	麻生
2/16	さくらケアマネ協議会研修会	居宅2
2/22	介護保険改正のポイント	居宅3
2/7	介護保険改正セミナー 小濱先生	麻生
3/29	個人情報の取り扱い	居宅2

訓練など		
日付	内容	参加人数
7/12	感染症対策訓練	11
9/6	防災訓練	出勤対象職員
11/1	防災訓練	出勤対象職員
12/15	防災訓練（夜間想定）	特養3 宿直1
R6 1/10	感染症対策訓練	17
R6 3/7	防災訓練（機器の説明など）	出勤対象全職員

## 5 諸会議の開催状況

	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運営会議	10	1	1	1	1	1	1	1	1	1			1
虐待防止・身体拘束廃止委員会	4		1			1		1		1			
感染症対策・リスクマネジメント委員会	4				1		1		1				1
スキンケア委員会	3			1				1			1		
特養主任会議	10	1	1	1	1	1	1	1	1	1			1
入居判定会議	3		1				1			1			
デイサービス会議	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ホームヘルプ会議	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
栄養改善会議	5	1		1		1		1		1			
サービス担当者会議	37	4	5	4	2	2	3	4	4	2	3		4

令和6年1月下旬～2月 新型コロナウイルスクラスターにより、一部会議関係開催できず

## 6 実習受け入れ状況

依頼教育機関等	実習目的	日数	件数	人数
※総数		77	4	8
成田国際福祉専門学校	介護福祉士	52	3	6
大原医療保育福祉専門学校千葉校	介護福祉士	25	1	2

7 ボランティア活動

7-1 活動状況(年間実績)

活動内容			理 髪	施設環境 備置整備	清拭布洗濯物 たため	生 活 介 助	作 業 補 助	行 事 協 力	傾 聴 朗 読 等	手 工 芸 陶 芸 ク ラ ブ	音 楽 療 法	生 花 ・ 茶 道 ク ラ ブ	公 演 ・ 発 表	そ の 他
4月	延人数	33	5									1		27
	人数	6	3									1		2
	回数	32	4									1		27
5月	延人数	27	3											24
	人数	5	3											2
	回数	26	2											24
6月	延人数	23	4											19
	人数	6	4											2
	回数	21	2											19
7月	延人数	26	5											21
	人数	7	5											2
	回数	24	3											21
8月	延人数	21	6											15
	人数	6	4											2
	回数	18	3											15
9月	延人数	55	5								11			39
	人数	15	5								8			2
	回数	37	3								4			30
10月	延人数	35	5											30
	人数	7	5											2
	回数	33	3											30
11月	延人数	30	5											25
	人数	7	5											2
	回数	28	3											25
12月	延人数	39	5								4			30
	人数	11	5								4			2
	回数	34	3								1			30
1月	延人数	29	4											25
	人数	7	4											3
	回数	27	2											25
2月	延人数	27	3											24
	人数	5	3											2
	回数	26	2											24
3月	延人数	37	5											32
	人数	7	5											2
	回数	35	3											32
合計	延人数	382												
	人数	89												
	回数	341												

7-2 ボランティア登録状況

活動内容	人数	団体名
施設環境整備		
理美容	4	個人
清拭・洗濯たたみ		
生活補助		
傾聴		
陶芸クラブ		
音楽クラブ	1	うたおーら
茶道クラブ		
囲碁・将棋		
歌・演奏		
生花クラブ		
車椅子清掃		
その他（誘導・散歩等）	3	個人（犬の散歩）

8 行事・活動等実施状況（2023. 4. 1～2024. 3. 31）

月	行事内容
5月	11日 入居者・職員 健康診断 8日 内部監査 18日 監事監査
6月	20日 27日 入居者新型コロナワクチン6回目
7月	16日 納涼祭（夏のはちフェス）
8月	28日 千葉県監査
9月	17日 敬老会
10月	19日 入居者・職員 健康診断
11月	14日 入居者インフルエンザワクチン接種 21日 寿司キャラバン 職員インフルエンザワクチン接種
12月	17日 入居者忘年会 6日入居者新型コロナワクチン5回目 18日 特養・ショート入居者忘年会（冬のはちフェス）
R6 1月	3日 獅子舞



## VI. 地域福祉事業部



**2023(令和5)年度 事業報告**  
**地域福祉事業部**  
**南部児童センター・学童保育所**

**概況**

当年度のスローガンを「地域子育て支援 ～地域づくりはこころの元気づくり～」と掲げた。近年、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を子どもたちの世界でも大きく受けてきた。社会全体が少しずつおちつきを取り戻しつつある今、利用者と存分に話ができて、子どもたちの「やってみよう。」を気兼ねなく一緒に実現できる日々をあらためてかみしめた1年であった。

年度当初、春は例年どおり利用者の顔ぶれが変わり、来館者が減少傾向であったが、コロナ感染症の「5類」への移行とともに児童センターは新たなかたちでの開館スタイルを見直し動きだした。人数や時間などの制限を解除し、自由に遊べる遊具やスペースを解放すると子どもたちの口コミで来館者が倍増。コロナ禍以降来館者が増加した昨年度よりさらに来館者が増え、前年比175%となる18,497名の利用となった。

南部エリアの学童保育所は4月から第二寺崎学童保育所が新しく開所し、8ヶ所になった。8ヶ所ある南部エリア学童保育所ではそれぞれ学童の特色、利用する子どもたちの学年に応じたイベントを実施した。ビンゴ大会を毎年恒例としている学童や、しめ縄作りチャレンジする学童、こま作りなど、季節の制作も楽しんだ。また、子どもたちへの特別なお楽しみイベントとして、ジュースやスナック菓子などのおやつ提供も企画し、学童保育所ではつねに子どもたちの笑顔が輝いていた。

児童センター、学童保育所とも、制限せずに子どもたちにあそびを提供できる環境がやっと整ってきた。来年度はさらに利用者のニーズを察しつつ更に活動の場を広げていきたい。

佐倉市からの指定管理について、指定管理選定審査で一定数を超える評価を得た。令和6年度以降、次期5年間も指定管理者を継続する旨の答申が出された。

感染症流行の影響を受けて開催を中止していた運営委員会は新設の第二寺崎学童見学というかたちも含め、年2回、委員の方からの意見を伺う場として再開した。

○本年度数値目標

子育てに限定することなく、困りごとのよろず相談。相談件数： 67 件

これまで多かった子育てに関する相談数をこえて、就園の相談数が半数以上を占めた。母親の就労意向が高く、出産後早期に保育園や幼稚園入園を検討する傾向が見られた。

○子育て悩み相談および子ども自身が相談できる体制づくり

ゆりかごタイム同窓会開催。近年、児童センターの未就学児世代の利用者の多くは0歳児親子となっている。1歳のお誕生を迎えたところで仕事復帰をし、児童センターに来館する機会が少なくなっている。仕事復帰後は、児童センターでせっかく出来た友人関係も、交流する機会が少なくなり、寂しいと感じるとの声に応え、現在0歳児の利用者親子と、これまで0歳児事業に通っていた幼児親子が交流する、「同窓会」を開催した。半数以上が夫婦で、手あそびやハイハイレースなど、夫婦で真剣に取り組み、また積極的にパパが育児にかかわる場の提供にもなった。

○「子どもの権利」についての啓発

事前に子どもたちと相談し、どのような大会にしたらよいかを検討し、中高生バスケットボール大会を開催した。児童センターとして実施するのも4年ぶり、中高生の声あって開催にこぎつけることが出来た。当日は予想以上の参加者で、子どもたちが審判やタイムキーパーも率先して快く引き受けてくれた。この日は中高生対象として30分開館時間を延長する特別感のある仕掛けも企画した。自分たちで考え、自分たちで協力し合い開催できたバスケットボール大会。大会後の余韻に浸る子どもたちの笑顔はいつも以上に達成感があるように見えた。

○事業継続計画書に基づく訓練

児童センター乳幼児親子と、災害発生時に、すぐに離れなくてはならない「危険箇所」を意識して訓練を行った。再度、災害対応の確認とマニュアルの更新を行っていく。各学童保育所の新規事業継続計画書の配布、内容説明は次年度に実施となる。

(所長 長岡 陽子)

1 サービスの利用状況(2023.4.1～2024.3.31)

1-1 佐倉市立南部児童センター

(1)施設利用状況

(人)

	開館日数	幼児	小学生	中学・高校生	一般	合計
年間利用数	300	6,522	4,508	1,742	5,725	18,497
一日平均		21.7	15.0	5.8	19.1	61.7

(2)図書貸出状況

(人)

	開館日数	延べ利用者数	貸出冊数	新規登録者数
年間利用数	300	5,423	1,317	82
一日平均		18.1	—	—

(3)事業実施状況(延べ人数)

※新型コロナウイルス感染症状況により一部実施

区分	事業の名称	実施回数	参加人数	事業内容	
子育て支援に関する業務	①子育て中の親子へ遊び場の提供業務	ひよこタイム	301	4,520	スキンシップあそび・わらべうたあそび・絵本読み聞かせ
		ゆりかごタイム	52	1,854	スキンシップあそび・身体測定・母親同士の交流・保健師・栄養士による相談
		ひよこスペシャル	2	175	おみせやさんごっこ・おまつりごっこ (スマイルクラブとの交流会)
		芋苗植え・収穫祭	2	82	親子で土に親しみ共に収穫を楽しむ
		ママのリフレッシュタイム	0	0	講師を招いてヨガを楽しむ
		おはなし会	0	0	司書による絵本読み聞かせ・わらべうた遊び
		乳幼児遠足 (佐倉草ぶえの丘)	1	17	季節の自然に触れながら、母親同士の交流を深める
		おはなしキャラバン	2	149	人形劇、大型絵本、パネルシアター、絵本の鑑賞
		県民の日あそびのフェスティバル	1	70	色々なあそびを通して交流を深める。高齢者クラブと連携
		噴水あそび	5	220	噴水装置による水あそび
		あそびのマルシェ	0	0	あそびのブースを開設して地域交流
		今月の工作		来館時随時	季節の工作、手作りおもちゃなどの持ち帰り
	子育て相談業務	②子育て相談業務	おめでとうウィーク (毎月1～7日)	39	103
		子育てコンシェルジュ	4	11	子育てコンシェルジュを招いて、子育ての個別相談・支援業務
		子育てミニ講座	4	184	保健師・栄養士等によるミニ講座・救急法
遊びを通しての体力増進指導業務		幼児体操教室	中止	0	講師による親子運動あそびの実践
		小学生体操教室	2	14	ゲームあそびを通して体力作り。跳び箱、ボール等を使った運動あそび

児童の健全育成に関する業務	① 行事活動業務	チャレンジ	542	694	チャレンジを通じてあそびを展開する
		県民の日あそびのフェスティバル	1	48	高齢者クラブと連携し、色々なあそびを通して交流を深める
		噴水遊び	8	102	噴水装置による水あそび大会
		愛光秋祭り	0	0	障がい者・高齢者との交流
	②小学生を対象とする活動業務	臨時開館	2	47	始業式などを開館し、小中学生の居場所作り
		放課後Xデー(レクリエーション大会)	3	107	集団あそびをととしての異年齢の交流を図る ニュースポーツ等
		こわいおはなし会&ミニ工作	1	42	司書によるこわい絵本の読み聞かせ、素話。
		モルック大会	1	20	色々な学校・学年の友だちと対戦し交流を図る
		プラバン工作	2	23	色々な学校・学年の友だちと交流を図る
		クリスマスカード作り	3	24	色々な学校・学年の友だちと交流を図る
		ババ抜き大会	1	22	色々な学校・学年の友だちと対戦し交流を図る
		茶道体験	1	10	伝統文化の体験
		生け花教室	1	5	伝統文化の体験
	③中高生を対象とする活動業務	臨時開館	1	18	始業式などを開館し、小中学生の居場所作り
		中高生バスケ大会	1	18	参加希望者による3対3のミニゲーム
	④ボランティア、サークル支援活動業務	スマイルクラブ(ボランティアチーム)	10	119	館内装飾・掲示・工作キット作りなどのボランティア活動
		子育て応援サポーター(ボランティア)	通年	0	遊具消毒・将棋教室
	⑤地域交流・世代間交流活動業務	ゴミゼロ運動	1	12	根郷小学校区まちづくり協議会との連携
		赤い羽根共同募金しおり制作	0	0	佐倉市社会福祉協議会との連携
		町探検	2	70	佐倉市社会福祉協議会との連携(根郷小)
		根郷福祉まつり	1	213	根郷社会福祉協議会や各種団体との連携
		認知症サポーター養成講座	1	15	南部包括支援センターとの連携
		ニューイヤーコンサート	1	117	市民楽団によるファミリーコンサート (地域共生プロジェクト)
		ゲートボール交流会	1	24	地域福祉センターとの連携
芋苗植え・収穫祭		2	72	まち協との連携	
ボランティアの受け入れ		3	27	高校生や大学生、一般などによる日常的な遊びの支援(ニューイヤーコンサート演者)	

(4)南部児童センター 主な行事実施状況

月	行事内容
4月	(工作)ひらひらちょうちょ・ストローひこうき クイズラリー(4/11~5/7) 小学生以上スーパーボールうつし・バトミントンラリー
5月	(工作)ぴょんうさぎ おはなしきゃらばん(5/14) 七井戸公園遠足(5/19) スマイルクラブ:芋苗植え(5/14)・ゴミゼロ運動(5/28)
6月	(工作)パステルぼうちゃん 千葉県民の日 2023(6/15) 栄養士相談会(6/7)
7月	(工作)七夕・短冊 たなばた(7/6) 幼児水あそび(7/14、21、28) 小学生以上水あそび(7/21、28) 小学生ドッジビー大会(7/20) 小中学生こわ〜いおはなし会(7/26)
8月	(工作)ろっかくがえし・おみこし 幼児・小学生水あそび(8/4、18) 幼児おまつりごっこ(8/24) プラバンキーホルダー作り(8/8、25)
9月	(工作)ネックレス わらべうたであそぼ(9/19) うんどう会(9/14)
10月	(工作)ハロウィンモビール 根郷福祉まつりブース参加(10/1) 秋のおさんぽ(10/20) スマイルクラブ:まち協農園 さつまいも堀り(10/22) ひよこでハロウィン(10/31)
11月	(工作)マリンモール ゆりかごタイム&同窓会(11/26) スマイルクラブ:認知症サポーター養成講座(11/19) おみせやさんごっこ(11/30)
12月	(工作)クリスマスツリー 生け花体験(12/10) おはなしきゃらばん(12/14) ひよこ・クリスマス会(12/22) 小学生ドッジビー大会(12/22)
1月	(工作)おにのでんでんだいこ お正月あそび・もちつき、ふくわらい、たこ(1/9、11、19、25) 小学生以上ばばぬき(1/9)小学生茶道体験(1/28) ニューイヤーファミリーコンサート(1/28)
2月	(工作)おひなさま ひよこタイム・まめまきあそび(2/2) バレンタインうんどうかい(2/13) 小学生以上ハートのポーチ作り(2/8、9、10)
3月	(工作)ちょうちょさんこんにちは ひなまつり(3/1) おたのしみ会・大きくなったね(3/19) 中高生バスケットボール大会(3/6) 小学生モルック大会(3/22)

## 5)子育て相談

(件)

	子育て支援	発達相談	家庭問題	就園相談	情報提供	
					あそび場	医療機関
子育てコンシェルジュ	5	5	0	14	0	0
インストラクター	17	11	3	12	0	0
計	22	16	3	26	0	0

## 1-2 学童保育所

## (1)登録・利用状況

(人) (日)

	定員	登録者数 (延べ人数)	延べ利用者数 (年間総数)	一日平均 利用者数	開所日数
根郷学童保育所 (対象学年1年～3年)	55	611	9,966	34.0	293
第二根郷学童保育所 (対象学年1年～6年)	60	694	9,372	31.9	293
和田学童保育所 (対象学年1年～6年)	30	205	2,881	11.9	242
弥富学童保育所 (対象学年1年～6年)	50	219	2,930	12.1	242
寺崎学童保育所 (対象学年1年～3年)	60	492	7,211	24.6	292
第二寺崎学童保育所 (対象学年1年～3年)	45	524	7,007	24.5	286
大崎台学童保育所 (対象学年1年～6年)	30	514	7,349	25.1	292
山王学童保育所 (対象学年1年～6年)	65	442	6,004	20.7	289
全学童計	350	3,701	52,720	184.8	2,229

## (2)学童保育所の主な行事

月	根郷学童	第二根郷学童	和田学童	弥富学童	山王学童	寺崎学童	第二寺崎学童	大崎台学童
4月	ようこそ! 根郷学童へ	歓迎会	ウエルカム パーティー	ウエルカム パーティー	ビンゴ大会	歓迎会	歓迎会	大崎台クイズ
5月	バード ウォッチング 不審者対応 避難訓練	不審者対応 訓練 ドッジボール 大会		マジック カード作り 不審者対応 避難訓練	バケツ稲	不審者対応訓 練	不審者対応 避難訓練	かんけり大会
6月	根郷、第二で遊ぶ 室内ゲーム 地震避難 訓練	箱の中身はな んだろな?	不審者対応 避難訓練 地震訓練 ミニ運動会	スーパー ボール作り	スポーツ大会 地震避難 訓練	ミニトマト 栽培	工作タイム エンジョイ 県民の日	クイズ王
7月	七夕会	スライム作り		ストラップ作り	ミニトマト 収穫	七夕短冊	スノードーム作り	スライム作り

8月	水遊び プラ板・エコ バッグ作り こわい おはなし会	お化け屋敷	水遊びを 楽しもう	弥富縁日 水鉄砲バトル	芝人形作り	スノードーム作り 水遊び 寺崎縁日	スノードーム作り 2寺縁日	お化け屋敷
9月	ねごう あきまつり	写真立て作り	シャボン玉 大会	ゴルフ ボーリング	バケツ稲 収穫	ペットボトル作 り 地震避難 訓練	ダンボール 工作 地震避難 訓練 不審者訓練	ダンボール 工房
10月	愛光秋まつり に行こう 異世界脱出ゲ ーム	秋祭り	スライム作り	地震避難 訓練 パンプキンか らの挑戦状		秋祭り 不審者訓練	愛光秋まつり 地震避難 訓練	ペットボトルロ ケット
11月	フィールド ビンゴ	縄跳び チャレンジ 週間	災害想定 避難訓練	クリスマスツリ ー作り		くつした たま入れ 宝探し	スポーツ 鬼ごっこ	
12月	年末ゲーム 大会	ビンゴ大会		冬の お楽しみ会		風船おじさん 年賀状作り	ビンゴ大会 パルーンアート 火災こんな時 どうする？	
1月	おみくじ作り おやつ week	おやつ week	コマを作って 遊ぼう	だるまの おきあがりこ ぼし作り		プラ板 キャラクター作り 豆まき升作り	プラ板制作	お正月 お名前かるた
2月	鬼退治 火災避難 訓練	クイズ WEEK 火災避難 訓練	お雛様を 作って飾ろう	火災避難 訓練 写真立て作り		節分ゲーム 火災避難 訓練	火災避難 訓練 節分	オリジナル プラ板
3月	お祝いしよう	6年生を 送る会	6年生を 送る会	6年生を 送る会		友達クイズ &ビンゴ大会	またねの会 避難訓練	お宝ゲーム

### 1-3

#### (1) 職員状況

	2023.4.1 現員数	2023.4.1～2024.3.31				2024.3.31 現員数
		採用	異動入	異動出	退職	
総数	54(40)	20(19)	7(1)	3(2)	25(21)	56(39)
所長	1(0)	・	・	・	・	1(0)
主任	2(0)	・	・	・	・	2(0)
アドバイザー	1(1)	・	・	・	1(1)	0
インストラクター	8(6)	2(2)	1(0)	・	2(2)	7(5)
学童支援員・補助支援員	38(31)	17(16)	5(1)	2(2)	21(17)	42(32)
事務員	2(0)	・	1(0)	1(0)	・	2(0)
用務員	2(2)	1(1)	・	・	1(1)	2(2)

(2) 職員の研修状況

学童支援員認定資格研修会					
月日	研修名	人数	月日	研修名	人数
9/20,21, 26, 27	第4期受講者（成田市）	2	11/8, 10, 13, 17	第7期受講者（八千代市）	2
1/10,15, 19, 22	第11期受講者（八千代市）	2			

施設内研修					
月日	研修名	人数	月日	研修名	人数
7/12	感染症対策研修	3	2/14	人材育成トレーニング	4
9/13	人材育成トレーニング	3	2/29	労務管理者研修	2
11/9	権利擁護研修	6			

外部研修		
月日	研修名	参加人数
5/10,12	こども基本法・こども家庭庁(zoom)	4
5/26	「職員のためのコンプライアンス&虐待防止」研修(zoom)	2
6/22	「就学前施設事故防止・リスクマネジメント」研修(zoom)	1
8/2,9, 9/6	「気になる」子どもの保護者にどう伝える？保護者との連携を考える(zoom)	3
8/2	気になる子どもをつつみこむ インクルーシブ教育システム(zoom)	1
9/2	「保育っておもしろい」	2
10/10	接遇研修(中堅職員向け)(zoom)	1
10/19,21	発達障害などの配慮を必要とする子どもへの支援(zoom)	2
11/25	いじめや虐待への対応(zoom)	5
11/27	福祉サービス苦情解決研修会<<応用編>>	1
12/4	わらべうた研修	2
12/6	「就学前施設事故防止・リスクマネジメント」研修(zoom)	1
12/7	初期行動マニュアルの説明について	4
12/19	子どもの人権の尊重と育成支援	3
1/29	放課後児童クラブにおける事故防止の理論と実践 (zoom)	1
1/10	第2回(後期)感染症対策研修	3
1/19	教育・保育事故の予防に向けたセミナー	2

(3) 実習生受け入れ状況

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
1月25日～2月13日	千葉敬愛短期大学	保育士	1
12日間	1養成機関		

## 総合相談センター

（佐倉市障害者生活支援センターアシスト / 佐倉市南部地域包括支援センター）

## 概況

当年度のスローガンは、前年度と同様「個を支える地域づくりを地域と共に」とした。多職種との事例検討や地域ケア会議を通して、個別支援を考え、地域のネットワークづくりを進めた。

## ●アシスト

## （1）数値目標（目標値 → 実績）

すべての目標値に対して実績数が上回った。特に児童のケースは年々増加傾向にあり、児童の計画・モニタリング数で66件増となった。新規ケースは年間72件となり、月平均6件であった。

計画・モニタリング件数（者・児）	740件 → 913件
障害区分認定調査件数	130件 → 176件
提供時モニタリング加算	150件 → 180件
集中支援加算	50件 → 54件

## （2）戦略目標

## ○精神疾患のある方への専門的支援の提供

アシストの相談件数の8割が精神疾患の相談であることから、職員の相談支援の質の向上、職員の精神的負担軽減を目的に事例検討会を実施した。アシスト主催の合同事例検討会は、隔月年6回開催し、市内の相談支援事業所、包括支援センター、市社協等が参加した。地域の専門職が集う場として定着している。個別ケースにおける支援者会議の開催は年100回を超えた。関係機関での困難事例の対応の検討や多職種での情報共有の場となった。アシスト内での情報共有については、毎日朝礼後に動きのあるケースを全体で共有し、担当以外の職員も状況把握に努め対応できるように取り組んだ。1月からは佐倉圏域の相談支援事業所かけはしとも連携し、毎朝オンラインでケースの確認や情報共有を行っている。

## ○法人内連携の強化

個別のケースを通して、常日頃から法人内事業所との連携を意識した対応を行った。また南部包括とは毎月合同会議を通じて世帯支援で関わるケースの共有を行った。ワークショップかぶらぎとは、四方田第三者委員も参加していただき事例検討や、日頃の支援の考え方等を共有する場を設けた。

## ●南部地域包括支援センター

## （1）数値目標（目標値 → 実績）

佐倉市の委託事業については、目標値を達成した。予防プラン件数については、8月から1名欠員だったこともあり達成はできなかったが、1人当たりの件数は目標値を超えた。

介護予防教室（としとらん塾）	10回 → 10回
介護予防リーダー交流会	2回 → 2回
介護者教室	4回 → 4回
予防プラン件数	月119件 → 月115件
自立支援型個別ケア会議	年8件 → 8件
地域ケア圏域推進会議	年2回 → 2回

## (2) 戦略目標

### ○地域のニーズ把握と資源の発掘

前年度に引き続き、佐倉市では地域ケア会議の開催が重点目標の一つとなっていた。当年度は、各包括で自立支援型地域ケア個別会議を年8件、地域ケア圏域推進会議を年2回の開催となった。

南部圏域の地域ケア会議では、独居の方や高齢者世帯の支援に焦点をあて、地域課題を考える圏域推進会議においては大崎台4,5丁目と表町を対象に行った。各地区とも、自治会や活動団体の方に参加していただき、より具体的な話し合いと行うことができた。特に認知症に対する支援については興味関心が高く、地域での見守りを考えるきっかけにもなった。

民生児童委員地区定例会や根郷地区社協のちょこっとサービス定例会には毎月職員が参加した。地域の方と顔が見える関係性を作り、個別ケースの共有など相談しやすい雰囲気意識した。また民生児童委員とは「介護保険制度の利用について」をテーマに勉強会を行い、お互いの役割について意見交換した。

多職種連携の視点からは、医療介護連携会「さきいか」やデイサービス連絡会、南部ケアマネのつどいを開催し、専門職間のネットワークづくりに力を入れた。地域ケア会議においても、医療職・薬剤師・リハ職等に助言者として参加依頼を行った。

### ○地域住民への情報提供・啓蒙活動

介護予防事業においては、毎年恒例となった愛光理事である順天堂大学 松山毅 前任准教授のゼミにご協力頂き、学生と一緒に「とすとらん塾」を企画した。毎年参加するのを楽しみにされている方もおり、高齢者と学生の交流の機会となっている。

認知症関連事業でははちす苑と共同で、2月にAIKOHフォーラムとして地域住民向けに若年性認知症当事者丹野智文氏による講演会を開催した。地域住民100名以上が参加され、認知症当事者の気持ちや理解を深める機会となった。認知症サポーター養成講座の開催は、根郷中学校や山王小学校、児童センターの児童、また藤治台地区でも行うことができた。

### ○精神疾患のある高齢者や介護者への専門的支援の提供

8050世帯や精神疾患を抱える高齢者の相談が増えているため、アシスト主催の合同事例検討会や多職種が参加する研修に参加し、対応力の向上を目指した。

また毎週、包括内でのケース確認や事例検討会を通じて、職員のアセスメントが深められるよう時間を設けた。

(所長 森 由美子)

## 【アシスト】

### 1-1 業務内容

- 基幹相談支援センター事業並びに業務
    - ①総合的・専門的な相談支援の実施
    - ②地域の相談支援体制の強化の取組
    - ③地域移行・地域定着の促進の取組
    - ④権利擁護・虐待の防止
  - 生活全般の相談
  - サービス利用に関する情報提供等の福祉サービスの利用援助
  - 情報提供、相談、アセスメント、サービス等利用計画の作成、サービス調整、モニタリング、個別ケース会議 等
  - サービス事業者との連絡調整、担当者会議の開催
  - 利用者負担の上限額管理
  - 社会資源を活用するための支援や各種支援施策に関する助言・指導等
  - 社会生活力を高めるための支援や権利の擁護のために必要な援助  
人間関係、健康管理、金銭管理等
  - ピアカウンセリング
  - 専門機関の紹介
  - 総合支援協議会の運営
  - 相談員との連携に関すること
- 《社会資源の改善・開発に向けた調整》
- ①相談支援事業をはじめとするシステム作りに関し、中核的役割を果たす協議の場
  - ②相談支援事業者、福祉サービス事業者、保健・医療、学校、企業、高齢者介護等の関係機関、障害当事者団体、権利擁護関係者、地域ケアに関する学識経験者等で構成する。
  - ③主な機能
    - 福祉サービス利用に係る相談支援事業の中立・公平性の確保
    - 困難事例への対応の在り方に関する競技・調整
    - 地域の関係機関によるネットワーク構築等に向けた協議
    - 地域の社会資源の開発、改善
    - 権利擁護等の分野別のサブ協議会等の設置、運営
    - その他（市町村障害福祉計画の作成・具体化に向けた協議など）
    - 専門的な相談支援等を要する困難ケース等への対応
    - 相談支援事業者間の連携

1-2 障害者相談支援事業（計画相談は含まない）

(1) 相談者実人数

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
4月	31	2	0	7	11	2	0	13
5月	32	4	0	4	16	1	0	10
6月	37	8	0	7	21	3	2	5
7月	31	7	0	6	16	2	0	7
8月	36	5	0	4	19	3	1	9
9月	29	5	0	6	13	4	0	3
10月	37	4	0	4	18	4	0	10
11月	28	4	0	3	13	5	0	5
12月	27	4	0	3	11	1	0	12
1月	29	4	0	3	9	0	0	15
2月	32	4	0	2	9	3	0	17
3月	25	2	0	3	9	1	0	10
計	374	53	0	52	165	29	3	116

(2) 支援方法件数

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他
4月	4	5	2	50	0	0	30	3
5月	5	4	2	50	0	0	26	2
6月	5	1	2	43	0	1	28	7
7月	6	0	3	24	0	1	14	0
8月	3	5	4	29	0	0	17	0
9月	2	4	0	27	0	0	15	0
10月	8	6	1	51	2	1	15	0
11月	4	2	2	54	0	0	26	0
12月	10	2	6	40	0	0	31	0
1月	4	3	3	29	0	0	27	1
2月	5	0	3	51	0	0	26	0
3月	6	6	2	40	0	1	28	0
計	62	38	30	488	2	4	283	13

(3) 支援内容数（重複あり）

	福祉サービスの利用等に 関する支援	障害や症状の 理解に関する 支援	健康・医療に 関する支援	不安の解消・ 情緒安定に 関する支援	保育・教育に 関する支援	家族関係・人 間関係に関す る支援	家計・経済に 関する支援	生活技術に関 する支援	就労に関する 支援	社会参加・余 暇活動に関す る支援	権利擁護に関 する支援	その他	日程調整等軽 易な相談	計
4月	23	5	0	21	16	5	1	1	11	0	1	68	16	168
5月	46	8	9	10	12	24	2	4	7	3	2	31	22	180
6月	44	11	16	13	2	16	7	10	9	1	3	41	25	198
7月	18	2	12	4	4	4	1	0	3	0	0	33	6	87
8月	18	3	7	10	8	4	0	0	3	1	1	41	7	103
9月	22	3	2	8	11	4	1	1	5	0	0	21	6	84
10月	25	6	13	19	18	18	6	4	7	0	1	56	18	191
11月	32	1	11	12	12	20	4	2	0	0	11	63	11	179
12月	36	2	11	6	10	8	0	0	0	0	0	78	40	191
1月	28	3	2	6	15	7	2	4	1	0	0	53	44	165
2月	42	3	2	7	13	3	2	1	0	0	0	66	62	201
3月	41	7	4	10	10	6	1	5	2	0	0	62	53	201
計	375	54	89	126	131	119	27	32	48	5	19	613	310	1,948

1-3 障害支援区分認定調査 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
認定調査	17	15	14	14	17	18	13	12	17	11	15	13	176

1-4 計画相談 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	合計
計画(者)	41	22	20	21	25	12	33	20	13	24	12	12	255	364
計画(児)	16	6	12	5	13	6	8	6	7	8	11	11	109	
モニタリング(者)	36	29	36	50	39	53	60	29	31	24	43	52	482	549
モニタリング(児)	4	4	3	3	8	12	7	6	6	3	4	7	67	
合計	97	61	71	79	85	83	108	61	57	59	70	82	913	

【南部包括】

1-1 業務内容

○センター業務
①総合相談支援業務
②権利擁護業務
③包括的・継続的ケアマネジメント業務
○在宅医療・介護連携推進事業
○生活支援体制整備事業
○認知症総合支援事業
○地域ケア会議推進事業
○介護予防ケアマネジメント（第一介護予防支援事業）
○一般介護予防事業

1-2 利用状況

(1) 介護予防ケアマネジメント 予防給付（要支援認定者）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
直営件数	108	107	111	114	113	114	116	116	123	121	121	117	1381
委託件数	140	136	138	140	141	144	142	138	136	136	136	142	1669
計	248	243	249	254	254	257	258	254	259	257	257	259	3050

(2) 総合相談・権利擁護・ケアマネジメント支援

	実数	延数
相談件数	742	2751

(3) 方法別相談延べ件数（総合相談のみ）

	平日		土・祝日	総数	%
	業務時間中	業務時間外			
来所	247	0	31	278	37.5
電話	410	2	30	442	59.6
その他	18	3	1	22	2.9
合計	675	5	62	742	100.0

(4) 内容別相談件数（重複あり）

内容	件数	内容	件数
1. ねたきり高齢者	8	11. 権利擁護・成年後見制度	7
2. ひとり暮らし高齢者	187	12. 消費者被害	2
3. 認知症高齢者	176	13. 高齢者の虐待（疑い含む）	7
4. 介護に関する事柄	3	14. 施設入所	47
5. 介護・福祉サービス	532	15. 介護方法（技術）	2
6. 保健・医療	59	16. やむを得ない事由による措置	0

7. 精神的支援	13	17. 苦情全般	7
8. 生活支援	64	18. 家族間調整	11
9. 状況確認	107	19. 個人の悩み事	32
10. 関係機関調整	63	20. その他	9

## 2 運営管理

### 2-1 職員状況

	2023. 4. 1 現員数	2023. 4. 1～2024. 3. 31				2024. 3. 31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総 数						
所長（兼務）	1					1
【アシスト】 管理者（兼務）	1					1
相談支援専門員	5(1)	1(1)	2(1)	2	2	6(2)
【南部包括】 管理者（兼務）	1					1
主任ケアマネジャー	2		1			2
社会福祉士	4		1	1	2	3
看護師	1					1
生活支援コーディネーター	1					1
ケアマネジャー	1					1

※数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示。

### 2-2 職員研修の状況

施 設 内					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
4/3～5	新任研修	1	全7回	コ・ヒューマントレーニング	1
7/12	感染症対策研修	2	全2回	人材育成トレーニング	1
11/9	権利擁護研修	3	12/7	災害対応研修	2
施 設 外					
全6回	TEACCHプログラム研修	1	6/6	障害支援区分認定調査員研修	1
全7回	相談従事者初任者研修	1	6/15	地域医療介護の会「次世代の認知症診療」	3
6/29、30	強度行動障がい支援者養成研修(基礎)	1	7/6、7	強度行動障がい支援者養成研修(実践)	1
6/28	認知症との向き合い方 ～共に暮らしていける社会を目指して～	3	7/5	さくらケアマネ協議会研修会 「予防プランの書き方」	5
7/21	安全運転管理者講習会	1	7/23	成田医師団在宅医療研修会	1
7/23	千葉県ケアマネ研修「どんとこい運営指導」	3	7/26	千葉市多職種協働のための研修会	1

7/27	生活支援体制整備事業に係る市町村研修会	2	8/23、24	地域包括支援センター初任者研修	1
8/31	高齢者虐待防止対策研修(新任研修)	1	9/1	千葉県キャラバンメイトスキルアップ研修	1
9/13	精神障害者にも包括研修 ひきこもり研修	2	全5回	コミュニティソーシャルワーカー養成研修	1
10/2、1/26	生活支援コーディネーターフォローアップ研修	1	10/12	千葉市在宅医療推進連絡協議会研修会	1
10/24	サービス管理責任者更新研修	1	11/9	印旛山武地域難病相談支援センター研修会	3
11/9	パーキンソン病の症状とその対応	1	11/10	法テラス千葉地方協議会研修	1
11/21	地域包括支援センター現任研修	1	全3回	千葉県虐待防止対策研修(現任)	1
11/27	福祉サービス苦情解決研修(応用編)	1	11/27	若年性認知症の方への研修(推進員研修)	3
12/7	認知症キャラバンメイト養成研修	1	12/8	若年性認知症研修会	2
全3回	千葉県認知症地域支援推進員研修(新任)	1	全12回	主任相談支援専門員研修	1
全4回	相談支援従事者現任研修	3	12/9	千葉県ケアマネ協議会研修	2
12/12	佐倉市在宅医療・介護連携多職種研修会	3	12/10、16	社会福祉士実習指導者講習	1
12/19	認知症初期集中支援チームフォローアップ研修	3	12/19	印旛圏域福祉関係者合同研修会	4
1/29	認知症疾患医療センター研修会	1	1/30	児童虐待防止民生児童委員研修 ～ヤングケアラーの実態と地域ができる支援～	1
1/30	認知症多職種協働研修 ～認知症の人の「本人発信を支える」～	2	2/8	高齢者虐待防止対策研修(専門研修)	1
2/16	さくらケアマネ協議会研修会	6	2/22	介護保険制度改正のポイント	3
2/21	地域ケア会議の展開～改めて自立支援を考える～	3	3/18、19	相談支援従事者専門コース別研修	1
3/22	激変！介護保険制度～介護現場はどうなる？～	3			

### 2-3 会議等（定例会議）

施設内		施設外	
会議名	開催数	会議名	開催数
アシスト会議	週1回	【アシスト】	
アシスト内事例検討会	月1回	佐倉市障害者総合支援協議会	年2回
アシスト主催合同事例検討会	隔月	生活支援部会	随時
合同会議	月1回	精神支援部会	随時
包括会議	月1回	佐倉市障害福祉関係機関連絡会	年2回
包括ケース検討会	月2回	佐倉委託相談支援事業所連絡会	年8回
地域福祉事業部実績会議	月1回	佐倉市相談支援事業所間事例検討会	毎月
		精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築会議（実務者会議）	随時
		成年後見制度利用促進委員会	随時
		【南部包括】	月1回
		管理者会議	月1回

		5 包括合同事例検討会 生活支援コーディネーター定例会 認知症地域支援推進員会議 認知症初期集中支援チーム員会議 民生委員・児童委員 各地区定例会 医療介護連携会議「さきいか」 介護予防事業担当者会議	月1回 月1回 月1回 月1回 随 時 随 時
--	--	--	--

#### 2-4 実習生受け入れ状況

期 間	養 成 機 関 名	実習対象資格等	人数
8.23 ~ 9.1 (8日間)	江戸川おおたかの森専門学校	社会福祉士	1
9.4 ~ 10.5 (23日間)	十文字女子学園大学	社会福祉士	1
12.19 ~ 12.20 (2日間)	城西国際大学	看護師	1
2.13 ~ 2.14 (2日間)	城西国際大学	看護師	1
2.21 ~ 3.8 (8日間)	東京福祉専門学校	社会福祉士	1

## 概況

地域福祉センターの役割と使命として、23年度スローガン「地域の方が生きがいを持って利用できる地域福祉の拠点の構築」を掲げ、日々の利用者との交流を深めた。コロナ感染症の5類移行に伴い、教室、部屋の人数制限も解除され、来館者数が増えてきた。ヨガや自力整体教室など身体を積極的に動かす事業は継続的に人気があり、介護予防や健康維持の傾向が強く表れている。特にカラオケDAMの機械を使った音楽体操プログラムの「水曜体操会」は人気があり、毎週30名程来館され、参加者は大広間にて多様な体操で体を動かしていた。

## ○本年度数値目標

- ・入浴券新規利用券作成 本年度目標 30人 本年度結果 40人 入浴券の発券の増加がみられた。
- ・来館者数 目標 30,000人 本年度 39,956人 前年度 32,394人 前年度比 123%

## ○新規利用者の獲得・日々の利用者増

- ・教養教室・講座等で65人の新規利用者の登録、利用があった。
- ・利用者からの要望もあり、新たに初心者向け「健康麻雀教室」を開設した。16名程の利用者の申し込みがあり、4テーブルで講師の丁寧な指導の下、参加者は少しずつルールを覚えていった。
- ・新規事業として「カラオケ広場」を月2回開設した。A棟大広間にてカラオケDAM機を使用し、音響設備も整え、参加者からは音響も良く、広い場所で気持ち良く歌えると好評で、リピーターも定着してきた。
- ・本年度半ばに、佐倉市地域新聞の記者により「南部地域福祉センター」の取材を受け、佐倉東・酒々井版の9月8日号の1面に南部地域福祉センターの事業が紹介された。風呂の営業や教養教室、講座などが詳しく新聞に掲載されたことにより、多くの問い合わせがあった。ヨガ教室他、新規利用者の獲得につながった。

## ○地域貢献事業の企画

- ・災害対応の企画として、地域住民のための講座「避難所運営ゲーム」を開催した。根郷小学校で避難所を開設することになった場合、どのように対応すればよいのか、参加された地域住民のみなさんと確認しあった。
- ・元佐倉市社会福祉部長で順天堂大学非常勤講師の川根紀夫氏にお願いし、地域福祉講座「今後の佐倉市の地域福祉を考える」を開催。佐倉市内で地域活動をされている方々が多数参加され、少子高齢化、人口減少が生む困りごとなどについて参加者で考えた。
- ・保健師企画による健康講座「物忘れ講座」を開催。

## ○ボランティア活動の奨励と活性化

- ・コロナも5類となり、地域や施設でボランティア活動が再開されるようになり、それに伴い、ボランティア活動の相談や斡旋の件数が増えた。
- ・佐倉市ボランティアセンター、西部ボラセンター、南部ボランティアセンターでの3センター会議で情報共有に努め、佐倉市ボランティアセンター運営員会では、ボランティアの相談内容の報告とボランティア活動の取材及び活動内容の紹介を行った。
- ・ボランティア養成講座では、敬愛大学の藤森孝幸氏による「災害ボランティアについて」を開催。

## ○その他

- ・10月、南部文化祭を開催。参加者や利用者の要望もあり、2日間の開催から今年度は3日間の開催とした。
- ・2月、定期利用団体との懇談会開催（21団体22名の参加）。
- ・3月、教養教室発表会開催。日頃の教養教室の成果が発揮された。
- ・7月より、生け花教室の生徒さんによる生け花が、センターA棟、B棟の玄関、ロビーに日々飾られるようになった。花材は、地域利用者の庭からいただいたり、ロコミで地域利用者からの提供があり、毎日素敵なお花が飾られており、来館者からも好評であった。

（所長 横川民夫）

【南部地域福祉センター】

1-1 業務内容

- 事業並びに業務
1. 各種相談事業
  2. 高齢者交流事業
  3. ふれあいサロン事業
  4. ボランティアセンター運営事業
  5. 文化祭・発表会等(イベント)事業
  6. 大型バス運営事業
  7. 愛光たすけあい移送サービス
  8. 浴室運営事業
  9. その他施設管理運営業務

1-2 実績

(1) 利用状況(開所日数 A棟 307日、B棟 324日〔検診日含む〕 延べ 42,341人

A棟	浴室	大広間	作業室	教養 娯楽室	会議室	健康 談話室	陶芸室	中庭	健康 相談
当年	1,926	7,796	1,542	3,259	3,498	595	713	570	1,242
前年	1,927	5,495	1,666	2,040	3,875	609	657	766	1,243
B棟	研修室	和室	ボラン ティア セン ター	相談室	愛光たすけあい 移送サービス				
当年	17,251	1,182	950	674	1,143				
前年	13,044	1,089	670	518	1,227				

※移送サービス(往復2名でカウント)

(2) 大型バス運行利用状況

利用台数	45台
利用人数	1,579人

(3) 高齢者教養教室の開催

教室の種類	開催日	講師名	受講者数
民謡	第1第3木曜日	會田和則氏	10人
大正琴	第2第4水曜日	斉藤玲子氏	8人
書道	第1第3火曜日	長尾左保里氏	11人
いけばな	第2第4火曜日	羽根井和子氏	10人
太極拳	第2第4水曜日	塚本景次氏	22人
自力整体	第1火曜日・第3日曜日	秋田美智子氏	51人
詩吟	第1第3土曜日	川端恵子氏	9人
健康麻雀	第1・第3木曜日	伊東豊氏	17人

## (4) 講座、イベント

講座・イベント名	回数	人数
サロン事業	12	452
高齢者交流事業（教養教室のみ）	162	2382
趣味の教室（一本の筆等）	16	73
地域福祉のための講座	2	134
ボランティア講座	1	20
健康講座（4・5・9・10月）	4	98

## (5)

## 2-1 職員状況

	2023.4.1 現員数	2023.4.1～2024.3.31				2024.3.31 現員数
		採用	異動入	異動出	退職	
総数	10(8)	3	1	1	0	12(10)
所長	1	0	0	0	0	1
事務員	2	2	1	1	0	3
管理員	4	0	0	0	0	4
保健師	2	0	0	0	0	2
用務員	1	1	0	0	0	2

※数字は総数で表示し、うちパート職員の数( )内に表示。

## 2-2 会議等(定例会議)

施設内		施設内	
会議名	開催数	会議名	開催数
スタッフ会議	6	指定管理ミーティング	6
理事会	5	佐倉市ボランティアセンター運営委員会	4
評議委員会	3	佐倉市ボランティアセンター定例会議	4
ともいきプロジェクト	11	地域食堂委員会	12
リスクマネジメント委員会	5	実績会議	12
ボランティア委員会	11	業務執行会議	18

## 3 共同事業の報告

## 3-1

事業名	回数	人数
アクティブシニア事業 ヨガ(昼)	34	1010
アクティブシニア事業 ヨガ(夜)	37	549
ア・音楽体操(水曜体操)	52	1223

## 3-2 はちす苑との共同事業

事業名	回数	利用者	ボランティア
サロン・ド ともいき	48	290	201